

大阪府立大学  
地域保健学域看護学類  
大学院看護学研究科  
2021年度 年報



2022年  
第17卷

## はじめに

大阪府立大学地域保健学域看護学類・看護学研究科では、質の高い看護職の育成という教育活動、保健医療分野における看護ケアの質の向上に向けた研究活動、大阪府の少子高齢化社会の進展に対応できる在宅ケアの充実とトランジショナルケアの推進にむけた地域貢献活動を行っています。

2021 年度の看護学類・看護学研究科の重点戦略として、昨年に引き続き「地域包括ケアシステムに対応できる看護職の育成」、「大阪府、府立病院機構等との連携・研究の推進」、「グローバル化推進」、「教員の研究力の向上」を掲げ、活動を展開してきました。具体的な重点課題・取り組みは以下の通りです。

1. 地域包括ケアシステムに対応できる看護職の育成
  - 1) 大阪府訪問看護専門研修事業
  - 2) 7 大学連携個別化がん医療実践者養成プラン
2. 大阪府、府立病院機構等との連携・研究の推進
  - 1) 特定健診受診率向上プロジェクト
  - 2) 府立病院機構との連携推進会議の推進
  - 3) 医療機関・保健機関等との共同研究の推進
3. グローバル化推進
  - 1) マヒドン大学との学術交流
  - 2) 国際看護セミナーの開催
4. 教員の研究力の向上
  - 1) インテンシブ資金の積極的活用

大学組織が大阪市立大学との統合に向けて大きく進化していくなかで、引き続き看護学研究科の教育・研究を充実させ、社会貢献を発展させていくためには、自己点検・評価活動は不可欠です。その結果を基に PDCA サイクルを回し、質の高い教育・研究を行うことができるよう、さらなる飛躍を目指していくことが求められています。年報をまとめるにあたって、労の多い編集作業を担った看護学研究科部局計画・評価委員会委員をはじめとする担当者の皆様に心から感謝申し上げます。

2022 年 3 月 31 日

看護学研究科長 田中 京子

# 目 次

はじめに

|     |                                      |    |
|-----|--------------------------------------|----|
| 第1章 | 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・           | 1  |
| 第2章 | 教育研究組織・・・・・・・・・・・・・・・・               | 3  |
| 第3章 | 教育研究組織の実施体制・・・・・・・・                  | 6  |
| 第4章 | 学生の受け入れ・・・・・・・・                      | 36 |
| 第5章 | 教育内容及び方法・・・・・・・・                     | 38 |
| 第6章 | 学生支援・・・・・・・・                         | 53 |
| 第7章 | 教育の成果と教育の質の向上及び改善のためのシステム・・・・・・・・    | 56 |
| 第8章 | 研究活動・・・・・・・・                         | 60 |
| 第9章 | 社会貢献と国際交流・・・・・・・・                    | 65 |
| 資料  | 大阪府立大学地域保健学域看護学類 大学院看護学研究科<br>教員業績一覧 | 70 |

## 第1章 目的

### 1. 学士課程

看護学類の教育目的は、「生命の尊重と個人の尊厳を基盤とし、豊かな人間性を形成するとともに、科学的専門知識・技術を教授し、看護を総合的な視野で捉えられる人材を育成する」ことであり、「(1)人間の痛み、苦しみを分かち合え、幅広い教養を身に付け、生命の尊厳について深く理解し、行動できる豊かな人間性を養う。(2)看護に必要な知識と技術を習得し、科学的根拠に基づく適切な判断と問題解決能力とあわせて、社会の変化や医療技術の発展に対応できる能力を養う。(3)保健・医療・福祉・教育・地域においてヒューマンサービスを提供する人々と連携し、看護の実践と調整的な機能を果たす能力を養う。(4)変化する社会の中で看護の役割を展望し発展させ、地域的・国際的な視野で貢献できる能力を養う。(5)看護学への関心を深め、総合的な視野と看護研究の基礎能力を養う」ことを教育目標にしている。

以上の教育目的は、大阪府立大学地域保健学域規程の「教育目的」に示している（規程第 268 号第 2 条 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200081.html#e000000020](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200081.html#e000000020)）。さらに教育目標は、履修要項及びホームページと看護学類案内に示し、学内外に広く周知している。

特に看護学類の新入生を対象としたガイダンスにおいては、教育運営委員長より教育目的、教育目標について説明を行うとともに、履修要項や学類案内の冒頭部分に掲載することで、より意識づけがされるよう配慮している。また、受験希望者には学類案内を送付するとともに、オープンキャンパスや入試ガイダンスの参加者に説明を行い、広く社会に公表している。

さらに新たに採用された教員には、オリエンテーションの際に本学類の教育目的、教育目標について説明を受ける機会が設けられている。

### 2. 大学院課程

看護学研究科の教育理念は、「生命と人権の尊重を基盤とし、保健・医療・福祉及び社会の諸変化に対してクオリティ・オブ・ライフ (QOL) を志向した創造的・実践的な対応ができる専門的知識と技術をもった人材を育成し、看護学の発展と人々の健康に寄与する」ことである。

博士前期課程では、「人間の存在と生命の尊厳について深く理解し、広い視野に立って精深なる学識を修め、高い倫理観をもち専門分野における教育研究能力、あるいは高度に専門的な実践能力を有する人材を育成する」ことを教育目的とし、「(1)専攻する看護専門領域に関連する理論に精通し、看護活動に適用する。(2)専攻する専門領域の看護実践の質の向上を目指して、専門性の高い看護ケアを提供し、改革を推進する。(3)高い倫理観をもち、複雑な倫理的問題を判断し調整する。(4)看護に関する研究業績をクリティカルに検討し、看護ケアに積極的に活用する。(5)看護教育並びに看護実践の向上のために、相談・教育・調整機能を高める。(6)専攻する看護専門領域に関する研究課題に取り組み、看護研究能力を高める。(7)看護実践・研究・教育を通して国際交流に貢献する」ことを教育目標にしている。

博士後期課程では、「豊かな学識を有し、看護学分野において学術研究を推進しその深奥を究め、高い倫理観をもって自立して研究活動を行うことができる能力を有する人材を育成する」ことを教育目的とし、「(1)看護実践の改革をめざし、専門性の高い看護ケアを開発する。(2)理論や看護援助方法の妥当性を科学的に検証する。(3)

優れた看護実践、関連領域の知識・研究を用いて、高い倫理観をもって研究活動を行い、看護学の発展に寄与する。(4)教育、医療、研究、行政関連機関において、社会の変革に対応できる指導的・管理的リーダーシップを発揮する。(5)都道府県や国家レベルの政策開発や意思決定に参画する。(6)学際的、国際的な視野に立ち、学術交流、研究活動、保健医療活動に貢献する」ことを教育目標にしている。

看護学研究科の教育目的は、大阪府立大学大学院看護学研究科規程に示している（規程第 276 号第 2 条 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200089.html](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200089.html)）。さらに、「教育理念」及び「博士前期課程教育目的・教育目標」、「博士後期課程教育目的・教育目標」は履修要項及びホームページと看護学研究科案内などに表示し、学内外に広く公表・周知している。

特に研究科の新入生を対象としたガイダンスにおいては、看護学研究科長より教育目的、教育目標について説明を行うとともに、履修要項や研究科案内の冒頭部分に掲載することで、より意識づけがされるよう工夫している。また、受験希望者には研究科案内を送付するとともに、受験前の指導教授との面談において説明を行うなど、看護学研究科を十分に理解して進学の意思決定ができるよう支援している。

## 第2章 教育研究組織

### 1. 領域・分野と教員組織

#### 1) 学士課程の教員組織

看護学類の学士課程は学則に則って遂行され、教員は大学設置基準第10～11条に基づき確保している。

(規程第228号第10～11条 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200041.html#e000000224](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200041.html#e000000224))

2021年10月1日現在、専任教員数45名（教授16名、准教授13名、講師13名、助教3名）で教育課程を遂行している。教員数、教員配置については、ホームページ上で公表している。

教員組織は看護学類の教育目的に則り、健康科学、基礎看護学、家族支援看護学、生活支援看護学、療養支援看護学の5領域となっている。教員間の組織的な連携体制は、各領域に主任教授がおかれ、領域内及び領域間の調整が行われる。教育に係わる授業科目毎の担当者と責任者は、教育運営委員会、教授会を経て毎年度決定され、シラバスに明示している。

上記のように教員組織は5領域で構成され、教育研究を推進している。各領域の教育課程上の担当分野は次の通りである。「健康科学領域」では、人間への支援について学習する。「基礎看護学領域」では、看護・看護学とは何かについて看護を受ける「人」、その人をめぐる「環境」、看護の目的である「健康」の視点から理解するとともに、基礎的な看護技術を身につけ、統合された存在である人に対して、看護独自の機能を発揮するための基本となる知識と技術・態度を習得する。「家族支援看護学領域」では、親子、家族関係、家族のライフスタイル及び家族発達に応じた支援と健康問題への援助に必要な基本的な知識と技術・態度を習得する。「生活支援看護学領域」では、保健・医療・福祉環境の変化に対応し、地域で生活する人々の健康を支援する知識と技術・態度を習得する。「療養支援看護学領域」では、健康上の問題を有する成人期の人々へのケアについて、看護理論を基盤に、クオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上を目指した健康回復、健康維持、あるいは終末期を安らかに生きるための援助を行う知識と技術・態度を習得する。

看護学類の教員は、専門性に基づき各領域に配置されて教育にあたっており、各々が研究と実践から培った能力を発揮するように構成されている。したがって、学士課程における教育研究の目的を達成する上で適切なものとなっている。

#### 2) 大学院課程の教員組織

看護学研究科においては、大学院設置基準第9条及び第13条に基づき、博士前期課程は40名、博士後期課程は24名の研究指導教員を確保している。なお大学院担当教員は、ホームページ上で公表している。

看護学研究科では、多様化、複雑化、高度化する社会環境の中で、生命と人権の尊重を基盤として、看護に求められる社会的使命を遂行し、看護学を実践的・創造的に発展させ、地域社会及び国際社会のあらゆる健康レベルの人々に貢献できる高度な看護分野の実践者、管理者、教育者、研究者育成するという大学院設置の趣旨・目的に基づいて、幅広い看護の領域を学修できるように専攻を構成している。

博士前期課程では、「人・環境支援看護学領域」は看護技術学・看護情報学・看護管理学・看護教育学の4分野、「家族支援看護学領域」は母性看護学・小児看護学・家族看護学の3分野、「生活支援看護学領域」は地域看護学・在宅看護学・老年看護学・精神看護学の4分野、「療養支援看護学領域」は急性看護学・慢性看護学・がん看護学・感染看護学の4分野の合計15分野から構成されている。15分野は修士論文コースがあり、そのうち家族看護学・

小児看護学・精神看護学・老年看護学・在宅看護学・急性看護学・慢性看護学・がん看護学・感染看護学の9分野は専門看護師（CNS）コースを開設している。

博士後期課程は、「生活支援看護学領域」と「療養支援看護学領域」の2領域で構成されている。「生活支援看護学領域」は看護技術・情報学分野、看護管理・教育学分野、母子健康看護学分野、家族健康看護学分野、地域・精神看護学分野、在宅・老年看護学分野の6分野、「療養支援看護学領域」は急性療養看護学分野、慢性療養看護学分野、がん療養看護学分野、感染療養看護学分野の4分野の合計10分野から構成されている。

### 3) 教員の採用

大学の設置目的及び教育理念に基づき、教員の任期制、公募制及び外国人の兼任教員の確保が導入されており、教員組織の活動をより活性化するために、多様で透明性を確保した教員採用の措置をとっている。

看護学類教員の性別構成は、資料2-1-3に示す通りである。看護学類では、外国人教員1名を採用している。教員の採用に関しては任期制及び公募制を導入している。本学教員の任期に関する規程に基づき、任期制は助教の採用に適用し、任期は5年としている。

（規程第202号第2条 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200464.html](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200464.html)）。

公募制は、本学教員人事規程に基づき、全教員の採用に適用している。公募方法は資格、経験年数等の条件を明示し、本学ホームページ、研究者・人材データベースJREC-INを活用している。

教員の採用に関する事項は、本学教授会等規程に基づき、教授会で審議し（規程第235号第3条3項 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200048.html](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200048.html)）、本学人事委員会規程に基づき人事委員会で審議する。教育研究上の指導能力について審査を行い、本学教員選考基準により教員を選考している。具体的には、履歴書、教育研究業績書、主要な著書または論文、及び採用後の専門分野の研究と教育に対する方針等の書類審査、面接・プレゼンテーションにより評価する。

2021年度は大阪公立大学に向けて准教授2名、講師3名の採用について決議した。

資料2-1-3 2021年度看護学類 教員 性別構成

2021年10月1日現在

| 領域<br>構成 |    | 健康科学 | 人・環境支援<br>(基礎)看護学 | 家族支援<br>看護学 | 生活支援<br>看護学 | 療養支援<br>看護学 | 合計 |
|----------|----|------|-------------------|-------------|-------------|-------------|----|
| 教員（名）    |    | 1    | 10                | 11          | 13          | 10          | 45 |
| 性別（名）    | 女性 | 0    | 10                | 11          | 13          | 9           | 43 |
|          | 男性 | 1    | 0                 | 0           | 0           | 1           | 2  |

#### 4) 教育支援者

大阪府立大学羽曳野キャンパスでは、看護学類、看護学研究科と総合リハビリテーション学類、総合リハビリテーション学研究科を設置し、専任教員を看護学類、看護学研究科に45名、総合リハビリテーション学類、総合リハビリテーション学研究科に36名配置している。これら2学類、2研究科の事務をつかさどるために、総務・会計・入試・学生・教務・業務等を担当する事務職12名、契約職員20名、非常勤職員若干名を配置している。

ティーチングアシスタント（Teaching Assistant:以下TA）については教授会の承認を得て、適宜活用を図っている。2021年度のTA採用人数は、延べ31名、総時間は433時間であった。2019年度と比較してTAの採用人数が大幅に減っているのは、2021年度の授業が新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン授業になったものが多く、TAが活躍できる場が少なかったことに起因している。

また、2009年度より教員支援者として看護学類教員を支援するパート契約事務職員1名を配置している。教材用資料複写、書類作成等の補助業務を行っている。

## 2. 附属組織・センター

看護学研究科は、療養学習支援センターを有するが、これは療養学習支援に関する研究・教育・実践を推進するとともに、その成果を地域に還元し看護の質の向上に寄与するという趣旨に基づき、2005年から附置された。療養学習支援センターの設置趣旨及び業務等は、大阪府立大学大学院看護学研究科療養学習支援センター規程（規程第335号 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200148.html?id=j3\\_k2](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200148.html?id=j3_k2)）に明示している。療養学習支援センターは、円滑な運営を図るため、大阪府立大学大学院看護学研究科療養学習支援センター運営委員会を設置している。運営委員会は大阪府立大学大学院看護学研究科療養学習支援センター運営委員会規程（規程第262号 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200075.html](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200075.html)）に基づき、2021年度は8名の委員で組織された。センターの主な事業は、地域住民及び医療機関の利用者を対象とした各種の療養学習支援活動及び健康相談活動、療養学習支援に関する研究活動、療養学習支援に関する学術交流活動である。



### 第3章 教育研究組織の実施体制

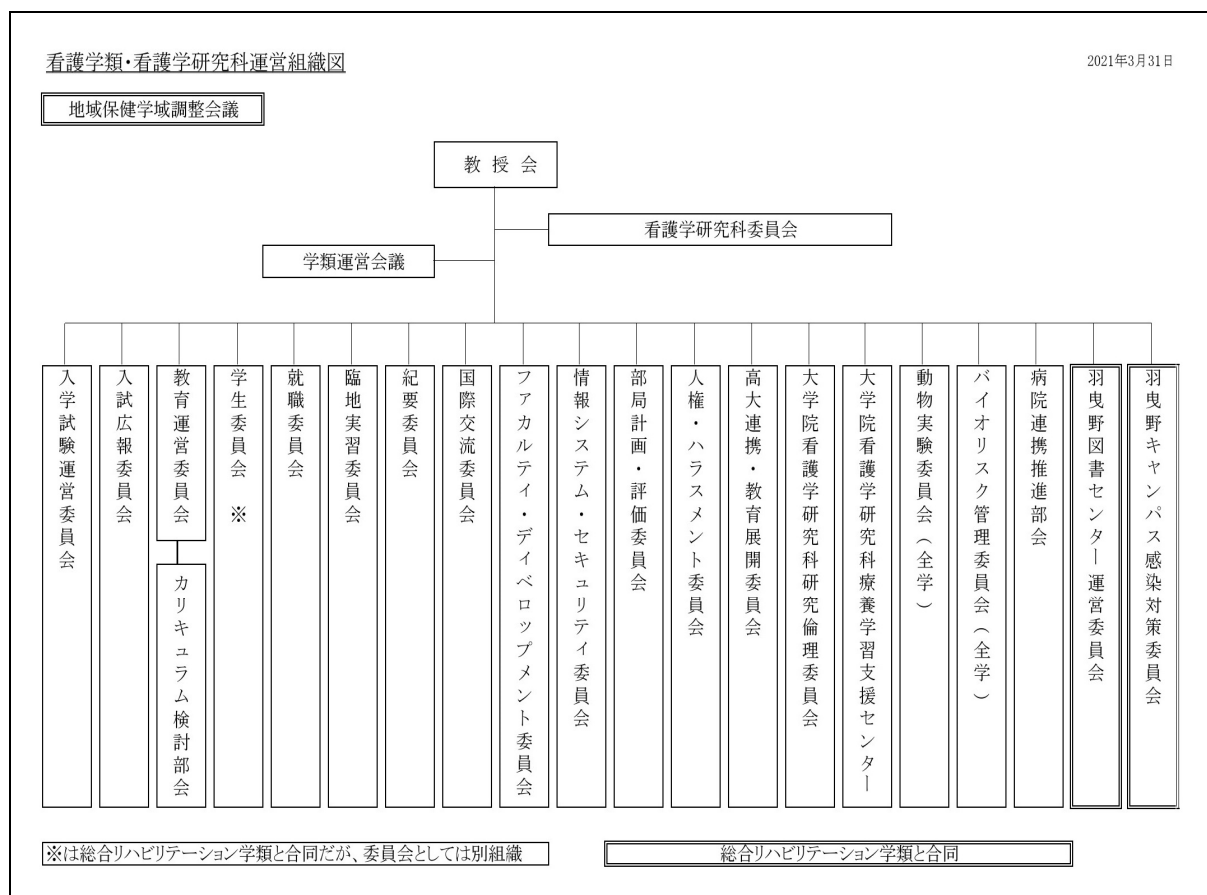
#### 1. 運営組織

教育活動に係る重要事項を審議するために、教授会を最高意思決定機関と位置づけ、その下に教育活動に係る重要事項を審議するための委員会を設置している。各委員会は定期的に会議を開催し、それぞれの分掌事項を効率的に検討し、円滑に審議を進めている。

教授会は、教育課程の編成に関する事項、学生の入学、卒業又は課程の修了、学位の授与、学生の支援及びその身分に関する事項、教員人事に関する事項、教育又は研究に関する重要事項について審議する。教授会の下に教育運営委員会、臨地実習委員会、学生委員会等を設け、教育活動が円滑に行われるための必要な活動を行っている。資料3-1は看護学類・看護学研究科の運営組織図である。

教育運営委員会、臨地実習委員会、学生委員会等は毎月1回の定例の会議を開催している。特に、教育運営委員会では、教育課程に関すること、履修に関する規程の制定及び改廃に関すること、教育の実施及び運営に関することなどについて、臨地実習委員会では、教育の中の臨地実習の運営に関する事項を中心に、また学生委員会では、学生の相談・支援・福利厚生等に関する事項について検討し、その検討結果は教授会で報告し、重要事項については更に教授会で審議し、決定している。

資料3-1 看護学類・看護学研究科運営組織図



## 2. 委員会活動

| 委員会名  | 学類運営会議                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的    | <p>運営会議は、次の各号に掲げる事項を協議・調整するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員の教育、研究、社会貢献、学類運営における活動に関する事</li> <li>(2) 予算の管理に関する事</li> <li>(3) 各領域間の調整に関する事</li> <li>(4) その他、領域の運営に関する事</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                          |
| 構成員   | 田中学類長（委員長）、中山教授、杉本教授、簗持教授、都筑教授                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 活動概要  | <p>1. 開催状況</p> <p>定例会議：11回（毎月1回、8月は除く）</p> <p>臨時会議：なし</p> <p>2. 検討事項</p> <p>1) 学類運営会議規定に基づき、教授会、研究科委員会の検討事項のうち、事前検討の調整が必要なものについて検討した。</p> <p>〈担当〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事：田中教授(委員長)、中山教授、杉本教授</li> <li>・予算：簗持教授、都筑教授</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">*田中教授(委員長)、中山教授により全般的に確認</p> <p>2) 2021年度は通常の人事管理、予算管理以外に、看護学研究科の臨床教授等の称号付与、地域保健学域臨床講師の称号付与、実習施設との共同研究補助金申請、大阪府立大学特別研究奨励金支給事業の審査、教授会審議・報告に必要な内容等を検討した。</p> |
| 今後の課題 | <p>1. 大阪府立大学全体の方針に基づきながら、看護学類および看護学研究科の教育課程、運用上の問題を解決する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 委員会名  | 入学試験運営委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的    | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 入学試験に関する企画に関すること</li> <li>(2) 入学試験の適正かつ円滑な実施に関すること</li> <li>(3) 入学試験のあり方に関すること</li> <li>(4) 入学試験の出題及び採点に関すること</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 構成員   | <p>田中研究科長（委員長）、渡邊教授（副委員長）、澤井教授、中山教授、杉本教授、簗持教授、長畑教授、益准教授、岡野准教授、大江准教授（9月末まで）</p> <p>村上事務所長（羽曳野キャンパス事務所）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 活動概要  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 看護学類入学試験運営委員会（定例5回）</li> <li>2) 全学入学試験運営部会（定例2回）</li> <li>3) 看護学研究科出願資格審査委員会1回</li> </ul> </li> <li>2. 入試の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 大阪公立大学大学院看護学研究科 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 博士前期課程（第1次募集2021年8月24日実施）<br/>出願者23名、合格者18名（入学手続き者18名）</li> <li>② 博士後期課程（第1次募集2021年8月25日実施）<br/>出願者6名、合格者6名（入学手続き者6名）</li> </ul> </li> <li>2) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学入試共通テスト（2022年1月15日・16日）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>3. 入試制度の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、本学の入試運営方針に沿って、準備・実施における感染防止対策を決定した。また、大学院入試の追試対応を検討した。<br/>入試実施要員説明会は非同期型オンライン式で開催した。<br/>委員会の開催方法を、対面会議が1回、オンライン会議が4回として実施した。</li> <li>2) 看護学類教職員の入試業務分担の公平化に努めた。</li> </ul> </li> <li>4. 大阪公立大学入学試験運営委員会の開催・運営<br/>大阪府立大学入学試験運営委員会と大阪市立大学入試広報委員会の委員が中心となり、2021年10月から合同委員会を実施し、大阪公立大学の入試運営を行う事となった。</li> </ol> |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大阪公立大学大学院看護学研究科博士前期課程・後期課程入学試験を適正に実施する。</li> <li>2. 大阪公立大学看護学部（推薦・前期・後期・外国人特別）の入学試験を適正に実施する。</li> <li>3. 予算計画をたて、適正に執行する。</li> <li>4. 入学試験の選抜方法と体制について検討する。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名 | 入試広報委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 目的   | 委員会は、入試広報に関する事項について審議する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 構成員  | 長畑教授（委員長）、杉本教授、園田准教授、井上(敦)講師、徳岡講師、深山講師<br>（うち、長畑委員長、園田委員、徳岡委員は広報ワーキンググループメンバー兼任）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 活動概要 | <p>2021 年度の入試広報委員会の活動は、大阪公立大学看護学部設置準備委員会より組織された広報ワーキンググループと協働して行った。</p> <p>看護学類入試広報委員会として単独で実施したものは、5 月に実施した大阪公立大学大学院看護学研究科入試説明会の企画・運営、大阪公立大学大学院看護学研究科博士前期課程実践看護研究コースパンフレットの作成及び関係機関への送付であった（下記活動内容の※印）。</p> <p>2021 年度は4 月 12 日（オープンキャンパスの企画、大学院入試説明会の企画）、5 月 16 日（オープンキャンパス実施形態変更に伴う企画の再検討、大学院入試説明会の最終打ち合わせ）、9 月 10 日（大学院入試説明会の企画、大阪公立大学大学院看護学研究科博士前期課程実践看護研究コースパンフレットの調整など）の 3 回、委員会を開催した。</p> <p>1. 広報行事に関すること</p> <p>※5 月 22 日：大阪公立大学大学院看護学研究科入試説明会開催</p> <p>新型コロナ感染拡大防止のため、昨年に引き続き Web 開催として企画し、チラシ作成・配布、プログラム作成、看護学研究科ホームページお知らせ掲載、担当者の決定、研究科紹介動画の作成、事前の受付や運営</p> <p>参加人数 48 名（14 分野 複数希望含む）、8 月入試の受験希望者は 23 名</p> <p>参加人数は昨年度（34 名）より増加し、参加者アンケートでは有意義で分かりやすかった等の好意的な意見が大半で、大きなトラブルもなく運営が行えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4 月～12 月：高校ガイダンス（分野説明会、模擬授業等）5 校、進学相談会 4 件</li> </ul> <p>今年度より大阪市立大学看護学科の教員を含めた入試広報活動担当者順番表を作成し、これに基づいて担当者を決定した。また、全学の方針に基づき高校訪問、進学説明会とも感染対策のため Web での参加のみとし、対面開催のみの場合は辞退した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8 月：Web オープンキャンパス開催（8 月 10 日～23 日）</li> </ul> <p>大阪公立大学看護学部紹介動画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9 月 25 日：大阪公立大学大学院看護学研究科入試説明会開催</li> </ul> <p>広報ワーキンググループを中心に開催方法の検討、チラシ作成・配布・プログラム作成、大阪府立大学大学院看護学研究科及び大阪市立大学大学院看護学研究科ホームページお知らせ掲載、担当者の決定、各分野担当教員への協力要請、当日のトラブル対応</p> <p>参加人数 19 名（13 分野 複数希望含む） 12 月入試の受験希望者は 3 名</p> <p>参加人数は昨年の 10 月に実施した大阪府立大学大学院看護学研究科入試説明会（20 名）とほぼ同数であったが、12 月入試の受験希望者が非常に少なく、大学院進学希望者への情報提供には貢献したが、受験者獲得には大きな貢献にならなかった。参加者アンケートでは概ね好評な意見が寄せられていた。</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月：大阪府立大学看護学類及び大阪市立大学看護学科在校生を対象とした大阪公立大学大学院入試説明会開催（オンライン）</li> <li>①大阪公立大学大学院看護学研究科の概要（助産師課程設置予定の告知を含む）、②博士前期課程学部特別選抜の概要、③先行履修制度と早期修了制度の概要の3つの内容について研究科長予定者、副研究科長予定者の説明動画を作成し、各大学の在學生に限定配信</li> </ul> <p>2. 広報ツールの作成・修正に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月：高校訪問等で使用するスライドの作成</li> <li>※9月：大阪公立大学大学院看護学研究科博士前期課程実践看護研究コースのパンフレット作成、送付</li> </ul> <p>12月に実施する大阪公立大学大学院看護学研究科入試に向け、これまで大阪府立大学で作成してきたCNSコースパンフレットをもとに、大阪公立大学においてもこれまでの実績を活かしてCNSの養成に力を注ぐこと、これに加え看護教育者、看護管理実践者の養成を目指すことをPRするため、実践看護研究コースに特化したパンフレットを作成し、保健医療福祉施設、看護協会等に個別配送した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月：大阪公立大学大学院看護学研究科入試説明会チラシ作成、実践看護研究コースパンフレットとともに発送</li> </ul> <p>3. ホームページ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各イベント情報の掲載や既存のページ内容の学類ホームページの更新<br/>（更新内容：教員一覧、個人ページ、新任教員個人ページ作成、領域写真、学年暦、CNS名簿などの更新、学類・研究科、行事、受賞情報等のお知らせアップ）</li> </ul> |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大阪公立大学看護学部・看護学研究科Webサイトの構築</li> <li>2. 大阪府立大学看護学類・看護学研究科ホームページの管理</li> <li>3. 入試広報活動方針の検討（重点課題など）</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

| 委員会名 | 教育運営委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的   | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育課程に関すること</li> <li>(2) 履修に関すること</li> <li>(3) 教育の実施及び運営に関すること</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 構成員  | <p>簗持教授（委員長）、細田教授、北村教授、三輪教授、九津見准教授、根来講師、山口講師、山田講師</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 活動概要 | <p>2021 年度は 13 回の教育運営委員会および 3 回の持ち回りの委員会を開催した。委員会では下記の内容について重点的に活動した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新入生履修説明会、個別指導の実施 <p>2021 年度地域保健学域看護学類新入生に対して、羽曳野キャンパスにおいて、コロナ感染症対策に留意しながら新入生オリエンテーション、履修説明会を 4 月当初に実施した。全体での説明会後に個別の相談の時間も十分に確保できた。履修申請漏れに対しては、教務事務担当者やアドバイザーが担当学生に教育的指導を行った上で、新入生が受講できるように配慮した。大学院生履修説明会においても全体のカリキュラムについて研究科長から説明を行うとともに、分野教員や基盤教育科目の説明を受ける時間を設定し、ガイダンスを受けられるように配慮した。また学類新入生に関しては 7 月に後期の履修申請も含めて再度履修説明会を対面で実施した。</p> </li> <li>2. 在校生履修説明会の実施 <p>2022 年度在校生履修説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2、3 年生に対してはオンラインで実施した。4 年生は昨年度、一昨年度は行っていなかったが、大阪公立大学に伴い、様々なシステムの変更が生じることも鑑み、2、3 年生と同様にオンラインで実施した。</p> </li> <li>3. 時間割作成 <p>大阪府立大学看護学類 2～3 年生、大阪公立大学看護学部 1 年生、大阪府立大学大学院看護学研究科、大阪公立大学大学院看護学研究科実践看護科学領域の時間割を作成した。大阪公立大学大学院の時間割は、早期履修も想定し、看護学類生が受講できるように配慮し、作成した。</p> </li> <li>4. 助産師科目および保健師科目選考試験の実施 <p>助産学担当教員および公衆衛生看護学担当教員とともに選考試験要領を一部修正した。保健師科目選考試験については、志望者が定員に満たなかったため、選考試験は実施しなかった。助産師科目選考試験については教育運営委員長が選考委員長となり実施した。</p> </li> <li>5. 各種教務関連申し合わせ等についての整備 <p>特別講義の謝金申請要領や成績根拠資料保管期間等の申し合わせ等について検討し、必要な修正を行った。</p> </li> </ol> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>6. 博士論文、修士論文・課題研究発表会の開催への支援<br/>大学院生による博士論文・修士論文・課題研究 17 名の発表会への準備を支援した。開催は COVID-19 の感染状況から、学内限定のオンラインとして開催した。</p> <p>7. 単位未修得学生への指導（アドバイザー支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017 年度から継続して、学生個人に単位取得状況に関するチェック表を配布し、学生自身による履修科目の管理やアドバイザーによる履修指導に役立てるようにした。</li> <li>・前期・後期の全学生の単位修得状況を確認し、必要な履修指導内容を明示した書類をアドバイザー教員に配付し、個別指導を依頼した。</li> <li>・必要時、学生及びその保護者と面談を行い、履修が円滑に進むよう指導を行った。</li> </ul> <p>8. 学域共通科目の開講および大学院共通科目の実施協力<br/>2021 年度入学生への学域共通科目の人間支援科学論、コラボレーション論について、研究公正科目担当教員の領域を調整、決定し、実施への協力を行った。</p> <p>9. 全学教務関係委員会（教育企画運営会議）への出席<br/>大阪府立大学全体の教務内容と学類の教育運営委員会が連動して運営できるように調整を行った。</p> <p>10. 非常勤講師の選出・任用についての審議<br/>非常勤講師の去就に伴い、新たな担当者を決定し、履歴書を基に審議した。</p> <p>11. TA 時間配分の調整<br/>領域ごとの効果的な、効率のよい TA の運営に向け、時間配分等の調整を行った。</p> <p>12. 教学アセスメントの実施<br/>本学の「内部質保証に関する方針」に基づき、昨年度作成したアセスメントポリシーに基づき、アセスメントリストを作成し、教学アセスメントを行った。教育運営委員会委員が看護学類、看護学研究科に関するアセスメントリスト、認証評価に関わる領域 6、領域 2 に関する評価資料を作成した。</p> |
| 今後の課題 | <p>1. 受講申請と再履修者に関する学生の履修指導について、アドバイザーと協力した指導が重要となる。特に大阪公立大学になり、2023 年度までは学年ごとに使用するキャンパスも異なり、大阪府立大学の大阪公立大学科目の読み替え科目の開講年度も異なる科目もあることから、再履修者への指導も複雑になるため、教務事務、アドバイザー等との連携が必要である。</p> <p>2. 次年度は大学認証評価、自己点検評価に関わる教学アセスメントの実施体制について部局評価委員会などとの協力・連携体制が必要である。</p> <p>3. COVID-19 に伴う授業・試験実施時の配慮、履修指導等を継続していく必要がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

| 委員会名 | 学生委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的   | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学生の休学、退学、復学、除籍に関すること</li> <li>(2) 学生の表彰及び処分に関すること</li> <li>(3) 学生の生活指導に関すること</li> <li>(4) 学生の福利厚生に関すること</li> <li>(5) 学生相談に関すること</li> <li>(6) その他、学生生活に関すること</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 構成員  | 中山教授（委員長）、森本教授、長畑教授、益准教授、古山准教授、林田准教授                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 活動概要 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 羽曳野キャンパス学生委員会（羽曳野キャンパス共通・看護学類9回開催、および臨時のメール会議を複数回実施した）</li> <li>2) 全学学生委員会 6回、外国人留学生支援部会 3回</li> </ul> </li> <li>2. 活動状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 奨学支援 <p>国、大阪府の修学支援制度があり、成績や学習意欲で指導が必要な学生に対して、学生アドバイザーから対応を依頼した。</p> <p>国の高等教育就学支援制度 52名、府の授業料等支援制度 72名、学生緊急給付金 34名、授業料減免制度 学類生 0名、大学院生 1名、特別研究奨励金 18名</p> </li> <li>2) 学生相談 <p>委員長への相談 3件</p> <p>大学院生（前期課程）に対する修学相談員体制の提示</p> <p>外国人留学生への相談支援（新入生への外国人留学者アドバイザーによる学修状況の面談/アドバイザーは中山教授）</p> </li> <li>3) 課外活動支援 <p>羽曳野クラブサークル登録数 12団体</p> <p>クラブの団体結成承認 0団体、解散承認 4団体 変更承認 0団体</p> <p>本年も新型コロナウイルス感染症増加の状況を鑑み、各団体から活動計画を提出してもらい、許可が得られた団体は活動報告書を学生課に提出し、活動を行うことになった。羽曳野キャンパスの許可団体は4団体の活動承認が得られた。</p> </li> <li>4) 福利厚生、安全と健康 <p>保健室使用件数 24件、学生相談利用件数 140件（2022年3月現在 延件数）</p> <p>Will 全員加入の促進（新入生加入率 100%）</p> </li> <li>5) 賞罰 <p>前期：学長顕彰：学類 0名、大学院 1名、杏樹賞：学類 4名、大学院 0名、</p> <p>後期：学長顕彰：学類 0名、大学院 0名、杏樹賞：学類 5名、大学院 2名</p> </li> </ul> </li> </ol> |



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>大阪府看護協会会長賞 学類1名、大学院1名</p> <p>注意等なし</p> <p>6) 休退学等</p> <p>〈休学〉前期：学類3名、大学院4名 後期：学類1名、大学院1名</p> <p>〈退学〉前期：学類1名、大学院1名 後期：学類4名、大学院2名</p> <p>〈除籍〉前期：学類1名</p> <p>7) アクセスセンターと連携した在学生のサポート</p> <p>就学上の合理的配慮が必要な在学生の配慮の内容について検討するとともに経過等について情報交換を行った。</p> <p>8) その他 学生生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アドバイザーグループ編成と学生配置の決定。</li> <li>・ 年末年始の大学院自習室使用は、新型コロナウイルス感染症のため中止とした。</li> <li>・ 杏樹祭は新型コロナウイルス感染症のため中止とした。</li> <li>・ 学位記授与式の企画・運営</li> <li>・ 大学院生室のプリンター等の管理</li> </ul> |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生の学生生活充実に向けた支援、学習環境の調整</li> <li>2. 新型コロナウイルス感染症禍での学類生アドバイザー活動の促進や大学院生（博士後期課程の在学生も含めて）に対する相談体制の充実</li> <li>3. 大学院実習室の運営を方針</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 委員会名 | 就職委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的   | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 就職業務方針に関すること</li> <li>(2) 就職の相談及び指導に関すること</li> <li>(3) 求職、求人に関すること</li> <li>(4) 求職についての調査に関すること</li> <li>(5) その他、就職に関すること</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 構成員  | 澤井教授（委員長）、三輪教授、渡邊教授、相原准教授、岡崎講師、伊藤講師、安本講師                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 活動概要 | <p>1. 就職ガイダンス等の開催</p> <p><b>【3年生対象】</b></p> <p>第1回ガイダンス 7月30日～（オンライン：動画配信） 参加人数 80～100名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府立病院機構の教育担当者から、学生への実習指導や就職支援も含めて病院の様子、実習指導体制を説明</li> </ul> <p>第2回ガイダンス 12月23日（オンライン：Zoom開催） 参加人数 119名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動準備講座（講師：マイナビ）</li> <li>・キャリア支援室利用の勧め、新4年生のための就職活動</li> <li>・国家試験スケジュール説明等</li> </ul> <p>第3回ガイダンス 2022年2月22日～（オンライン：動画配信）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新4年生のための就職タイムスケジュール</li> <li>・就職活動を始めるにあたって</li> <li>・模擬面接について</li> <li>・大阪府立病院機構説明会</li> </ul> <p><b>【4年生対象】</b></p> <p>第1回ガイダンス 4月15日（授業支援システムによる配信）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職試験における心得、注意事項</li> <li>・模擬面接日程</li> <li>・就職支援について</li> <li>・国家試験の準備と国家試験実施日等について</li> </ul> <p>第2回ガイダンス 8月2日～6日（オンライン） 参加人数 64名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師国家試験の傾向と対策（さわ研究所講師によるセミナー）</li> <li>・進路報告登録について</li> </ul> <p>国試直前ガイダンス 2022年2月3日（オンライン：Zoom開催） 参加人数 123名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国家試験の心得</li> <li>・国家試験自己採点会について</li> <li>・国家試験受験表配布・説明</li> <li>・合格発表時の指導を実施</li> <li>・就職に際して社会人として気を付けること</li> </ul> |

- ・就職支援、国家試験対策に関するアンケートの実施
- ・後輩へのメッセージ
- ・合格発表時の就職施設に対する対応

自己採点会 2022 年 2 月 14～15 日 参加人数 127 名

- ・看護師国家試験の自己採点会（さわ研究所 Web 自己採点サービスを利用）
- ・合格発表時の指導を実施
- ・就職に際して社会人として気を付けること
- ・就職支援、国家試験対策に関するアンケートの実施
- ・後輩へのメッセージ
- ・合格発表時の就職施設に対する対応

## 2. 就職支援

### 1) エントリーシート作成（キャリア支援室主催、オンラインセミナー）

面接対策：就職委員会、キャリア支援室、アドバイザー教員による模擬面接

### 2) 就職に関する事務

- ・就職情報・進路資料の管理・就職状況の把握

## 3. 国家試験に関すること

- ・学校内で国家試験対策の模擬試験担当者を決め、計 5 回の模擬試験を実施できるように支援
- ・学習会の企画開催（受験勉強のコツ、人体の構造と機能、疾病の治療、成人看護学等に関するオンデマンド講座の提供）
- ・模試結果を分析し、担当アドバイザーに成績等学習指導の連絡
- ・教員による国試対策勉強会（必修問題を中心とした過去問や模試問題の解説と質問対応）

### 【3 年生対象研修会等の実施】

- ◆ 国家試験スタートアップ模試 8 月 18 日～31 日 参加人数 128 名
  - ・さわ研究所「専門基礎模試」解剖生理学 60 問 + 解説講義 DVD
  - ・オンライン勉強会（復習）
- ◆ 国家試験対策セミナー 7 月 30 日～（オンライン） 参加人数 97 名
  - ・実習中から国家試験を学習する意識付け（さわ研究所の無料ガイダンス活用）

### 【4 年生対象研修会の実施】

- ◆ 解剖生理学特別講座 8 月 3 日～7 日 参加人数 69 名
  - ・さわ研究所による解剖生理学特別講義
- ◆ 国家試験直前講座 ① 11 月 1 日～ 参加人数 55 名（アンケート回答者数 73 名中）
  - ・さわ研究所 疾病の成り立ちと回復の促進総まとめ オンデマンド講座
- ◆ 国家試験直前講座 ② 11 月 1 日～ 参加人数 56 名（アンケート回答者数 73 名中）
  - ・さわ研究所 人体の構造と機能総まとめ オンデマンド講座

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>◆ 国家試験直前講座 ③ 12月25日～ 参加人数63名（アンケート回答者数73名中）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわ研究所 講師が選ぶ最後の100問 オンデマンド講座</li> </ul> <p>◆ 必修模試対策勉強会2回（2022年1月14日 参加人数71～83名、1月21日 参加人数57～68名）</p> <p>◆ 国試対策オンライン勉強会4回（第1～4回模試の解説と質問対応）の実施</p> <p>4. 委員会の開催</p> <p>（6回／年：4月13日、6月18日、10月25日、12月6日、2022年1月17日、3月25日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動計画と担当者決定</li> <li>・模擬面接の評価と開催方法の検討（時期と内容、キャリアサポート活用検討）</li> <li>・就職ガイダンスの企画・運営について・就職内定状況について</li> <li>・国家試験対策支援の現況・予算執行状況について</li> <li>・国家試験対策の評価と実践計画・状況把握</li> <li>・看護師国家試験模擬試験結果についてアドバイザーへの模擬試験連絡</li> </ul> |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職ガイダンスの継続と内容評価</li> <li>2. キャリアサポートとの履歴書添削、面接練習における連携評価</li> <li>3. アドバイザー教員との連携</li> <li>4. 学生主体の国家試験模擬試験の運営の相談</li> <li>5. 国家試験対策として学類主体で行う研修会とその対策費用の確保（つばさ基金の活用）</li> <li>6. 国家試験対策への学生参加者割合を増やす方策</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名 | 臨地実習委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 目的   | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 臨地実習の教育方針及び教育課程に関すること</li> <li>(2) 臨地実習の運営に関すること</li> <li>(3) 臨地実習の指導体制の整備に関すること</li> <li>(4) 臨地実習に関する規定の制定及び改廃に関すること</li> <li>(5) その他、臨地実習の実施及び運営に関し必要なこと</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 構成員  | 北村教授（委員長）、志田教授、檜木野教授、園田准教授、岡野准教授、高講師、安本講師、山内講師、柱谷助教、中村助教                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 活動概要 | <p>1. 主な委員会活動の実施状況</p> <p>委員会 10 回、総合実習学生配置（4 月）、3 年次生への実習オリエンテーション（8 月）、府立 5 医療センター臨地実習連絡会（3 月）、文部科学省調査書類作成、実習における感染対策周知</p> <p>2. 所管事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実習運営関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021 年度分野別実習オリエンテーションの開催</li> <li>・ 2021 年度後期～2022 年度前期実習進度表・学生配置表の調整及び作成</li> <li>・ 2021 年度の実習帰校日使用教室の調査・予約</li> <li>・ 2021 年度総合実習の学生配置数（案）の検討</li> <li>・ 2021 年度実習衣購入に関わる検討及び関係者との調整</li> <li>・ インフルエンザワクチン接種報告の集約</li> <li>・ 新型コロナワクチン接種報告書の作成</li> </ul> </li> <li>2) 府立 5 医療センター臨地実習連絡会関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府立 5 医療センターでの 2021 年度及び 2022 年度の実習計画の作成</li> <li>・ 各施設窓口担当教授と連携し、施設との調整</li> <li>・ 府立 5 医療センター臨地実習連絡会を開催し、施設との情報交換</li> <li>・ 学生による臨地実習評価アンケートの実施及び報告書の作成</li> </ul> </li> <li>3) 実習関連情報関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習要項の作成：看護学臨地実習要項、各領域・分野別実習要項、総合実習要項</li> <li>・ 実習で使用する感染予防物品の一括購入</li> <li>・ 2021 年度臨地実習における事故報告のとりまとめ<br/>加害 1 件、その他 4 件の合計 5 件</li> <li>・ 「実習における個人情報取り扱いに関するガイドライン」の説明と学生・教員誓約書の取り<br/>交わし</li> <li>・ 実習指導教員の小児期感染症抗体価検査の公費での実施</li> </ul> </li> </ol> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨地実習公文書に伴う調整</li> <li>・ オンライン実習における学生の意見をアンケートで確認</li> </ul>                                                                                                                                                       |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染対策と事故発生に対し、学生への指導を丁寧に行う必要がある。</li> <li>2. 臨地実習に関する教員研修を行う必要がある。</li> <li>3. 臨地および臨地でない形での実習の振り返りを継続実施。</li> <li>4. 羽曳野キャンパス感染対策委員会との連絡・調整を行い新型コロナウイルス感染症への対策を遵守する。</li> <li>5. 事務所との連絡・調整を密に行う必要がある。</li> </ol> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名  | 紀要委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 目的    | 委員会は、紀要に関する事項について審議する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 構成員   | 富川教授（委員長）、志田教授、南村准教授、山口講師                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 活動概要  | <p>1. 投稿要領の修正<br/>昨年度から申し送られた英語表記方法についての記述の修正</p> <p>2. 2021 年度看護学類紀要発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投稿募集（学内・学外へは看護学類・看護学研究科ホームページに掲載）</li> <li>・ 論文査読者の決定と査読依頼</li> <li>・ 査読結果から著者への修正依頼</li> <li>・ 再査読依頼</li> <li>・ 論文掲載の採否の決定</li> <li>・ 印刷業者の変更と決定（見積もり、業者の決定）</li> <li>・ 印刷依頼</li> <li>・ 校正 2 回（内 1 回は著者による校正。2 回の校正と表紙、裏表紙、欄外の校正は委員担当）</li> <li>・ CD で納入後、リポジトリへの公開</li> <li>・ 投稿申込 7 編、投稿受理 6 編</li> </ul> <p>3. 作業環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古いノートパソコンの廃棄手続き</li> <li>・ 使用されていなかったプリンターの整備</li> </ul> |
| 今後の課題 | <p>1. 大阪公立大学での投稿要領、編集ガイドライン案の再検討</p> <p>2. 大阪公立大学における論文募集と編集作業方法の決定と使用する書類の作成</p> <p>3. 大阪公立大学看護学雑誌としての ISSN の取得</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名 | 国際交流委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 目的   | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <p>(1) 国際交流に関する企画立案及び実施に関すること</p> <p>(2) その他、国際交流に関して必要なこと</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 構成員  | 志田教授（委員長）、澤井教授、森本教授、佐保准教授、奥野准教授、井上(奈)講師、山内講師                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 活動概要 | <p>1. 学類生・院生・教員を対象としたマヒドン大学交流</p> <p>マヒドン大学ラマティボディ校と、以下の4パターンのオンライン交流を企画した。2020年度に採択されたさくらサイエンスプランの予算を活用し、実施した。</p> <p>1) 学類生4年を対象とした交流（12月1日）</p> <p>本学で助産師コースを選択した学生9名とラマティボディ校の3年～4年の10名で、自国における周産期ケアの現状、助産師教育の現状について情報交換を行い、質疑応答をしながら相互の理解を深めた。プレゼンテーション準備のため、ヒューマングローバルコミュニケーションズのロン・リード講師よりサポートとフィードバックをもらいながらすすめた。終了時、お互いの大学ロゴ入りの記念品を交換した。</p> <p>2) アドバイザーグループを対象とした交流（12月22日）</p> <p>山内委員、奥野委員のアドバイザーグループの学生を選定し、自国の文化や観光スポット、自己紹介を兼ねて紹介しあった。本学の学生は3年生が4名参加し、マヒドン側は5名参加した。プレゼンテーション準備のため、ヒューマングローバルコミュニケーションズのロン・リード講師よりサポートとフィードバックをもらいながらすすめた。終了時、お互いの大学ロゴ入りの記念品を交換した。</p> <p>3) 院生を対象とした交流（3月14日）</p> <p>看護情報学の修了予定院生2名による研究プレゼンテーションを英語で実施した。同様に、マヒドン側の院生からも発表をしてもらい、ディスカッションを行った。</p> <p>参加人数は教員14名、大学院生4名であった。またマヒドン大学からは9名の参加があった。</p> <p>4) 教員を対象とした交流（3月14日）</p> <p>大阪府からの委託研究活動として、高講師（母性看護学）、安本講師（公衆衛生看護学）より研究の実践報告を行った。</p> <p>参加人数は教員14名、大学院生4名であった。またマヒドン大学からは9名の参加があった。</p> <p>2. マヒドン大学企画のオンライン交流への協力（11月24日）</p> <p>マヒドン大学の大学院コースで企画した international hospital tour への協力依頼に対し、りんくう総合医療センターの新垣師長、瓜田感染症看護専門看護師に依頼し、病院ツアーとコロナ禍の看護師の役割についてプレゼンテーションをしていただいた。マヒドン大学からは国内コ</p> |



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>ース、インターナショナルコース併せて 20 名ほどの参加があり、多くの質問をいただき、活発なディスカッションができた。</p> <p>3. 国際看護セミナーの実施</p> <p>第 28 回国際看護セミナーとして、大阪大学 CO デザインセンター長の池田光穂氏をお迎えし、「臨床コミュニケーションを考える」と題して学類 1 年の授業枠である「看護技術学 I」の時間（10 時～12 時）に、ワークショップを実施した。コロナ感染拡大への配慮として、学生を 4 グループに分け、二部屋に分け、二日間をかけて実施した（10 月 26 日、11 月 7 日）。参加人数は学類 1 年生 120 名、3 年生 5 名、学内教員 5 名（国際交流委員含む）であった。</p> |
| 今後の課題 | <p>1. 大阪公立大学でのマヒドン大学交流協定の遵守</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 委員会名 | ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的   | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <p>(1) 教員の教育内容・授業方法の改善に関すること</p> <p>(2) 教員の教育・研究能力の向上に関すること</p> <p>(3) 教育・研究活動の評価の実施に関すること</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 構成員  | 都筑教授（委員長）、檜木野教授、南村准教授、伊藤講師                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 活動概要 | <p>看護学類の委員会の開催は第1回5月10日、第2回5月28日、第3回5月31日（メール審議）、第4回7月26日、第5回8月30日、第6回10月28日、第7回12月2日、以降、第8回1月（メール審議）、第9回3月4日開催。</p> <p>看護学類教員のFD活動として、FDセミナーの実施、FDカフェの開催、ピア授業参観を中心に実施したほか、全学の授業アンケートの結果やFD活動の情報提供を行った。セミナーなどの実施については、新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインでの開催に変更した。</p> <p>1. FDセミナーの開催</p> <p>1) 第1回FDセミナー「コロナ禍における学生の現状と支援」講演 Web 開催<br/> （総合リハビリテーション学類との共同開催）<br/> 日時：2021年8月10日（火）13:00～15:00<br/> 講師：甲南大学教授 日本学生相談学会理事長 高石恭子先生<br/> 参加者：40名（看護教員30名、非常勤助手7名、総リハ3名）<br/> アンケート回答者35名（回収率87.5%）の全員が理解できた、役に立つ、受講してよかったと回答。意見として、学生の置かれている立場、現状、苦悩が分かった、学生への支援を考えるきっかけになった、等があげられた。</p> <p>2) 第2回FDセミナー「実践の知を生み出す事例研究法開発の試み」講演 Web 開催<br/> 日時：2021年12月20日（月）13:00～15:00<br/> 講師：東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学/緩和ケア看護学教授 山本則子先生<br/> 参加者：（オンライン）47名<br/> （オンデマンド）18名※オンライン参加の重複者を省く<br/> （合計）65名<br/> アンケート回答者46名（回収率70.6%）のほぼ全員が理解できた、役に立つ、受講してよかったと回答。意見として、言語化・可視化することの重要性、現場での語り合い、論文化の意義、わかりやすく事例研究を臨床で取り組んでみたい等、があげられた。</p> <p>2. FDカフェの開催</p> <p>1) 第1回地域保健学域FDカフェ<br/> 「コロナ禍における臨地実習の実際と工夫～皆で情報を共有し、今後活かそう！」Web 開催<br/> 日時：2022年3月17日：13:00～15:00</p> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>情報提供者：看護学類各実習担当教員</p> <p>参加者：33名</p> <p>各分野の報告の後、グループワークにて意見交換を行った。アンケート回答者30名（回収率90.9%）の全員がとても役に立つ、役に立つと回答。多くの参加者が交流の機会として、また情報共有、意見交換の良い機会となり、有益であったと回答していた。</p> <p>3. ピア授業参観</p> <p>昨年と同様にオンライン授業も対象とし、対面授業とあわせて全教員を対象としたピア授業参観を実施した。</p> <p>前年度3月に予告、4月、8月と3回参観提供科目募集と情報提供を行い、メールで各教員への周知を図り、参観科目提供と参観実施を促進した。</p> <p>提供コマ数と参観報告届提出は以下の通りである。</p> <p>前期79（学類76、大学院3）、後期35（学類33、大学院2）合計114コマ</p> <p>参観実施教員数13名</p> <p>参観コマ数（延べ） 前期：27コマ、後期6コマ</p> <p>→提供件数に比して参観者数が昨年も13名と少なく、十分にこの事業を活用できていない現状がうかがわれた。参加者からは対面、オンライン授業両方があり授業提供の手続きが煩雑、教員が参観の時間が取れない、参観した後の報告や参観の意義についての意見があった。委員会でのオンライン授業の参観者の把握も難しく、従来の報告届から一斉アンケートでの報告に変更した。今後、大阪公立大学としてどのようにこの事業を実施していくか、全学の状況もみながら検討していく必要がある。</p> <p>4. FDに関する学生アンケートの入力促進</p> <p>授業支援システムのアナウンスメント機能及び対面授業を活用し、学生に対し授業振り返りや学生調査への入力について周知を図り、入力促進を図っている。教員に対しては授業コメント入力について周知を行い、入力率の向上を図っている。また、授業振り返り科目に実習科目が入っていなかったため、後期から追加した。また、全学学生における1年生調査、上級生調査、卒業生調査等についても適宜周知を行い、入力率の促進を図っている。</p> <p>5. 情報提供</p> <p>全学FD委員会で実施されている研修やセミナー、オンライン授業に関するアンケート結果、学生調査の結果について教授会および教員全員に情報提供を行い、教育改善や向上の促進を図っている。</p> |
| 今後の課題 | <p>1. ピア授業参観の実施と方法についての検討</p> <p>2. 教育改善につながるFDセミナーの企画立案</p> <p>3. 学生の授業振り返りに対する教員コメントへの入力促進</p> <p>4. 学生アンケートに対する周知と入力の促進</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

| 委員会名 | 情報システム・セキュリティ委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的   | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報システムに関すること</li> <li>(2) Web ページのコンテンツの管理運用に関すること</li> <li>(3) 公立大学法人大阪府立大学情報セキュリティポリシー(以下「情報セキュリティポリシー」という。)の運用に関すること</li> <li>(4) 情報セキュリティポリシーに基づく個別対策の把握と必要な措置に関すること</li> <li>(5) 前4号に掲げるもののほか、看護学類における情報システムの運営及び情報セキュリティの確保に関すること</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 構成員  | 森本教授(委員長)、都筑教授、井上(奈)講師                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 活動概要 | <p>1. 委員会開催など</p> <p>全学の大阪府立大学情報システム委員会(第1回:2021年6月10日、第2回:2021年9月14日、第3回:2021年12月13日)開催後に委員会を開催またはメール会議を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) メール会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の情報システム委員会の報告、予算、情報セキュリティ対策基準、情報セキュリティ対策、情報セキュリティの啓発・教育活動、各委員の役割など</li> </ul> </li> <li>2) 委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年12月20日に開催</li> <li>・全学の情報システム委員会の報告、大学院生のパソコンの保守、情報セキュリティ対策、次年度の情報セキュリティの啓発・教育活動など</li> </ul> </li> </ol> <p>2. 看護学類における情報セキュリティの啓発・教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学類生への啓発・教育活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生に対して、情報セキュリティ対策についての啓発チラシを作成し、4月に配布した。加えて、公衆衛生学Aの授業において、個人情報・Webメールの使用方法・情報セキュリティなどの教育を実施した。</li> <li>・2年生に対して、疫学の授業において、個人情報・Webメールの使用方法・情報セキュリティなどの教育を実施した。</li> <li>・3年生に対して、保健統計学の授業において、個人情報・Webメールの使用方法・情報セキュリティなどの教育を実施した。</li> </ul> </li> <li>2) 大学院生への啓発・教育活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生に対して、情報セキュリティ対策についての啓発チラシおよび資料(大学院生室のパソコンの管理、USBメモリやHDD使用時の注意点、ファイルのパスワード設定、URLのクリック時などの注意点)を作成し、4月に配布した。加えて、調査研究処理法Iの授業において、個人情報や情報セキュリティなどの教育を実施した。</li> </ul> </li> <li>3) 教員への啓発・教育活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、教員にメールによる周知(マルウェア Emotet への対策、情報セキュリティインシデント発生時の連絡先や対応など)を行った。</li> </ul> </li> </ol> |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | <p>3. 看護学類における情報セキュリティインシデントへの対応<br/>今年度、1 件（マルウェア感染疑い）の情報セキュリティインシデントが発生した。OPU-CSIRT への報告および看護学類の教員への予防策の周知を行った。</p> <p>4. 全学の情報セキュリティ講習会等への参加及び周知<br/>全学の情報セキュリティ講習会（2021 年 9 月 22 日）や情報システム説明会（2021 年 12 月 24 日）に委員が参加するとともに、教員や学生などに講習会等の周知を行った。</p> <p>5. 大学院生自習室のパソコン管理<br/>大学院生自習室のパソコンについて、学生委員会と共同で管理を行った。</p> |
| 今後の課題 | <p>1. 情報セキュリティの啓発・教育活動<br/>・全学では情報セキュリティインシデント（特にマルウェア感染）が増加しており、引き続き、情報セキュリティの啓発・教育活動を実施する。</p> <p>2. 情報セキュリティインシデントへの対応<br/>・情報セキュリティインシデント発生時の連絡先や対応などを十分に把握していない教員もいるため、引き続き、それらの周知と情報セキュリティインシデント発生時のサポートを実施する。</p> <p>3. 大阪公立大学に向けた検討<br/>・大阪公立大学の情報システムについて、必要時、講習会などを企画し、実施する。</p>                              |

| 委員会名  | 部局計画・評価委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的    | 委員会は、公立大学法人大阪府立大学計画・評価会議 規程第2条第1項第1号、第3号、第4号、第5号及び第7号に掲げる職務のうち、学類・研究科において必要な計画及び評価を行うものとする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 構成員   | 田中研究科長、杉本教授（委員長）、中山教授、佐藤教授、都筑教授、園田准教授、中嶋准教授、九津見准教授                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 活動概要  | <p>部局における活動： 委員会の開催2回、メール審議2回</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2020年度部局計画実施状況（通年）の調査及び報告書作成<br/>2020年度部局計画実施状況（上半期実績）に下半期の実績を加え、達成状況を確認して記載し、企画総務課に提出（4月）</li> <li>2020年度部局改善方策調査票の作成<br/>2016～2018年度自己点検評価資料（2020年度作成）を参考に部局改善方策を記載し、企画総務課に提出（4月）</li> <li>2020年度年報の作成<br/>教授会にて承認された「2020年度年報の構成」に則り、担当委員会に執筆を依頼、企画総務課より教員業績データの提供を受け、確認、校正作業を行い、2022年1月に完成し、Webページに公表</li> <li>2021年度年報の作成<br/>教授会にて承認された「2021年度年報の構成」に則り、担当委員会に執筆を依頼、企画総務課より教員業績データの提供を受け、確認、校正作業を実施</li> <li>2021年度計画の部局の実績のとりまとめと報告<br/>部局計画がなくなり、大学全体の年度計画となったため、実績報告書作成に必要な項目について、教育企画運営会議より部局の実績に関する照会があり実績を取りまとめ、2022年3月末日に報告</li> </ol> |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>2021年度年報の確認・校正と公表</li> <li>2022年度計画の実施状況の調査及び報告</li> <li>2022年度大阪公立大学看護学部年報の構成（大阪府立大学年報を含めて）の検討</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

| 委員会名  | 人権・ハラスメント委員会                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的    | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人権及びハラスメント問題の啓発に関すること</li> <li>(2) 人権及びハラスメント問題に関する講演会及び研修に関すること</li> <li>(3) ハラスメントに関する相談に関すること</li> <li>(4) その他、委員会が必要と認める人権問題及びハラスメント防止に関すること</li> </ul>  |
| 構成員   | <p>中山教授（委員長）、中嶋准教授、南村准教授、大野講師、村上事務所長（羽曳野キャンパス事務所）</p>                                                                                                                                                                                |
| 活動概要  | <p>今年度、構成員が直接協議し、対応しなければならないハラスメントの問題は生じなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. ハラスメントにかかわる相談体制整備<br/>各教員がハラスメント相談員へアクセスしやすいよう、委員会名簿に明示した。</li> <li>2. ハラスメント研修に関わる情報提供<br/>全学で実施されるハラスメント研修に関わる情報提供をメールで行った。</li> </ul> |
| 今後の課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 人権・ハラスメント問題への啓発に向けて、講演会や研修会のアナウンスに協力し、多くの教職員の参加を促していく。</li> <li>2. ハラスメント相談員との有機的な連絡・相談体制の構築について継続して検討する。</li> <li>3. 大学院生に対してもハラスメント相談員に関するアナウンス等を十分に行うことが必要である。</li> </ul>               |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名  | 大学院看護学研究科研究倫理委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 目的    | 本研究科等の教職員（非常勤を含む）及び学生、客員研究員が行う人間を対象とする研究の倫理審査に関すること                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 構成員   | 田中研究科長、細田教授（委員長）、佐藤教授（副委員長）、北村教授、富川教授、佐保准教授、相原准教授、村上事務所長（羽曳野キャンパス事務所）外部委員：3名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 活動概要  | <p>申請 <u>70</u> 件（通常審査：<u>20</u> 件、迅速審査：<u>50</u> 件）の研究倫理審査を行った。</p> <p>1. 委員会開催</p> <p>倫理審査に関する委員会を 10 回（うち予備委員会 7 回）開催した。</p> <p>博士前期課程：修士論文 <u>16</u> 件（うち通常審査 5 件、迅速審査 <u>11</u> 件）</p> <p>課題研究 <u>12</u> 件（うち迅速審査 <u>12</u> 件）</p> <p>博士後期課程：本研究 <u>7</u> 件（うち通常審査 <u>4</u> 件、迅速審査 <u>3</u> 件）</p> <p>予備研究 <u>11</u> 件（うち通常審査 <u>2</u> 件、迅速審査 <u>9</u> 件）</p> <p>教 員：<u>24</u> 件（うち通常審査 <u>9</u> 件、迅速審査 <u>15</u> 件）</p> <p>2. 外部からの研究協力依頼 4 件を審査した。</p> <p>3. 研究倫理審査に関するオリエンテーションとして、大学院生、教員を対象とした動画説明および資料をポータルサイトに掲載した。</p> <p>4. 文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の改正に伴い、研究倫理審査申請の手引きを改訂した。</p> <p>5. 大阪公立大学倫理ワーキンググループで作成した大阪公立大学 研究倫理審査規程・審査要領・手順書・申請書類を検討した。</p> |
| 今後の課題 | <p>1. 審査日程、オリエンテーションの検討</p> <p>2. 研究終了・中止報告書提出の徹底</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |



|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名  | 療養学習支援センター運営委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 目的    | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <p>(1) 事業計画に関すること</p> <p>(2) 予算に関すること</p> <p>(3) その他、療養学習支援センターの管理運営に関すること</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 構成員   | 田中研究科長（所長）、三輪教授（主任）、中山教授、益准教授、長田准教授、岡野准教授、中村助教                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 活動概要  | <p>1. 運営委員会活動</p> <p>運営委員会を7名で組織し、円滑な運営ができるように年間6回の委員会を開催し、活動の検討や推進のための調整活動を行った。</p> <p>2. プロジェクト活動研究助成・活動助成</p> <p>2021年度は、活動助成8件の申請が認められ、総額891,405円の助成を行った。2022年3月16日（水）に報告会（オンライン）を開催し、助成プロジェクトの活動状況を報告した。参加人数34名</p> <p>3. 第9回看護フォーラム</p> <p>2022年2月12日（土）にオンラインにて、「つながろう！看護の知カラ〜臨床・大学・地域社会の知と実践の循環で現場を変える」をテーマに実践報告を行った。参加人数60名</p> <p>4. 広報活動</p> <p>療養学習支援センターの活動を地域に発信するために、パンフレットを作成し、ホームページに掲載した。</p> <p>5. 闘病記文庫活動</p> <p>羽曳野図書センター内に闘病記文庫を開架している。つばさ基金より支援を受けて新刊図書の購入を行った。</p> <p>6. 年報作成</p> <p>年報（第18巻）を作成し、ホームページ上に公開した。</p> |
| 今後の課題 | <p>療養学習支援センターの活動は、大阪公立大学では「看護実践研究センター」として引き継がれる。これまで積み重ねてきた看護職への教育支援や住民への健康教育・啓発活動の経験を活かし、さらに発展させることができるよう、引き続き教員の社会貢献活動を推進していくことが必要である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

| 委員会名  | 動物実験委員会（全学・羽曳野キャンパス）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的    | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 部局が承認した実験計画並びに当該実験計画の実施状況及び結果の適正性に関すること</li> <li>(2) 部局が承認した施設等及び実験動物の飼養保管状況の適正性に関すること</li> <li>(3) 動物実験の実施に係る自己点検・評価に関すること</li> <li>(4) 入学試験の出題及び採点に関すること</li> <li>(5) その他、動物実験等の適正な実施に関し必要なこと</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 構成員   | <p>岡田教授（委員長）・笹井教授・近藤講師（生命環境科学研究科）、児玉教授（理学系研究科）、原田教授（工学研究科）、近藤教授（経済学研究科）、総田教授（人間社会システム科学研究科）、田中准教授（高等教育推進機構）、宮井教授（総合リハビリテーション学研究科）、澤井教授（看護学研究科）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 活動概要  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会開催（定例2回）</li> <li>2. 2021年度委員会の委員長・副委員長の選出を行った。</li> <li>3. 2021年度の動物実験計画（180件、1月4日時点）の承認、その実施状況および結果の適正を審査した。</li> <li>4. 動物施設とその動物飼養・保管状況の適正を調査した。</li> <li>5. 動物実験の従事者に対する教育訓練、また学生・非常勤職員を対象とした動物実験安全教育訓練をオンラインで実施した<br/>6月8日～6月30日オンライン開催、<br/>講義1-<a href="https://web.microsoftstream.com/video/a79c59c6-29b2-4e82-b694-d7363437d9f1">https://web.microsoftstream.com/video/a79c59c6-29b2-4e82-b694-d7363437d9f1</a> ;<br/>講義2- <a href="https://web.microsoftstream.com/video/f402a324-9c7f-4371-97e9-5640c4790f5b">https://web.microsoftstream.com/video/f402a324-9c7f-4371-97e9-5640c4790f5b</a> ;<br/>講義3- <a href="https://web.microsoftstream.com/video/808ee5ad-e697-47ac-8d2e-02b67487cdd3">https://web.microsoftstream.com/video/808ee5ad-e697-47ac-8d2e-02b67487cdd3</a>。<br/>前年度の実験動物の飼養と動物実験の計画および実施状況の自己点検・評価結果と大阪府立大学における動物実験の基本方針を本学Webサイトに公表した。</li> </ol> |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動物施設および実験計画書の適正を審査する。</li> <li>2. 国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学動物実験施設協議会による『動物実験に関する外部検証事業の検証結果報告書』に従い、本学における実験動物の飼養と施設管理と動物実験の実施の適正化を図る。</li> <li>3. 2021年度動物実験自己点検・評価報告書を作成し、提出する。<br/>動物実験等の適正な実施をはかるため、施設の運用状況を確認するとともに、動物実験に関わる教員・学生への教育訓練を行う。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

| 委員会名  | バイオリスク管理委員会（全学）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的    | <p>委員会は、次に掲げる事項について調査・審議するとともに、微生物の安全管理に必要な事項を処理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 内部規則の制定及び改廃に関すること</li> <li>(2) 微生物等のBSL及びABSLの分類に関すること</li> <li>(3) 施設設備の立ち入り調査及び安全管理に関すること</li> <li>(4) 微生物等の保管、分与、輸送及び取扱いに関すること</li> <li>(5) 教育訓練の実施及び健康診断に関すること</li> <li>(6) 曝露、事故、災害の発生した場合は、その原因の調査及び事後処理の確認に関すること</li> <li>(7) その他、微生物等の安全管理に関すること</li> </ul>                                                                                          |
| 構成員   | <p>向本教授（委員長）、東條教授（副委員長）、山崎教授・三宅教授・石橋准教授（生命環境科学研究科）、荻野教授・椎木准教授（工学研究科）、居原教授・竹中准教授（理学系研究科）、近藤教授（経済学研究科）、中山教授・星准教授（人間社会システム科学研究科）、宮本教授（高等教育推進機構）、古田教授・山本係長（研究推進機構）、近藤教授（総合リハビリテーション学研究科）、佐藤教授（看護学研究科）</p>                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 活動概要  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. バイオリスク取扱申請ならびに施設申請に関する書類審査 <p>4月2日にZoomで開催された「第1回バイオリスク管理委員会」に出席し、前年度末に申請された「バイオリスク取扱申請」130件と「バイオリスク施設申請」141件の書類審査を行った。これ以降の申請については随時メールで審査依頼を受け、2021年12月末までに「バイオリスク取扱申請」181件と「バイオリスク施設申請」147件の審査を行った。</p> </li> <li>2. バイオリスク施設申請に関する現地確認 <p>総合リハビリテーション学研究科との相互チェックにより、5月18日14:40から両研究科の実験室の現場確認を行った。</p> </li> <li>3. バイオリスク管理安全教育訓練への参加 <p>微生物等の安全管理に必要な知識・技術の向上を図ることを目的に毎年開催されている教育訓練の遠隔講習に参加した。</p> </li> </ol> |
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 微生物等を扱う授業ならびに研究を行う者に対して「バイオリスク管理安全教育訓練」への出席を促し、安全に努める。</li> <li>2. バイオリスク取扱申請と施設申請について適切に審査を実施し、迅速に審査結果を報告する。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名  | 羽曳野図書センター運営委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 目的    | <p>委員会は、学術情報センター図書館委員会の諮問を受け、羽曳野図書センターにおける次に掲げる事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 図書の選定に関すること</li> <li>(2) 図書の管理に関すること</li> <li>(3) 図書の利用に関すること</li> <li>(4) その他、図書センターの運営に関すること</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 構成員   | <p>看護学研究科：檜木野教授、紙野准教授、奥野准教授、徳岡講師</p> <p>総合リハビリテーション学研究科：神谷教授、岩城准教授、大西准教授、杉山助教</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 活動概要  | <p>学術情報センター図書委員会に合わせて委員会の開催、必要に応じて看護学研究科教員によるメール会議を開催した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1回委員会（2021年5月31日） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2021年度予算について</li> <li>2) 2022年度電子ジャーナル・データベース・購入雑誌等について</li> <li>3) 2021年度選書に関する検討</li> </ol> <p>報告として、2020年度図書センター利用統計、感染症防止にかかる図書サービス等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール会議（看護系）電子ジャーナル・データベース・購入雑誌</li> <li>・大阪公立大学関係については看護学研究科会での検討</li> </ul> </li> <li>2. 第2回委員会（2021年7月15日） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2022年度電子ジャーナル・データベース・購入雑誌等について<br/>看護・総リハ委員長の検討案を提示し、各研究科での検討を要請する</li> <li>2) 学生希望図書の検討</li> <li>3) 2022年度総合図書館中百舌鳥購読国内雑誌の購読について</li> <li>4) その他 電子ブックの購入に関する検討、<br/>教員選書、Web選書についての依頼</li> </ol> </li> <li>3. 第3回委員会（2021年10月27日） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2022年 ProQuest Nursing &amp; Allied Health Databases の契約の検討</li> <li>2) 大阪公立大学におけるはびきの図書センター貸出用条件</li> </ol> <p>報告として、2021年蔵書点検結果</p> <p>懇談事項</p> <p>大阪公立大学に向けての検討課題の抽出</p> </li> <li>4. 第4回委員会（2022年2月4日） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大阪公立大学羽曳野図書センター関連要綱</li> </ol> <p>報告事項として、学術情報センター図書委員会報告、2021年度羽曳野図書センター予算執行状況報告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) の保留事項については、メール審議または委員会開催となる。</li> </ol> </li> </ol> |
| 今後の課題 | 羽曳野図書センターの蔵書について、移転準備を進めること                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員会名  | 羽曳野キャンパス感染対策委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 目的    | <p>委員会は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学生及び教職員の感染予防対策に関する事</li> <li>(2) 感染予防対策実施の監視と指導に関する事</li> <li>(3) 感染症発生後の適切な事後処理に関する事</li> <li>(4) 感染症発病者の人権擁護に関する事</li> <li>(5) 学外実習施設等との感染対策に関わる連絡調整に関する事</li> <li>(6) その他、感染予防に関し必要と認められる事項に関する事</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 構成員   | <p>看護学研究科：佐藤教授、井上(敦)講師、喜田助教<br/> 東妻看護師（保健室）、産業医、学生グループ、総務グループ<br/> 総合リハビリテーション学研究科：堀部教授（委員長）、平岡教授、大西准教授</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 活動概要  | <p>1. 羽曳野キャンパス感染対策委員会の開催<br/> 第1回委員会を4月16日にZoomで開催し、以下の検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児期感染症の予防接種実施報告書の改訂（母子健康手帳等の記録のコピーを添付するよう追記）。</li> <li>・前年度の感染症発生状況の報告（看護学類・総合リハビリテーション学類の学生のみ、新型コロナウイルス陽性者5件、感染性胃腸炎2件、その他2件）。</li> <li>・前年度入学生の小児期感染症ワクチン接種状況の報告（対象者のうち接種済みの報告があった学生は、看護105名中88名、理学20名中0名、作業21名中21名、栄養23名中0名）。</li> </ul> <p>第2回委員会を12月9日にZoomで開催し、次年度からの委員会運営規準の改正案について検討した。</p> <p>2. 小児期感染症の抗体検査結果の把握とワクチン接種の推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生を対象とした説明動画（抗体検査結果の見方とワクチン接種の必要性、新型コロナウイルス感染症ワクチンとの接種間隔など）を作成し、7月9日に1年生の必修科目「看護学概論」を通じて視聴できるようにした。また、学生からの問い合わせにメールで回答した。</li> <li>・上級生でワクチン接種が完了していない学生に対しては、4月と8月にメールで接種勧奨を行った。</li> <li>・今年度初めより国内でムンプスワクチンの供給不足により、ムンプスワクチンの接種が必要な学生から問い合わせがあり、随時メールで回答した。</li> </ul> <p>3. 大阪公立大学におけるワクチン接種のすすめ方についての検討<br/> 大阪市立大学の担当者とともに大阪公立大学看護学部のワクチン接種のすすめ方について検討し、設置準備委員会に提案した。</p> |
| 今後の課題 | <p>1. 上級生の小児期感染症ワクチン未接種者への接種勧奨とB型肝炎ワクチン接種の推進。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部会名   | 病院連携推進部会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 目的    | 看護学研究科と府立病院機構、地域関係機関との連携・研究の推進を図る                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 構成員   | 北村教授（部会長）、中山教授、杉本教授、富川教授、長田准教授、                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 活動概要  | <p>1. 府立5医療センター指導者との講義・演習等での交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センターの臨床講師への看護学の授業参加については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。</li> </ul> <p>2. 府立5医療センター臨床講師との協働やCNS活動の協働推進にむけての意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は、新型コロナウイルス感染症禍での大学と臨床との情報交換のために看護部長会で交流を行った。（2021年11月18日15:00～府立5医療センター看護部長会出席）主な内容は、大阪公立大学の実習施設のお願いと情報交換、卒業生の状況、就職前の時期の過ごし方の留意事項や臨地実習の在り方など、病院と大学の事情を情報提供し合い協力上の留意点を話し合った。また、臨床講師の臨地でない実習形態への参加についての可能性も検討した。さらに新人教育や継続教育について、大学教員との協働についてもできることがあれば依頼頂けるように説明。現在の医療情勢を鑑み大学教員が社会貢献できる内容があればその点も協議していくという話しをした。</li> </ul> <p>3. 医療・保健機関等の共同研究推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神看護学分野（富川教授）において、1施設と共同研究を始めている。</li> </ul> <p>本年度は、研究支援という形式で連携し始めていたが、感染の影響により研究計画の変更が余儀なくされ、再度倫理審査にむけて準備中である。</p> <p>4. 共同研究、研究共有の場の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療養学習支援センター企画に参加して地区の看護師や参加された指導者の方々と交流を図る。講演後の質疑応答などで関心事を確認、共同研究への課題を見つける機会づくりとする。</li> </ul> <p>5. ふれあい病院探検等は、本年度の企画は中止となった。</p> <p>6. クロスアポイントメント制度についての検討</p> <p>実現可能性について、感染事態への協力についての検討に留まった。</p> |
| 今後の課題 | 次年度は、CNSネットワーク活動や府立病院機構連絡会の中で病院との連携を継続して図り、委員会活動を終了とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

## 第4章 学生の受け入れ

### 1. 学士課程

#### 1) 2021 年度入学者受け入れ状況

2021 年 4 月入学手続き者の現状を資料 4-1-1 に示す。ほぼ募集人員どおりである。

資料 4-1-1 2021 年 看護学類入学手続き者

|      | 選抜方法等      | 募集人員 (名) | 入学手続き者 (名) |
|------|------------|----------|------------|
| 一般入試 | 前期日程       | 50       | 52         |
|      | 後期日程       | 15       | 13         |
| 特別選抜 | 推薦入学       | 55       | 55         |
|      | 外国人留学生特別選抜 | 若干名      | 1          |

#### 2) 2022 年度からの入学者受け入れの方針

2022 年 4 月より大阪公立大学看護学部のアドミッションポリシーに沿って学生を受け入れる。

### 2. 大学院課程

#### 1) 2021 年度入学者受け入れ状況

2021 年 4 月入学手続き者の現状を資料 4-2-1 に示す。

資料 4-2-1 2021 年 看護学研究科入学手続き者

|        |        | 募集人員 (名) | 入学手続き者 (名) |
|--------|--------|----------|------------|
| 看護学研究科 | 博士前期課程 | 26       | 18         |
|        | 博士後期課程 | 5        | 4          |

#### 2) 2022 年度からの入学者受け入れの方針

2022 年 4 月より大阪公立大学大学院看護学研究科のアドミッションポリシーに沿って学生を受け入れる。

### 3. 科目等履修生制度、研究生の受け入れについて

看護学類では、高等学校を卒業した者またはそれと同等以上の学力があると認められた者が看護学類の授業科目を履修できる科目等履修生を毎年度、前期・後期の計 2 回募集しているが、2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全学の方針に従って募集は行わなかった。

看護学研究科では、看護系大学院修士課程又は博士前期課程を修了した者が、看護学研究科の講義科目を履修できる科目等履修生を毎年度、前期・後期の計 2 回募集している。また大学卒業見込み又はこれと同等以上の学

力があると認められた者が研究について指導を受けることのできる大学院研究生を毎年度、前期・後期の計2回募集しているが、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全学の方針に従って募集は行わなかった。



## 第5章 教育内容及び方法

### 1. 教育課程の編成・授業科目の内容

#### 1) 学士課程

看護学類では、生命の尊重と個人の尊厳を基盤とし、豊かな人間性を形成するとともに、科学的専門知識・技術を教授し、看護を総合的な視野で捉えられる人材を育成することを教育目的としており、2015年度より看護学類の教育課程編成実施方針を検討し、2016年度に施行した。看護学類の教育目的・教育目標・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）を資料5-1-1-1に示す。

教育目的を達成するために教育課程が編成されている。その編成は、幅広い教養を身につける「共通教育科目」、看護学の基盤教育としての「専門基礎科目」、看護学の「専門科目」からなる。共通教育科目は、大阪府立大学全体の教養教育と基礎教育を担う高等教育推進機構が実施している。看護学の「専門科目」は、「学域共通科目」「基礎看護学」「療養支援看護学」「生活支援看護学」「家族支援看護学」「看護の統合と実践」から構成している。

「共通教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」は、学習の順序性を考えて体系的に配置している（資料5-1-1-2）。「共通教育科目」は、主に1年次に配置し、国際的な視野で貢献できる能力を養う実用英語習得のための英語教育は1年次、2年次に配置している。共通教育科目は、羽曳野キャンパス開講科目に加え、週2日間中百舌鳥キャンパスにおいて開講されている導入科目（初年次ゼミナール）96科目、教養科目100科目、教育展開科目31科目の中から選択することができる。学生は、羽曳野キャンパス及び中百舌鳥キャンパスにおいて、多くの科目から共通教育科目を選択することができるようになった。なお、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンラインの授業も多かったが、必要時中百舌鳥キャンパスとの交通にはキャンパス間のバスを授業開始時間にあわせて利便性を高め運行した。

「専門基礎科目」は、主に1年次、2年次に配置し、からだの構造や機能、病態や疾病、薬理や疫学等を理解するための科目等を開設している。「専門科目」は、1年次から4年次に配置し、「基礎看護学」「療養支援看護学」「生活支援看護学」「家族支援看護学」の専門領域別の科目では、看護に必要な知識と技術及び科学的根拠に基づく問題解決能力を養う内容が含まれている。さらに、専門領域別の実習を1年次から4年次に配置し、保健・医療・福祉などの分野において、看護の実践能力及び調整的能力を養う内容となっている。「看護の統合と実践」では、看護学への関心を深め、総合的な視野と看護学研究の基礎能力を養うための科目等を開設している。

2012年度以降の入学生から養護教諭一種免許状取得のための科目を開設しており、養護教諭一種免許状取得を希望する学生は、「教育の基礎的理解に関する科目等」「養護に関する科目」「大学が独自に設定する科目」「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」を履修することを必修としている。

また、南大阪地域の大学との南大阪コンソーシアム、大学コンソーシアム大阪、三大学単位互換協定を次々と結び、互換可能な開講科目について単位認定を可能にし、学生の学習の機会を拡充している。

資料 5-1-1-1 看護学類の教育目的・教育目標・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>教育目的</p> <p>生命の尊重と個人の尊厳を基盤とし、豊かな人間性を形成するとともに、科学的専門知識・技術を教授し、看護を総合的な視野で捉えられる人材を育成する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <p>教育目標</p> <p>教育目的をふまえた教育実践により、卒業時には次のような能力を有し、看護師、保健師、助産師として広く社会に貢献できる人材を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人間の痛み、苦しみを分かち合え、幅広い教養を身に付け、生命の尊厳について深く理解し、行動できる豊かな人間性を養う。</li> <li>(2) 看護に必要な知識と技術を習得し、科学的根拠に基づく適切な判断と問題解決能力とあわせ、社会の変化や医療技術の発展に対応できる能力を養う。</li> <li>(3) 保健・医療・福祉、教育、地域においてヒューマンサービスを提供する人々と連携し、看護の実践と調整的な機能を果たす能力を養う。</li> <li>(4) 変化する社会の中で看護の役割を展望し、発展させ、地域的・国際的な視野で貢献できる能力を養う。</li> <li>(5) 看護学への関心を深め、総合的な視野と看護研究の基礎能力を養う。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 人間の痛み、苦しみを分かち合え、幅広い教養を身につけ、生命の尊厳について深く理解し、行動できる豊かな人間性が形成されている。</li> <li>(2) 看護に必要な知識と技術を修得し、科学的根拠に基づく適切な判断と問題解決能力とあわせ、社会の変化や医療技術の発展に対応できる能力を修得している。</li> <li>(3) 保健・医療・福祉・教育・地域においてヒューマンサービスを提供する人々と連携し、看護の実践と調整的な機能を果たす能力と看護研究の基礎能力を修得している。</li> <li>(4) 変化する社会の中で看護の役割を展望し、発展させ、地域的・国際的な視野で貢献できる能力を修得している。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）</p> <p>看護職として必要な豊かな人間性と倫理観を育成し、看護学を学ぶために必要な基盤的知識を獲得できるよう系統性を重視して、共通教育科目、専門基礎科目を1～2年次に集中配当するとともに、能動的な学修の充実を図るために実習科目や学域共通科目も含む専門科目、自由選択科目、資格科目で構成された教育課程に基づき、所要単位を修得することを卒業要件とする。また、すべての学生が看護師の国家試験受験資格を得られる教育内容を基本的構成とし、選択により保健師又は助産師の受験資格も得られ、養護教諭免許状や受胎調節実地指導員の認定資格の取得にも配慮した教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 幅広い教養を身につけ、行動できる豊かな人間性を養うため、共通教育科目（導入科目では他学類生とともに学ぶ初年次ゼミナール、教養科目では人文社会科学系、自然科学・複合領域系、教養展開の各科目、基盤科目では健康・スポーツ科学、外国語、情報基礎の各科目）を1～2年次に配当する。</li> <li>(2) 看護に必要な知識と技術を修得し、適切な判断と問題解決能力や社会の変化や医療技術の発展に対応できる能力を育成するため「解剖生理学」「疫学」「保健統計学」をはじめとした専門基礎科目や「基礎看護学」「療養支援看護学」「生活支援看護学」「家族支援看護学」「看護の統合と実践」の各領域で構成された専門科目を提供する。</li> </ol> |

- (3) 多職種と連携しつつ、多面的に看護の実践と調整的な機能を果たす能力を育成するため、専門基礎における医療・保健基礎科目では、「医療と社会福祉学」「カウンセリング論」等を提供する。専門科目では、学類の枠を越えた科目選択を可能とした学域共通科目を設け、4科目を必須科目として配当するとともに、「基礎看護学」「療養支援看護学」「生活支援看護学」「家族支援看護学」の各領域で構成された専門科目や「総合実習」を提供する。また、看護研究の基礎能力を育成するため、「研究方法論」「総合研究」を必修科目として提供する。
- (4) 看護の役割を発展させ、地域的・国際的な視野で貢献できる能力を育成するため、共通教育科目（基盤科目である外国語、情報基礎の各科目）を、専門基礎科目である「疫学」「保健統計学」等を必修科目として提供する。専門科目では、「看護管理学」「看護教育学」「総合実習」等を必修科目として、「国際保健」「災害支援看護論」を選択科目として提供する。

＊2020年4月入学者から助産師養成のカリキュラムを廃止しました。

(2016年10月1日 改正)

資料5-1-1-2 看護学類 卒業要件 授業科目一覧

| 卒業要件単位 | 科 目         | 必 修 | 選 択 | 計   |
|--------|-------------|-----|-----|-----|
|        | 共通教育科目      | 18  | 10  | 28  |
|        | 専門基礎科目      | 21  | 0   | 21  |
|        | 専門科目        | 73  | 2   | 75  |
|        | 自由選択枠 ※(注1) | 4   | 0   | 4   |
|        | 計           | 116 | 12  | 128 |

| 授 業 科 目 |                        | 単 位 |    | 授業時間数 |    |     | 卒業要件単位                                                           |
|---------|------------------------|-----|----|-------|----|-----|------------------------------------------------------------------|
| 区分      | 授 業 科 目 名              | 必修  | 選択 | 講義    | 演習 | 実習  |                                                                  |
| 共通教育科目  | 基盤科目                   |     |    |       |    |     | 卒業要件単位<br>28単位以上（必修科目18単位＋選択科目単位以上）<br>中百舌鳥キャンパスで水曜日と木曜日に開講される科目 |
|         | ・外国語科目(英語)             |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | Academic English I A   | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | Academic English I B   | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | Academic English II A  | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | Academic English II B  | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | Academic English III   | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | Academic English IV    | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 教養科目                   |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | 憲法                     | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | (1年次中百舌鳥開講科目・水曜日、木曜日分) |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | 導入科目                   |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | 初年次ゼミナール ※(注2)         | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 基盤科目                   |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | ・健康・スポーツ科学科目           |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | 健康・スポーツ科学概論            | 2   | 30 |       |    |     |                                                                  |
|         | 健康・スポーツ科学演習 I          | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 健康・スポーツ科学演習 II         | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | ・外国語科目(初修外国語)          |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | ドイツ語入門 I               | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | ドイツ語入門 II              | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | フランス語入門 I              | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | フランス語入門 II             | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 中国語入門 I                | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 中国語入門 II               | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 朝鮮語入門 I                | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 朝鮮語入門 II               | 2   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | ・情報基礎科目                |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | 情報基礎(情報社会と情報倫理を含む)     | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 教養科目                   |     |    |       |    |     |                                                                  |
|         | 別冊(授業科目ガイド)参照          |     |    |       |    |     |                                                                  |
| 専門科目    | 解剖生理学 A                | 2   |    | 30    |    |     | 卒業要件単位<br>75単位以上（必修科目73単位＋選択科目2単位以上）<br>保健師科目を除く                 |
|         | 解剖生理学 B                | 2   |    | 60    |    |     |                                                                  |
|         | 生化学 A                  | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 病理学                    | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 疾病・治療論 A               | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 疾病・治療論 B               | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 疾病・治療論 C               | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 疾病・治療論 D               | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 医療遺伝学                  | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 微生物学概論                 | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 薬理学                    | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 公衆衛生学 A                | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 栄養学総論                  | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 疫学                     | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 保健統計学                  | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 医療と社会福祉学               | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | カウンセリング論               | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 生命倫理学                  | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 人間支援科学論                | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | コラボレーション論              | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | コミュニケーション論             | 1   | 2  | 15    |    |     |                                                                  |
|         | ケアリング論                 |     |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 看護学概論                  | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 基礎看護技術学 I              | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 基礎看護技術学 II             | 2   |    |       | 60 |     |                                                                  |
|         | 基礎看護技術学 III            | 2   |    |       | 60 |     |                                                                  |
|         | 看護過程展開論                | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 看護管理学                  | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 看護教育学                  | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 基礎看護学実習 I              | 1   |    |       |    | 45  |                                                                  |
|         | 基礎看護学実習 II             | 2   |    |       |    | 90  |                                                                  |
|         | 療養支援看護学概論              | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 病態看護論                  | 2   |    |       | 60 |     |                                                                  |
|         | 療養支援論：急性 I             | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 療養支援論：急性 II            | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 療養支援論：慢性 I             | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 療養支援論：慢性 II            | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 療養支援論：がん               | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 療養支援論：感染               | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 療養支援看護学実習：急性           | 3   |    |       |    | 135 |                                                                  |
|         | 療養支援看護学実習：慢性           | 3   |    |       |    | 135 |                                                                  |
|         | 生活支援看護学概論：老年           | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 生活支援看護学概論：在宅           | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 生活支援看護学概論：精神           | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 生活支援論：老年 I             | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 生活支援論：老年 II            | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 生活支援論：在宅 I             | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 生活支援論：在宅 II            | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 生活支援論：精神 I             | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 生活支援論：精神 II            | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 生活支援看護学実習：老年           | 3   |    |       |    | 135 |                                                                  |
|         | 生活援助実習                 | 1   |    |       |    | 45  |                                                                  |
|         | 生活支援看護学実習：在宅           | 2   |    |       |    | 90  |                                                                  |
|         | 生活支援看護学実習：精神           | 2   |    |       |    | 90  |                                                                  |
|         | 公衆衛生看護学概論              | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 公衆衛生看護学 I              | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 保健師科目                  |     | 2  |       | 60 |     |                                                                  |
|         | 公衆衛生看護学 II             | 2   |    |       | 60 |     |                                                                  |
|         | 公衆衛生看護学 III            | 2   |    |       |    |     |                                                                  |
|         | 保健医療福祉行政論              | 2   | 5  | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 公衆衛生看護学実習              |     |    |       |    | 225 |                                                                  |
|         | 家族支援看護学概論：母性           | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 家族支援看護学概論：小児           | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 家族看護論                  | 2   |    | 30    |    |     |                                                                  |
|         | 家族支援論：母性 I             | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 家族支援論：母性 II            | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 家族支援論：小児 I             | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 家族支援論：小児 II            | 1   |    |       | 30 |     |                                                                  |
|         | 家族支援看護学実習：母性           | 2   |    |       |    | 90  |                                                                  |
|         | 家族支援看護学実習：小児           | 2   |    |       |    | 90  |                                                                  |
|         | 研究方法論                  | 1   |    | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 総合研究                   | 2   |    |       |    | 90  |                                                                  |
|         | 国際保健                   |     | 1  | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 災害支援看護論                |     | 1  | 15    |    |     |                                                                  |
|         | セクシュアリティと看護            |     | 1  | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 看護援助論                  |     | 1  | 15    |    |     |                                                                  |
|         | 総合実習                   | 2   |    |       |    | 90  |                                                                  |

(注1) ※自由選択枠：共通教育科目の所要単位を超えて修得した単位並びに他学類又は他学域が開設する専門科目のうち自由選択枠として別に定める科目。

(注2) ※2年次編入生は選択科目とする。

## 2) 大学院課程

看護学研究科では、大阪府立大学大学院看護学研究科規程（規程第 276 号第 3 条）に基づき、専攻領域及び分野を定めている。また、2015 年度より全学的な取り組みとして「大阪府立大学の学術研究に係る行動規範」が制定された。（[https://www.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/428/1\\_koudoukihan\\_20190301.pdf](https://www.osakafu-u.ac.jp/osakafu-content/uploads/sites/428/1_koudoukihan_20190301.pdf)）それに伴い、看護学研究科では博士前期課程の「教育目的」「教育目標」「学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）」に高い倫理観を涵養する内容を追加した。

看護学研究科の教育理念・目的・目標・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）を資料 5-1-2-1 に示す。

資料 5-1-2-1 看護学研究科の教育理念・教育目的・教育目標・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>看護学研究科教育理念</p> <p>生命と人権の尊重を基盤とし、保健・医療・福祉及び社会の諸変化に対してクオリティ・オブ・ライフ（QOL）を志向した創造的・実践的な対応ができる専門的知識と技術をもった人材を育成し、看護学の発展と人々の健康に寄与する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>博士前期課程教育目的</p> <p>人間の存在と生命の尊厳について深く理解し、広い視野に立って精深なる学識を修め、高い倫理観をもち専門分野における教育研究能力、あるいは高度に専門的な実践能力を有する人材を育成する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <p>博士後期課程教育目的</p> <p>豊かな学識を有し、看護学分野において学術研究を推進しその深奥を究め、高い倫理観をもって自立して研究活動を行うことができる能力を有する人材を育成する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>博士前期課程教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専攻する看護専門領域に関連する理論に精通し、看護活動に適用する。</li> <li>(2) 専攻する専門領域の看護実践の質の向上を目指して、専門性の高い看護ケアを提供し、改革を推進する。</li> <li>(3) 高い倫理観をもち、複雑な倫理的問題を判断し調整する。</li> <li>(4) 看護に関する研究業績をクリティカルに検討し、看護ケアに積極的に活用する。</li> <li>(5) 看護教育並びに看護実践の向上のために、相談・教育・調整機能を高める。</li> <li>(6) 専攻する看護専門領域に関する研究課題に取り組み、看護研究能力を高める。</li> <li>(7) 看護実践・研究・教育を通して国際交流に貢献する。</li> </ol> | <p>博士後期課程教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 看護実践の改革を目指し、専門性の高い看護ケアを開発する。</li> <li>(2) 理論や看護援助方法の妥当性を科学的に検証する。</li> <li>(3) 優れた看護実践、関連領域の知識・研究を用いて、高い倫理観をもって研究活動を行い、看護学の発展に寄与する。</li> <li>(4) 教育、医療、研究、行政関連機関において、社会の変革に対応できる指導的・管理的リーダーシップを発揮する。</li> <li>(5) 都道府県や国家レベルの政策開発や意思決定に参画する。</li> <li>(6) 学際的、国際的な視野に立ち、学術交流、研究活動、保健医療活動に貢献する。</li> </ol> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>博士前期課程学位授与方針<br/>(ディプロマ・ポリシー)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専攻する看護専門領域に関連する理論に精通し、看護活動に適用する能力を修得するとともに、看護に関する研究業績をクリティカルに検討し、看護ケアに積極的に活用できる能力を修得している。</li> <li>(2) 専攻する専門領域の看護実践の質の向上を目指して、専門性の高い看護ケアを提供し、改革を推進できる能力を修得している。</li> <li>(3) 高い倫理観をもち、複雑な倫理的問題を判断し調整できる能力を修得している。</li> <li>(4) 看護教育並びに看護実践の向上のために、相談・教育・調整機能を高めることができる能力を修得している。</li> <li>(5) 専攻する看護専門領域に関する研究課題に取り組み、看護研究能力を修得している。</li> <li>(6) 看護実践・研究・教育を通して国際交流に貢献できる能力を修得している。</li> </ol>                                        | <p>博士後期課程学位授与方針<br/>(ディプロマ・ポリシー)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 看護実践を改革し、専門性の高い看護ケアを開発できる能力を修得している。</li> <li>(2) 理論や専門援助方法の妥当性を科学的に検証できる能力を修得している。</li> <li>(3) 優れた看護実践、関連領域の知識・研究を用いて、高い倫理観をもって研究活動を行い、看護学の発展に寄与できる能力を修得している。</li> <li>(4) 教育・医療・研究・行政関連機関において、社会の変革に対応できる指導的・管理的リーダーシップを発揮できる能力を修得している。</li> <li>(5) 都道府県や国家レベルの政策開発や意思決定に参画できる能力を修得している。</li> <li>(6) 学際的、国際的視野に立ち、学術交流、研究活動、保健医療活動に貢献できる能力を修得している。</li> </ol>                                                               |
| <p>博士前期課程教育課程編成・実施方針<br/>(カリキュラム・ポリシー)</p> <p>専門分野における教育研究能力や高度に専門的な実践能力を有する人材を育成するため、共通教育、基盤教育、専門教育で構成された教育課程を編成する。修士論文コースと CNS (専門看護師) コースの選択により、1 年次では共通教育科目及び基盤教育科目及び専攻した分野の「特論」、「演習」を、2 年次の修士論文コースでは「特別研究」を、CNS コースでは「実習」、「課題研究」を各々配当し、修士論文 (CNS コースは課題研究) の審査を経て、最終試験の合格を修了要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 看護専門領域の理論に精通した看護活動に適用する能力及び研究の批判的吟味により質の高い看護ケアが実践できる能力を育成するため、基盤教育において「理論看護学」、「看護学研究法」を、専門教育において「人・環境支援看護学」、「家族支援看護学」、「生活支援看護学」、「療養支援看護学」の 4 領域で構成された専門科目を提供する。また、修士論</li> </ol> | <p>博士後期課程教育課程編成・実施方針<br/>(カリキュラム・ポリシー)</p> <p>専門領域を生活支援看護学・療養支援看護学の 2 領域とし、生活支援看護学領域には 6 分野、療養支援看護学領域には 4 分野を設け、共通教育、基盤教育、専門教育で構成された教育課程を編成する。1 年次には「看護学研究方法論」、専攻分野の「特論」、「演習」を、2 年次から 3 年次前期には専攻領域の「特別研究」を配当し、学際的視野を持ち、自立して研究活動が行えることを目標に、論文指導を行い、博士論文の審査を経て最終試験の合格を修了要件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 看護実践を改革し、専門性の高い看護ケアを開発できる能力を育成するため、1 年次前期は基盤教育において「看護学研究方法論」を必修科目、専門教育で専攻分野の「特論」、1 年次後期には専門教育で「演習」を各々配当する。2 年次前期から 3 年次前期に専門教育で専攻領域の「特別研究」を配当し、2 年次前期での研究計画書の審査を経て、3 年次後</li> </ol> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>文コースでは2年次に「特別研究」、CNS コースでは2年次に「課題研究」を配当する。</p> <p>(2) 専門性の高い看護ケアを提供し、改革を推進できる能力を育成するため、専門教育において専攻した分野の「特別研究」又は「課題研究」を必修科目、「看護管理学特論」等を選択科目とするとともに、「人・環境支援看護学」、「家族支援看護学」、「生活支援看護学」、「療養支援看護学」の4領域で構成された専門科目を提供する。</p> <p>(3) 高い倫理観をもち、複雑な倫理的問題を判断し調整できる能力を育成するため、1年次前期において、共通教育において「研究公正A」を必修科目として、基盤教育において「看護倫理学」を選択科目として配当するとともに、「人・環境支援看護学」、「家族支援看護学」、「生活支援看護学」、「療養支援看護学」の4領域で構成された専門科目を提供する。</p> <p>(4) 看護教育・看護実践の向上に資する相談・教育・調整機能を高める能力を育成するため、基盤教育において「コンサルテーション論」等を選択科目、専門教育において、「看護教育学特論」等を選択科目として提供するとともに、「人・環境支援看護学」、「家族支援看護学」、「生活支援看護学」、「療養支援看護学」の4領域で構成された「特論」「演習」「実習」科目を提供する。</p> <p>(5) 専攻する看護専門領域に関する研究課題に取り組み、看護研究能力を育成するため、基盤教育において「理論看護学」、「看護学研究法」を必修科目、「調査研究処理法」等を選択科目として提供するとともに、修士論文コースでは、2年次に「特別研究」、CNS コースでは、2年次に「課題研究」を配当する。</p> <p>(6) 看護実践・研究・教育を通して国際交流に貢献する能力を育成するため、基盤教育において「理論看護学」、「看護学研究法」を必修科目とするとともに、「異文化看護フィールドワーク」を選択科目として提供する。</p> | <p>期に博士論文審査委員会による最終審査を行う。</p> <p>(2) 理論や専門援助方法の妥当性を科学的に検証できる能力を育成するため、専門教育として、1年次前期は専攻分野の「特論」、1年次後期には「演習」を、2年次前期から3年次前期には専攻領域の「特別研究」を配当する。2年次前期での研究計画書の審査、論文作成に必要なデータ収集・分析への指導助言を経て、3年次後期に博士論文審査委員会による最終審査を行う。</p> <p>(3) 高い倫理観をもって研究活動を行い看護学の発展に寄与できる能力を育成するため、1年次前期に、共通教育として「研究公正B」を必修科目とし、基盤教育において「看護学研究方法論」を必修科目、1年次後期に「看護学研究方法論演習」を選択科目として配当する。2年次前期から3年次前期には専門教育として専攻領域の「特別研究」を配当し、2年次前期での研究計画書の審査を経て、3年次後期に博士論文審査委員会による最終審査を行う。</p> <p>(4) 社会の変革に対応したリーダーシップを発揮できる能力を育成するため、1年次前期は基盤教育で「看護学研究方法論」を必修科目、専門教育で専攻分野の「特論」、1年次後期には「演習」、2年次前期から3年次前期には専門教育で専攻領域の「特別研究」を配当し、指導的・管理的リーダーシップの資質を養う。</p> <p>(5) 都道府県や国家レベルの政策開発や意思決定に参画できる能力を育成するため、専門教育では1年次前期に専攻分野の「特論」、1年次後期には「演習」、2年次前期から3年次前期には専攻領域の「特別研究」を配当し、専攻分野における行政課題の理解を深める。</p> <p>(6) 学際的、国際的視野に立ち、学術交流、研究活動、保健医療活動に貢献できる能力を育成するため、専門教育では1年次前期に専攻分野の「特論」、1年次後期には「演習」、2年次前期から3年次前期には専攻領域の「特別研究」を配当し、国内外の研究に精通する。</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(2016年10月1日改正)

博士前期課程は、人間の存在と生命の尊厳について深く理解し、広い視野に立って精深なる学識を修め、高い倫理観をもち専門分野における教育研究能力、あるいは高度に専門的な実践能力を有する人材を育成することを目的とし、「人・環境支援看護学」「家族支援看護学」「生活支援看護学」「療養支援看護学」の4つの専門領域に修士論文コース15分野、「家族支援看護学」「生活支援看護学」「療養支援看護学」の3つの専門領域に9分野の専門看護師（CNS）コースを設置している。（ただし母性看護 CNS コースは2020年度入学生より、地域看護 CNS コースは2021年度入学生より募集停止）

CNS コースは、2012年度に「感染看護」「がん看護」「クリティカルケア看護」「小児看護」「慢性看護」が、2013年度に「精神看護」が、2015年度に「在宅看護」が、2016年度に「家族看護」が、2018年度に「老年看護」が38単位に認定された。さらに、職業を有している等の事情により、標準修学年限（博士前期課程2年）の大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修できる長期履修制度を設置している。教育課程の編成は、2016年度より新たに設置された研究に関する倫理観や教養を深めるための「共通教育科目」と教育研究能力を修める「基盤教育科目」、専門的な実践能力を習得する「専門教育科目」からなる（資料5-1-2-2）。「共通教育科目」は「研究公正A」の必修科目、「Academic Writing A」等の選択科目、「基盤教育科目」は、「理論看護学」「看護学研究法」の必修科目、「調査研究処理法Ⅰ・Ⅱ」「医療社会福祉学」等の選択科目、「専門教育科目」は専攻分野毎の特論・演習・実習・研究で構成している。なお、2016年度からは「基盤教育科目」として国際交流を推進させる目的で、新たに「異文化看護フィールドワーク」を開講し、経済学研究科の科目である「経済学特論ⅠA」「経済学特論ⅠB」「経済学特論ⅡB」のうち2単位を履修することができるよう配置した。

さらに2018年度からは「異文化看護フィールドワークA」「異文化看護フィールドワークB」と国際交流に関する科目を増やし充実を図った。

博士後期課程は、豊かな学識を有し、看護学分野において学術研究を推進しその深奥を究め、自立して研究活動を行うことができる能力を有する人材を育成することを目的とし、「生活支援看護学」「療養支援看護学」の2つの専門領域を設置している。教育課程の編成は、「共通教育科目」と「基盤教育科目」、「専門教育科目」からなり（資料5-1-2-3）、「共通教育科目」は「研究公正B」の必修科目、「イノベーション創出型研究者養成Ⅰ～Ⅳ」等の選択科目、「基盤教育科目」は「看護学研究方法論」の必修科目、「生体科学研究方法論」「健康科学研究方法論Ⅰ・Ⅱ」「看護理論開発方法論」等の選択科目、「専門教育科目」は専攻領域ごとの特論・演習・研究で構成している。



資料 5-1-2-2 看護学研究科 博士前期課程 標準履修課程表

| 区分               | 領域            | 分野    | 授 業 科 目               | 修論コース |    | CNSコース |    | 授業時間数 |    |     | 学年進行            |    |      |    |
|------------------|---------------|-------|-----------------------|-------|----|--------|----|-------|----|-----|-----------------|----|------|----|
|                  |               |       |                       | 単位数   |    | 単位数    |    | 講義    | 演習 | 実習  | 1 年次            |    | 2 年次 |    |
|                  |               |       |                       | 必修    | 選択 | 必修     | 選択 |       |    |     | 前期              | 後期 | 前期   | 後期 |
|                  |               |       | 研究公正 A                | 1     |    | 1      |    |       | 15 |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | Academic Writing A(な) |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | 開講時期は<br>時間割を参照 |    |      |    |
|                  |               |       | 国際環境学特論(な)            |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 |    |      |    |
|                  |               |       | 国際環境活動特別演習(な)         |       | 2  |        | 2  |       | 30 |     |                 |    |      |    |
|                  |               |       | 環境コミュニケーション特論(な)      |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 |    |      |    |
|                  |               |       | イノベーション創出型研究者養成(継)    |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 |    |      |    |
| 基<br>盤<br>教<br>育 |               |       | 理論看護学                 | 2     |    | 2      |    | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護学研究法                | 2     |    | 2      |    | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護倫理学                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護政策学                 |       | 1  |        | 1  | 15    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | コンサルテーション論            |       | 1  |        | 1  | 15    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 病態生理学                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 代謝病態生理学               |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | がん病態学                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 臨床薬理学                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 臨床疾病治療論               |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | フィジカルアセスメントⅠ          |       | 2  |        | 2  |       | 30 |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | フィジカルアセスメントⅡ          |       | 2  |        | 2  |       | 30 |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 調査研究処理法Ⅰ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 調査研究処理法Ⅱ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 医療社会福祉学               |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 臨床生理心理学               |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 生体情報論                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 生体感染防御論               |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 臨床遺伝学                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | ◇異文化看護フィールドワークA       |       | 2  |        | 2  |       | 30 |     | ○               |    | ○    |    |
|                  |               |       | ◇異文化看護フィールドワークB       |       | 1  |        | 1  |       | 15 |     | ○               |    | ○    |    |
|                  |               |       | *新「共通特論Ⅰ」：臨床腫瘍学総論     |       |    |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    | ○    |    |
|                  |               |       | *新「共通特論Ⅱ」：臨床腫瘍学各論     |       |    |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    | ○    |    |
| 専<br>門<br>教<br>育 | 人・環境<br>支援看護学 | 看護技術学 | 看護技術学特論Ⅰ              |       | 2  |        |    | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護技術学特論Ⅱ              |       | 2  |        |    | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護技術学演習Ⅰ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護技術学演習Ⅱ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護技術学特別研究             | 6     |    |        |    |       |    | 180 |                 |    | ○    | ○  |
|                  |               | 看護情報学 | 看護情報学特論Ⅰ              |       | 2  |        |    | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護情報学特論Ⅱ              |       | 2  |        |    | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護情報学演習Ⅰ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護情報学演習Ⅱ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護情報学特別研究             | 6     |    |        |    |       |    | 180 |                 |    | ○    | ○  |
|                  |               | 看護管理学 | 看護管理学特論Ⅰ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護管理学特論Ⅱ              |       | 2  |        |    | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護管理学演習Ⅰ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護管理学演習Ⅱ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護管理学特別研究             | 6     |    |        |    |       |    | 180 |                 |    | ○    | ○  |
|                  |               | 看護教育学 | 看護教育学特論Ⅰ              |       | 2  |        |    | 30    |    |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護教育学特論Ⅱ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護教育学演習Ⅰ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○               |    |      |    |
|                  |               |       | 看護教育学演習Ⅱ              |       | 2  |        |    |       | 60 |     |                 | ○  |      |    |
|                  |               |       | 看護教育学特別研究             | 6     |    |        |    |       |    | 180 |                 |    | ○    | ○  |

| 区<br>分 | 領<br>域 | 分<br>野                          | 授 業 科 目    | 修論コース |    | CNSコース |    | 授業時間数 |    |     | 学年進行 |    |      |    |
|--------|--------|---------------------------------|------------|-------|----|--------|----|-------|----|-----|------|----|------|----|
|        |        |                                 |            | 単位数   |    | 単位数    |    | 講義    | 演習 | 実習  | 1 年次 |    | 2 年次 |    |
|        |        |                                 |            | 必修    | 選択 | 必修     | 選択 |       |    |     | 前期   | 後期 | 前期   | 後期 |
| 専<br>門 | 教<br>育 | 家<br>族<br>支<br>援<br>看<br>護<br>学 | 母性看護学特論    |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 母性看護学援助特論  |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 周産期看護演習ⅠA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 周産期看護演習ⅡA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 母性看護学特別研究  | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 家族看護学      |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学特論    |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学援助特論Ⅰ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学援助特論Ⅱ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学援助特論Ⅲ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学演習ⅠA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学演習ⅠB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学演習ⅡA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学演習ⅡB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学実習Ⅰ   |       |    | ※(6)   | 2  |       |    | 90  |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 家族看護学実習Ⅱ   |       |    |        | 6  |       |    | 270 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 家族看護学実習Ⅲ   |       |    |        | 2  |       |    | 90  |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 家族看護学課題研究  |       |    | 2      |    |       |    | 60  |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 家族看護学特別研究  | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 小児看護学特論    |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学援助特論Ⅰ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学援助特論Ⅱ |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学援助特論Ⅲ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学演習ⅠA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学演習ⅠB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学演習ⅡA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学演習ⅡB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 小児看護学実習Ⅰ   |       |    | ※(6)   | 2  |       |    | 90  |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 小児看護学実習Ⅱ   |       |    |        | 8  |       |    | 360 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 小児看護学課題研究  |       |    |        |    |       |    | 60  |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 小児看護学特別研究  | 6     |    | 2      |    |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        | 教<br>育 | 地<br>域<br>看<br>護<br>学           | 地域看護学特論    |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 地域看護学援助特論  |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 地域看護学演習ⅠA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 地域看護学演習ⅡA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 地域看護学特別研究  | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        |        | 精<br>神<br>看<br>護<br>学           | 精神看護学特論Ⅰ   |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学特論Ⅱ   |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学援助特論Ⅰ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学援助特論Ⅱ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学援助特論Ⅲ |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学援助特論Ⅳ |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学演習ⅠA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学演習ⅠB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学演習ⅡA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学演習ⅡB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 精神看護学実習Ⅰ   |       |    | ※(6)   | 6  |       |    | 270 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 精神看護学実習Ⅱ   |       |    |        | 4  |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 精神看護学課題研究  |       |    |        |    |       |    | 60  |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 精神看護学特別研究  | 6     |    | 2      |    |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        |        | 老<br>年<br>看<br>護<br>学           | 老年看護学特論    |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学援助特論Ⅰ |       |    |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学援助特論Ⅱ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学援助特論Ⅲ |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学演習ⅠA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学演習ⅠB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学演習ⅡA  |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学演習ⅡB  |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学実習Ⅰ   |       |    | ※(6)   | 2  |       |    | 90  |      | ○  |      |    |
|        |        |                                 | 老年看護学実習Ⅱ   |       |    |        | 4  |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 老年看護学実習Ⅲ   |       |    |        | 4  |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 老年看護学課題研究  |       |    | 2      |    |       |    | 60  |      |    | ○    | ○  |
|        |        |                                 | 老年看護学特別研究  | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○    | ○  |

| 区分   | 領域      | 分野    | 授業科目                    | 修論コース |    | CNSコース |    | 授業時間数 |    |     | 学年進行 |    |     |    |
|------|---------|-------|-------------------------|-------|----|--------|----|-------|----|-----|------|----|-----|----|
|      |         |       |                         | 単位数   |    | 単位数    |    | 講義    | 演習 | 実習  | 1年次  |    | 2年次 |    |
|      |         |       |                         | 必修    | 選択 | 必修     | 選択 |       |    |     | 前期   | 後期 | 前期  | 後期 |
| 専門教育 | 生活支援看護学 | 在宅看護学 | 在宅看護学特論                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学援助特論Ⅰ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学援助特論Ⅱ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学援助特論Ⅲ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学演習ⅠA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学演習ⅠB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学演習ⅡA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学演習ⅡB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 在宅看護学実習Ⅰ                |       |    | ※(6)   | 6  |       |    | 270 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 在宅看護学実習Ⅱ                |       |    |        | 4  |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 在宅看護学課題研究               |       |    | 2      |    |       |    | 60  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 在宅看護学特別研究               | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |
|      | 急性看護学   | 急性看護学 | 急性看護学特論                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 急性看護学援助特論Ⅰ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 急性看護学援助特論Ⅱ              |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 急性看護学演習ⅠA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 急性看護学演習ⅠB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 急性看護学演習ⅡA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 急性看護学演習ⅡB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 急性看護学実習Ⅰ                |       |    | ※(6)   | 6  |       |    | 270 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 急性看護学実習Ⅱ                |       |    |        | 4  |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 急性看護学課題研究               |       |    | 2      |    |       |    | 60  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 急性看護学特別研究               | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |
|      | 慢性看護学   | 慢性看護学 | 慢性看護学特論                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 慢性看護学援助特論Ⅰ              |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 慢性看護学援助特論Ⅱ              |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 慢性看護学演習ⅠA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 慢性看護学演習ⅠB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 慢性看護学演習ⅡA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 慢性看護学演習ⅡB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 慢性看護学実習Ⅰ                |       |    | ※(6)   | 6  |       |    | 270 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 慢性看護学実習Ⅱ                |       |    |        | 2  |       |    | 90  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 慢性看護学実習Ⅲ                |       |    |        | 2  |       |    | 90  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 慢性看護学課題研究               |       |    | 2      |    |       |    | 60  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 慢性看護学特別研究               | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |
|      | がん看護学   | がん看護学 | がん看護学特論                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | がん看護学援助特論               |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | がん緩和ケア論                 |       |    |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | がん薬物療法看護論               |       |    |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | がん看護学演習ⅠA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | がん看護学演習ⅠB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | がん看護学演習ⅡA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | がん看護学演習ⅡB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | □多職種参加型症例検討演習           |       |    |        | 1  |       | 15 |     |      |    | ○   |    |
|      |         |       | *模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習 |       |    |        | 1  |       | 15 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | がん看護学実習Ⅰ                |       |    | ※(6)   | 6  |       |    | 270 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | がん看護学実習Ⅱ                |       |    |        | 2  |       |    | 90  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | がん看護学実習Ⅲ                |       |    |        | 2  |       |    | 90  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | がん看護学課題研究               |       |    | 2      |    |       |    | 60  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | がん看護学特別研究               | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |
|      | 感染看護学   | 感染看護学 | 感染看護学特論                 |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 感染看護学援助特論               |       | 2  |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 感染看護学学論                 |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 臨床感染看護論                 |       |    |        | 2  | 30    |    |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 感染看護学演習ⅠA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 感染看護学演習ⅠB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     | ○    |    |     |    |
|      |         |       | 感染看護学演習ⅡA               |       | 2  |        |    |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 感染看護学演習ⅡB               |       |    |        | 2  |       | 60 |     |      | ○  |     |    |
|      |         |       | 感染看護学実習Ⅰ                |       |    | ※(6)   | 6  |       |    | 270 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 感染看護学実習Ⅱ                |       |    |        | 4  |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 感染看護学課題研究               |       |    | 2      |    |       |    | 60  |      |    | ○   | ○  |
|      |         |       | 感染看護学特別研究               | 6     |    |        |    |       |    | 180 |      |    | ○   | ○  |

「◇」付き科目の詳細は別途通知する。また、異文化看護フィールドワークAの定員は4名とする。  
「\*」付き科目については、『がん医療に強い専門看護師養成コース』の学生は受講できる。  
「□」付き科目については、がん看護学分野CNSコース以外の者は受講を申請することができない。  
※(6)は当該分野CNSコースの実習科目のうち、本学の修了要件の必修単位数が6単位以上であることを表す。  
(な)は、中百舌鳥キャンパスで開講を表す。  
(継)は、中百舌鳥キャンパス開講授業で中継講義を表す。

ただし、グループワーク等授業の内容により中百舌鳥キャンパスで受講となる場合がある。  
◆本学大学院経済学研究科の科目は、2単位まで修了要件に必要な単位として履修することができる。

資料 5-1-2-3 看護学研究科 博士後期課程 標準履修課程表

| 区分   | 領域      | 授 業 科 目              | 単位数 |    | 授業時間数 |                  | 1 年次 |    | 2 年次 |    | 3 年次 |    |
|------|---------|----------------------|-----|----|-------|------------------|------|----|------|----|------|----|
|      |         |                      | 必修  | 選択 | 講義    | 演習               | 前期   | 後期 | 前期   | 後期 | 前期   | 後期 |
| 共通教育 |         | 研究公正B                | 1   |    |       | 15               | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | イノベーション創出型研究者養成Ⅰ(な)  |     | 2  | 30    | 開講時期、中継講義は時間割を参照 |      |    |      |    |      |    |
|      |         | イノベーション創出型研究者養成ⅡA～ⅡH |     | 各1 | 各15   |                  |      |    |      |    |      |    |
|      |         | イノベーション創出型研究者養成Ⅲ(な)  |     | 2  | 30    |                  |      |    |      |    |      |    |
|      |         | イノベーション創出型研究者養成Ⅳ(な)  |     | 2  | 30    |                  |      |    |      |    |      |    |
| 基盤教育 |         | 看護学研究方法論             | 2   |    | 30    | 30               | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 看護学研究方法論演習           |     | 1  |       |                  |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 生体科学研究方法論            |     | 1  | 15    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 健康科学研究方法論Ⅰ           |     | 1  | 15    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 健康科学研究方法論Ⅱ           |     | 1  | 15    |                  |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 看護理論開発方法論            |     | 1  | 15    |                  |      | ○  |      |    |      |    |
| 専門教育 | 生活支援看護学 | 看護技術・情報学特論           |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 看護技術・情報学演習           |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 看護管理・教育学特論           |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 看護管理・教育学演習           |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 母子健康看護学特論            |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 母子健康看護学演習            |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 家族健康看護学特論            |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 家族健康看護学演習            |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 地域・精神看護学特論           |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 地域・精神看護学演習           |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      | 療養支援看護学 | 在宅・老年看護学特論           |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 在宅・老年看護学演習           |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 生活支援看護学特別研究          |     | 6  |       | 270              |      |    | ○    | ○  | ○    |    |
|      |         | 急性療養看護学特論            |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 急性療養看護学演習            |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 慢性療養看護学特論            |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 慢性療養看護学演習            |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | がん療養看護学特論            |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | がん療養看護学演習            |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      | 療養支援看護学 | 感染療養看護学特論            |     | 2  | 30    |                  | ○    |    |      |    |      |    |
|      |         | 感染療養看護学演習            |     | 2  |       | 60               |      | ○  |      |    |      |    |
|      |         | 療養支援看護学特別研究          |     | 6  |       | 270              |      |    | ○    | ○  | ○    |    |

(な)は、中百舌鳥キャンパスで開講を表す。

## 2. 教育方法

### 1) 学士課程

授業形態は、学習効果を上げるために、「共通教育科目」「専門基礎科目」は講義・演習、「専門科目」は講義・演習・実習で構成している。具体的な授業形態及び指導形態の例として、「情報基礎」ではコンピュータを使用して情報処理の演習を行い、「解剖生理学A・B」では、「キーパッド」を用いた小テストや、三次元人体解剖ソフト「Visible Body」を用いた演習を取り入れて授業を行っている。

各領域の「支援論」などにおいては、少人数による対話・討論型授業を行っている。臨地実習では、病院、老人保健施設、保健所、市町村保健センターなどの様々なフィールド型実習を行っている。さらに、2005年度に採択された文部科学省による現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム「看護実践能力の獲得を支援するeラーニング」の教材を授業や実習に活用し、学習指導法を工夫している。

教育の目的に応じた成績評価基準は、大阪府立大学履修規程に示されており（規程第280号第10条 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200093.html#e000000125](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200093.html#e000000125)）、各科目の成績評価基準は、学生必携の授業科目概要に記載している。授業科目及び臨地実習の成績評価及び単位認定は、各科目の単位認定者が基準に従って実施している。成績評価に関する学生からの異議申し立ては、学生個人から学生グループ学類教務担当または当該科目担当教員に、口頭もしくは書面で行われている。卒業要件基準は、大阪府立大学地域保健学域規程に則り（規程第268号第10条）、2012年度以降の入学生は卒業要件128単位、必修単位116単位としている。

2012年度以降の入学生に対しては助産師に加え保健師も選択制となり、助産師国家試験受験資格の取得を希望する学生に対しては、17単位の助産師科目を、保健師国家試験受験資格の取得を希望する学生に対しては、11単位の保健師科目を開設している。なお、助産師養成課程は大学院教育への移行を予定しており、2020年度入学生から廃止となった。また、2012年度以降の入学生から、養護教諭一種免許状取得のための「資格科目」を開設した。さらに、助産師科目の一部を含む科目選択により、国家資格である受胎調整実地指導員認定資格を取得できるようにした。入学前の既修得単位の認定は、大阪府立大学学則（規程第228号36条）に則り、新入学者に対しては、本学入学前に他大学等で修得した科目は個別に審査し、卒業要件単位に認定している。卒業認定は、卒業要件に照らし合わせて教授会でを行っている。

### 2) 大学院課程

博士前期課程の授業形態及び指導形態は、修士論文コースでは講義・演習、専門看護師（CNS）コースでは講義・演習・実習で構成され、少人数教育を基本としている。講義では質疑応答を含めた対話・討論型授業、演習では情報機器の活用や実験、演習及び実習ではフィールド型授業などを行っている。さらに、学類の授業におけるTAとしての活動を通して、教育能力を高められるようにしている。

また、入学前の既修得単位の認定は、大阪府立大学大学院学則（規程第229号第14条）に則り、新入学者に対しては、本学入学前に他大学等で修得した科目は個別に審査し、10単位を上限とし修了要件単位に認定することとした。

研究指導は、博士前期課程、博士後期課程ともに複数指導教員体制のもとで行い、主指導教員はテーマの選定及び研究方法の検討から論文作成までのすべてのプロセスを直接指導している。副指導教員は主指導教員と緊密な連携を取りつつ、指導に当たっている。論文審査のプロセスとして、博士前期課程では、研究テーマ及び研究計画書を研究科委員会で審査し、研究倫理委員会の審査を経て、再度、研究科委員会で最終承認する。修士論

文・課題研究の審査は、研究科委員会で選出された主査1名と副査2名以上で行い、研究科委員会で最終承認を行う。博士後期課程では、研究テーマ及び研究計画書を研究科委員会で審査し、研究倫理委員会の審査を経て、再度、研究科委員会で最終承認する。2年次には中間報告を行い、教員及び他の大学院生の意見を広く求め、研究能力を育成する場としている。博士論文の審査は、研究科委員会の全教員で行う予備審査、研究科委員会で選出された主査1名と副査2名以上で行う本審査を経て、研究科委員会で最終承認を行う。適切な評価基準の下に研究の審査が行われるために2015年度には博士論文・修士論文・課題研究の審査基準を作成した。2017年度より審査基準に基づいて審査している（資料5-2-2）。

修了要件及び成績評価基準は、大阪府立大学大学院看護学研究科規程（規程第276号第10条、第15条）に則り、成績評価及び単位認定は、各科目の単位認定者が基準に従って実施し、修了認定は、研究科委員会の議を経て学長が行っている。成績評価に関する学生からの異議申し立てがある場合、学生個人から当該科目担当教員または学生グループ大学院教務担当に、口頭もしくは書面で行う制度がある。

#### 資料5-2-2 博士論文・修士論文・課題研究 審査基準

| 看護学研究科（博士後期課程）<br>学位論文審査基準       | 看護学研究科（博士前期課程）<br>学位論文審査基準    | 看護学研究科（博士前期課程）<br>課題研究審査基準    |
|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 予備審査基準および博士論文審査基準の項目は、以下のとおりとする。 | 修士論文審査基準の項目は、以下のとおりとする。       | 課題研究審査基準の項目は、以下のとおりとする。       |
| <b>1. 学術的重要性・妥当性</b>             | <b>1. 学術的重要性・妥当性</b>          | <b>1. 専門看護分野における重要性・妥当性</b>   |
| ○学術的に重要な研究テーマである                 | ○学術的に重要な研究テーマである              | ○専門看護分野の課題についての重要な研究テーマである    |
| ○先行研究・文献との関連は十分である               | ○先行研究・文献との関連は十分である            | ○先行研究・文献との関連は十分である            |
| ○看護学の発展に貢献し、波及効果が期待できる           | ○看護学の発展に貢献し、波及効果が期待できる        | ○専門看護分野の発展に貢献する研究である          |
| ○研究目的が明確である                      | ○研究目的が明確である                   | ○研究目的が明確である                   |
| <b>2. 研究計画・方法の妥当性</b>            | <b>2. 研究計画・方法の妥当性</b>         | <b>2. 研究計画・方法の妥当性</b>         |
| ○研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられている     | ○研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられている  | ○研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられている  |
| ○科学的根拠に基づいた研究方法が用いられている          | ○科学的根拠に基づいた研究方法が用いられている       | ○科学的根拠に基づいた研究方法が用いられている       |
| ○研究方法が具体的に論述されている                | ○研究方法が具体的に論述されている             | ○研究方法が具体的に論述されている             |
| <b>3. 倫理的配慮</b>                  | <b>3. 倫理的配慮</b>               | <b>3. 倫理的配慮</b>               |
| ○研究方法、対象の選定、記述に倫理的配慮が十分払われている    | ○研究方法、対象の選定、記述に倫理的配慮が十分払われている | ○研究方法、対象の選定、記述に倫理的配慮が十分払われている |
| ○研究公正の観点から問題がない                  | ○研究公正の観点から問題がない               | ○研究公正の観点から問題がない               |
| <b>4. 研究の独創性あるいは新規性</b>          | <b>4. 研究成果</b>                | <b>4. 研究成果</b>                |
| ○研究に独創性や新規性が認められる                | ○研究に新規性が認められる                 | ○研究に新規性が認められる                 |
| <b>5. 論旨の明確性、一貫性</b>             | <b>5. 論旨の明確性、一貫性</b>          | <b>5. 課題研究の構成</b>             |
| ○論旨は明確で、一貫性がある                   | ○論旨は明確で、一貫性がある                | ○論理的に構成されている                  |
| ○結果と考察の整合性がある                    | ○結果と考察の整合性がある                 | ○結果の説明は妥当で、わかりやすい             |
|                                  |                               | ○考察に矛盾や飛躍がない                  |



### 3. その他

#### 1) 7 大学連携個別化がん医療実践者養成プラン

7 大学連携個別化がん医療実践者養成プランは、2017 年度に文部科学省「多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）』養成プラン」に採択され、5 年間継続される事業である。本事業は、近畿大学、大阪市立大学、神戸大学、関西医科大学、兵庫医科大学、神戸市看護大学、本学の看護学・医学・薬学・理工学系大学院研究科が相互連携し、多様化するニーズに対応した個別化医療を実践できるがん専門医療人を養成することを目的としている。

本学研究科では、ライフステージにおける様々な課題に対して高度な看護実践を提供し、かつ指導的役割を果たすことで、がん医療やがん看護の質向上に貢献できる人材養成を目指している。そのため、Adolescent and Young Adult (AYA) 世代や壮年期、老年期といった様々なライフステージにおける、就学・就労、妊孕性、遺伝性がん、認知症患者の意思決定や治療継続などに関する課題を講義・演習に取り上げ、実践知や研究論文など多様な学習教材を活用して効果的に問題解決できる方法を習得できるよう促している。

2021 年度は、前期は新型コロナウイルス感染症拡大のため、講義は同期型オンラインで行ったが、緩和ケアのベッドサイド演習やシミュレーション教育は時期を調整して対面で行った。後期は感染予防対策を講じながら対面授業を実施した。また、臨地での演習やがん看護学実習も、時期を検討して学習目標、期間は変更せず実施した。さらに、学内外で開催されている研修や学術集会を周知して参加を促した。本年度が事業の最終年度となり、終盤 2 年間はコロナ禍の中で教育方法を変更せざるをえず、オンライン授業を取り入れるなど、教育方法の検討、工夫を繰り返し、教育内容の維持に努めたことに加え、他大学・他施設との連携によって、コース目標に沿った内容は教授できた。

#### 2) 実習病院との連携

2021 年度も新型コロナウイルス感染症禍での大学と臨床との情報交換のために看護部長会で交流を行った。主な内容は、大阪公立大学の実習施設のお願いと情報交換、臨地実習の在り方や、卒業生の状況、就職前の過ごし方について留意事項など、病院と大学の事情を情報交換し、協力上の留意点を話し合った。

なお、2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ふれあい病院探検等の企画や、臨床講師の看護学授業への参加は中止となった。

## 第6章 学生支援

### 1. 学習支援

#### 1) 学士課程

看護学類では、「共通教育科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」に属する科目群を有機的に連携させて学習効果を上げることを目指した授業科目概要を作成している。授業科目概要の構成は、担当者や配当年次、開講時期などの基本的な情報と、授業目標、授業の概要、準備学習・試験・成績評価等の項目からなり、これらの定型化された書式に従って各教員が作成している。学習支援として、入学時及び前年度末には履修ガイダンスを行い、成績評価基準、卒業認定基準、授業科目概要等を記載した学生必携を学生全員に配布し、履修指導を行っている。また、選考に基づき助産科目・助産師科目又は保健師科目を履修することができ、その説明を入学時と3年次に実施しているが、2020年度入学生から助産師養成カリキュラム廃止のため入学時の説明は行っていない。さらに、学生が学習相談のために来室あるいはメールによる質問・相談ができるよう、授業科目概要には、授業科目毎に、教員のオフィスアワー及びメールアドレスを記載している。国家試験対策としては、看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験は、各々を専攻した学生の代表が中心となっており、国家試験の模擬試験を実施している。2017年度からは国家試験対策として学内、I-site なんば等に学習室を設置していたが、新型コロナウイルス感染症禍であり感染予防対策のため学習室の設置は行わなかった。学内教員や学外講師による研修会や勉強会は引き続き行った。

学生の自主的学習を支援する環境は、羽曳野図書センター、情報科学演習室・視聴覚室、自習室（ラーニングコモンズ）等の施設整備に加え、携帯型のマルチメディア端末を用いたデジタル教材などを整備している。羽曳野図書センターの開館時間は、平日8時30分～21時（授業のない日は9時～19時）、土曜日10時30分～19時で、AVブース・AV機器を備えたグループ学習室等を使用することができる。さらに、看護に関する蔵書は日本でもトップクラスであり、他大学図書館との相互利用サービス、データベース・サービス等も充実している。羽曳野図書センターのガイダンスは、要望に応じ、図書館ツアー等を行い、利用について案内・周知している。

情報科学演習室・視聴覚室は、基本的には授業時間を除く平日9時～22時に開放し、パソコンは情報科学演習室50台、視聴覚室34台、ラーニングコモンズ5台を整備している。看護技術習得のために、学内での各専門分野に応じた実習室を整備している。

学生相談を含む学生生活全般への支援は、1～3年次生15～18名に1～3名の教員（総グループ数22）、4年次生には総合研究を担当する教員が、アドバイザーとして履修上・生活上の問題について継続的に支援を行うアドバイザー制度がある。アドバイザーは、学生の進路、履修指導、課外活動・個人の悩みなど各種相談や支援を行っている。

羽曳野キャンパス学内団体・サークルとしては、体育系7団体、文化系9団体、その他学生団体3団体の計19団体が活動している。学内団体・サークルは、自治会が交付する活動資金により活動し、教員が必ず顧問として関わるほか、教授会がサークルの新規申請を承認する前に、学生委員会で活動内容の妥当性について検討している。サークル室は、図書厚生棟3階に整備しており、学内で施設を利用する場合は所定の書式で申請することにより、ほぼ全面的な施設利用が認められている。自治会活動に対する支援としては、集会室を図書厚生棟3階に整備し、活動資金は入学時に徴収される自治会費に加えて、後援会からの交付金に基づいている。

また、学習支援に関する学生のニーズをより詳細に把握するために、WEB学生サービスセンター（WEBSC）では、WEBSCサイトに「Web提案箱」を設置し、提案した学生に当日中に返信するとともに、寄せられた意見・提案及び



対応内容を WEBSC サイトで紹介している。2021 度の提案箱への意見は大学全体で 24 件あったが、羽曳野キャンパスで 0 件であった。新型コロナウイルス感染症禍ということで自治会より要望書が提出された。その他、随時アドバイザーから、学生委員長、教務委員長、学類長、研究科長等へ、学生のニーズに関する情報を報告している。

## 2) 大学院課程

看護学研究科では「共通教育科目」と「基盤教育科目」、「専門教育科目」に属する科目群を有機的に連携させて学習効果をあげることを目指した授業科目概要を作成している。授業科目概要の構成は、担当者や配当年次、開講時期などの基本的な情報と、授業目標、授業の概要、試験・成績評価等の項目からなり、これらの定型化された書式に従って各教員が作成している。学習支援として、入学時及び年度当初には履修ガイダンスを行い、成績評価基準、修了認定基準、授業科目概要等を記載した学生必携を学生全員に配布し、履修指導を行っている。さらに、学生が学習相談のために来室あるいはメールによる質問・相談ができるよう、授業科目概要には、授業科目毎に、教員のオフィスアワー及びメールアドレスを記載している。

学生の自主的学習を支援する環境は、羽曳野図書センター、情報科学演習室・視聴覚室のほか、看護学研究科大学院自習室を設置し整備している。

博士前期課程の学生に対しては、2017 年度から、学生が順調に修学に取り組めるように「修学相談体制」を導入し、学生の修学上の不安や悩みについて相談できる主指導教員以外の修学相談教員（研究科長、副研究科長、学生委員長は除く教授）を各学年に 3 名ずつ配置している。修学相談教員は学生の修学上の不安や悩みを早期に把握し、主指導教員、研究科長、学生委員長などと連携しながら学生が修学に専念できるように支援している。

なお、学習支援に関する学生のニーズをより詳細に把握するための方法は、学士課程と同様である。

## 2. 生活支援

看護学類及び看護学研究科では、学生の生活や就職、経済面での援助に関する支援のほか、特別な配慮が必要な学生への支援やハラスメントに関する支援を行っている。

学生の健康相談は、保健室に配置された看護師 1 名が常勤で対応している。さらに、学校医 1 名（内科）との契約を結び、学生の健康管理と受診対応の体制をとっている。心理的問題に対応できる体制として本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、対面でのカウンセラーによる相談は困難であった。そのため、羽曳野キャンパスカウンセリングルームでは、専門のカウンセラーによるメールや WEB を用いた相談、テレビ電話を用いた電話相談や WEB 学生サービスセンター (WEBSC) 所属の専門カウンセラーなど多様な方法による相談体制を整備した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面でのカウンセラーによる相談は困難と予測されたため、羽曳野キャンパスカウンセリングルームでは、専門のカウンセラーによるメールや WEB を用いた相談、テレビ電話を用いた電話相談や WEB 学生サービスセンター (WEBSC) 所属の専門カウンセラーなど多様な方法による相談体制を整備・継続した。2021 年度の年間相談件数（実数）は、6 月末より登学が可能となったため対面での相談が増え、134 件（9 名）で前年度よりも増加した。

奨学金制度及び授業料減免は、学生ガイダンス、学生生活の手引、掲示板やパンフレットにおいて周知し、より詳細な情報を必要とする学生からの問い合わせや相談は、羽曳野キャンパス事務所学生グループにおいて対応している。2020 年度から引き続き国の修学支援制度と府の授業料減免制度があり、多くの学生がそちらの制度を

利用することとなった。

外国人留学生には、奨学金制度や授業料減免制度が外国人留学生枠で設けられている。アドバイザー制度により、外国人留学生寮の紹介・調整、アルバイトや書類手続き時のアドバイスなど、生活の支援体制を整備している。さらに、教員、先輩学生各1名で構成するチューター制度では、外国人留学生に対する学習支援体制も整備している。担当する先輩学生（チューター）は、学生委員会により選出され、一定の費用が支払われる。2021年度の外国人留学生数は2名である。その他、特別な支援を行うことが必要と考えられる者は、アクセスセンターと連携し、就学上の支援を行っている。

各種ハラスメントに関する支援は、公立大学法人大阪ハラスメントの防止に関する規程（規程第192号 [https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki\\_honbun/u325RG00200454.html](https://www1.g-reiki.net/upc-osaka/reiki_honbun/u325RG00200454.html)）に則り、相談・助言体制を整備し、機能している。大学生活を送る中で何らかの不自由さを感じる学生本人、周囲の学生や教員からの相談に専任のコーディネーターが応じるアクセスセンターが中百舌鳥キャンパスに開設され、2018年11月より羽曳野キャンパスにも分室が設けられた。障がい者手帳の有無、障がいの種類や程度、「障がい」という名称の有無にかかわらず、履修、試験、学生生活において心配事や悩みに対する相談に応じており、修学上の合理的配慮についても連携しながら対応した。

### 3. 就職支援

看護学類では、就職支援を就職委員とキャリアカウンセラー、アドバイザー教員で実施している。2021年度は対面での対応が難しい状況であったが、キャリア支援室のオンライン相談や各種オンラインガイダンスも活用して就職支援を行なった。

また、求人施設への対応は原則、事務職員で対応しており、就職情報・進路資料室の管理・就職状況の把握を行っている。

## 第7章 教育の成果と教育の質の向上及び改善のためのシステム

### 1. 評価

#### 1) 学生による評価

##### (1) 授業評価アンケートによる学生の評価

2012年度入学生から学生による目標設定と自己評価を中心とした学習・教育支援サイト（ポートフォリオ）が導入されており、半期毎の目標設定と授業科目単位での学習自己評価（授業振り返り）を入力するシステムを通じて、授業評価アンケートを実施している。看護学類前期アンケート回答率は10名以上の受講者の科目では63.1%～95.0%であり、学生の入力結果を教員にもポータル上で提示するとともに、学生の振り返りに対しての、教員のコメント入力も行い、学生に公開することにより、相互理解と学生の評価を反映した教育改善に努めている。さらに2021年度より教学アセスメントを行い、授業科目について必要時科目担当教員にもフィードバックを行い、授業改善に役立てている。

今年度の特徴として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、授業形態が対面授業から授業支援システムを活用した非同期型オンライン中心に変更となった。全学におけるオンライン授業に関する学生のアンケート（回収率は1年次生48.0%、2年次以上10.8%）によると、オンライン授業は比較的満足度は高く、学生の理解はむしろ高まっていたという結果であった。しかし、演習や実習、またコミュニケーションや交流といった点においてはオンラインのみでは難しいため、可能な範囲で感染拡大防止策を講じたうえで、対面とオンラインのハイブリット授業を実施した。

##### (2) 臨地実習評価アンケートによる学生の評価

臨地実習については、実習科目毎に学生による評価を実施しており、その結果を担当教員はもとより、府立5医療センターの実習指導者にもフィードバックすることで、実習内容や実習環境の改善に役立てている。

2020年度後期から2021年度前期における実習評価アンケート（看護学実習評価票）の回答率は、基礎看護学実習Ⅰ（1年次）53.8%、基礎看護学実習Ⅱ（2年次）62.0%、各論実習（3年次、4年次）24.0%であり、昨年度とほぼ同様の回答率となっている。

学生の評価について、全実習における「大いにそう思う」「そう思う」の割合を評価項目毎にみると、「授業で学んだ内容が実習を通してより深く理解できた」と回答した者は93.2%、「対象者への理解を深め、その対象者に合う看護が展開できた」と回答した者は90.0%であった。臨地実習の総合目的である「さまざまな健康レベル・健康障害にある人々に対して、既習の知識・技術・態度を実際の場面に適用し、理論と実践を統合して看護活動が展開できる能力を養う」が概ね達成できていると考えられる。また、「教員は学生の必要に応じたアドバイス、指導、説明を行った」と回答した者は90.7%、「指導者から適切な助言が得られた」と回答した者は89.1%で、学生の学習ニーズに応えられる実習指導体制であった。

#### 2) 教員相互による評価

2005年度より実施してきたピア授業評価と並行し、2010年度よりピア授業参観を試行的に行ってきたが、2012年度から教員相互による評価をピア授業参観に一本化させた。ピア授業参観実施要項、ピア授業参観実施手順に基づいて、参観科目提供の呼びかけを年2回行っている。2021年度は前期79（学類76、大学院3）、後期35（学類33、大学院2）合計114コマの授業が提供された。

2020 年度からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、非同期型オンライン授業と対面授業がハイブリットに行われ、また提供方法の変更、日程変更もあり、参観したい授業の日程が読めない状況での参観は対面では難しい状況がある。オンライン授業は比較的時間に左右されず参観が可能と考えたが、2021 年度の参観実施数は 13 件（2020 年 13 件）と伸び悩んでいる。参観授業登録の煩雑さなどの声も聞かれており、大阪公立大学においては、ピア授業参観の実施と方法について全学の状況もみながら検討していくことが必要である。

### 3) 教員業績評価

大阪府立大学評価基本方針の目的として、「教員の教育・研究・社会貢献・大学運営の諸活動について現状を把握し、適正な評価を行うことによって、教育研究活動の活性化および質の向上を図り、併せて大学運営の改善を図るとともに、大学としての社会的説明責任を果たす」とあるように、教員活動評価を 2006 年度から施行している。

看護学類としては、看護独自で実施してきた自己点検評価を 2014 年度で終了し、2015 年度からは全学統一の教員活動業績評価を実施している。

教員活動業績評価は、教員活動情報データベースシステムを活用し、全学の教員活動業績評価実施委員会で策定した自己点検・評価実施要領に基づき活動情報を収集・蓄積し、教員活動評価への活用を図っている。

各教員は、前年度の活動について所属学類等の実施基準に基づき自己点検・評価を行い、教育、研究、社会貢献及び大学運営の 4 分野における、自らの活動の見直しに活用している。

## 2. 卒業・修了後の進路状況

学類卒業生は例年就職希望者 99～100%が就職しており、2021 年度就職希望者 122 名中 122 名（100.0%）の就職が内定している。就職希望者の 90.2%は看護師・助産師として病院に就職し、4.1%が保健師として大阪府・大阪市に就職している。また近年は 79.5%以上が大阪府内に就職しており、2021 年度卒業生の 79.5%の学生が大阪府内に就職し、20.5%が府外に就職している。

近年における学類卒業生の年度別就職状況を資料 7-2-1 及び資料 7-2-2 に示した。

資料 7-2-1 学類生 卒業年度別府内外就職状況

2022 年 3 月現在（名）

| 卒業年度    | 2019 年度 |       | 2020 年度 |       | 2021 年度 |       |
|---------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 卒業生     | 128     |       | 123     |       | 127     |       |
| 就職希望者   | 124     |       | 116     |       | 122     |       |
| 進学者     | 0       |       | 3       |       | 4       |       |
| その他     | 4       |       | 4       |       | 1       |       |
| 就職者     | 123     |       | 116     |       | 122     |       |
| 就職者率    | 99.2%   |       | 100.0%  |       | 100.0%  |       |
| 府内就職者   | 103     | 83.1% | 96      | 82.8% | 97      | 79.5% |
| うち府内出身者 | 72      | 69.9% | 74      | 77.1% | 78      | 80.4% |
| 府外就職者   | 20      | 16.1% | 20      | 17.2% | 25      | 20.5% |

資料 7-2-2 学類生 卒業年度別府内外国公立・民間の就職状況

2022 年 3 月現在 (名)

| 卒業年度    | 就職者 | 府内  |   |    |    |   |    |    |   |    |   |    | 府外  |   |    |    |   |    |    |   |   |   |   |
|---------|-----|-----|---|----|----|---|----|----|---|----|---|----|-----|---|----|----|---|----|----|---|---|---|---|
|         |     | 国公立 |   |    |    |   |    | 民間 |   |    |   |    | 国公立 |   |    |    |   |    | 民間 |   |   |   |   |
|         |     | 保   | 助 | 看  | 養教 | 他 | 計  | 保  | 助 | 看  | 他 | 計  | 保   | 助 | 看  | 養教 | 他 | 計  | 保  | 助 | 看 | 他 | 計 |
| 2019 年度 | 124 | 3   | 6 | 63 | 0  | 1 | 73 | 0  | 3 | 27 | 0 | 30 | 0   | 1 | 15 | 0  | 2 | 18 | 0  | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 2020 年度 | 116 | 6   | 4 | 61 | 1  | 0 | 72 | 0  | 6 | 17 | 1 | 24 | 3   | 0 | 10 | 0  | 0 | 13 | 0  | 0 | 6 | 1 | 7 |
| 2021 年度 | 122 | 6   | 5 | 57 | 1  | 0 | 69 | 0  | 4 | 23 | 1 | 28 | 3   | 0 | 15 | 1  | 0 | 19 | 0  | 0 | 6 | 0 | 6 |

※「他」は看護職以外

博士前期課程修了者は、進学者を除いて医療・保健施設に就職している。博士後期課程の修了生は、医療・保健関係に就職した 1 名を除くすべての方が教育機関に就職している。近年における博士前期課程修了生の就職状況を資料 7-2-3 に、博士後期課程修了生の就職状況を資料 7-2-4 に示した。

資料 7-2-3 博士前期課程 修了年度別府内外就職状況

2022 年 3 月現在 (名)

| 修了年度             | 2019 年度   | 2020 年度 | 2021 年度 |
|------------------|-----------|---------|---------|
| 修了者              | 28        | 17      | 13      |
| 就職者              | 22        | 14      | 9       |
| 進学者              | 4         | 0       | 0       |
| その他・未定           | 2         | 3       | 4       |
| 府内就職者 (医療・保健／教育) | 13 (11/2) | 6 (6/0) | 7 (7/0) |
| 府外就職者 (医療・保健／教育) | 9 (9/0)   | 8 (8/0) | 2 (2/0) |

資料 7-2-4 博士後期課程 修了年度別府内外就職状況

2022 年 3 月現在 (名)

| 修了年度              | 2019 年度 | 2020 年度 | 2021 年度 |
|-------------------|---------|---------|---------|
| 修了者               | 0       | 4       | 3       |
| 就職者               | 0       | 4       | 3       |
| その他・未定            | 0       | 0       | 0       |
| 府内就職者 (医療・保健／教育)  | 0       | 3 (0/3) | 0       |
| 府外就職者数 (医療・保健／教育) | 0       | 1 (0/1) | 3 (1/2) |

### 3. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

看護学類におけるファカルティ・ディベロップメント（FD）は、FD 委員会を設置し取り組んでいる。FD 委員会の主な活動としては、学生や教員のニーズや、社会の変化に対応した内容を取り上げ、セミナー等を企画・実施することである。

2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、前期、後期に学類独自の FD 企画と、地域保健学域合同セミナーとして FD カフェを企画し、開催した（資料 7-3）。

資料 7-3 2021 年度 FD に関するセミナー等

|              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 看護学類         | <p>1. FD セミナーの開催</p> <p>1) 第 1 回 FD セミナー「コロナ禍における学生の現状と支援」web 開催<br/>（総合リハビリテーション学類との共同開催）<br/>講師：甲南大学教授 日本学生相談学会理事長 高石恭子先生<br/>講義：13:00～15:00<br/>参加者：40 名（看護教員 30 名、非常勤助手 7 名、総リハ 3 名）<br/>アンケート回答者 35 名（回収率 87.5%）全員が理解できた、役に立つ、受講してよかったと回答。意見として、学生の置かれている立場、現状、苦悩が分かった、学生への支援を考えるきっかけになった、等が得られた。</p> <p>2) 第 2 回 FD セミナー「実践の知を生み出す事例研究法開発の試み」web 開催<br/>講師：東京大学大学院医学系研究科高齢者在宅長期ケア看護学/緩和ケア看護学教授 山本則子先生<br/>日時：2021 年 12 月 20 日（月）13:00～15:00<br/>参加者：（オンライン）47 名<br/>（オンデマンド）18 名※オンライン参加の重複者を省く<br/>（合計）65 名<br/>アンケート回答者（回収率 70.6%）ほぼ全員が理解できた、役に立つ、受講してよかったと回答。意見として、言語化・可視化することの重要性、現場での語り合い、論文化の意義、わかりやすく事例研究を臨床で取り組んでみたい等、が得られた。</p> |
| 地域保健学域合同セミナー | <p>2. FD カフェの開催</p> <p>1) 第 1 回地域保健学域 FD カフェ（2022 年 3 月 17 日：13:00～15:00 Web 開催）<br/>「コロナ禍における臨地実習の実際と工夫～皆で情報を共有し、今後に活かそう！」<br/>情報提供者：看護学類各実習担当教員<br/>参加者：33 名<br/>各分野の報告の後、グループワークにて意見交換を行った。アンケート回答者 30 名（回収率 90.9%）の全員がとても役に立つ、役に立つと回答。多くの参加者が交流の機会として、また情報共有、意見交換の良い機会となり、有益であったと回答していた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 第8章 研究活動

### 1. 研究体制及び支援

研究の実施体制は、健康科学と看護学4領域の計5領域から構成されている。同組織への研究支援組織としては、羽曳野キャンパスの場合、総務グループを中心とした事務職員及び文献等の検索や収集のために羽曳野図書センターの司書などから、総合的・機能的に支援を受けている。

研究推進については、産学官連携機構から研究助成の広報・申請手続き・予算執行等、療養学習支援センターによる地域社会との連携等が、組織的に行われている。コーディネーターが定期的に羽曳野キャンパスに来学し、研究助成に関する情報提供など支援を行っている。外部研究資金獲得に関して、文部科学省の科学研究費補助金の場合には経営企画課経理グループによる申請方法の説明会を行っているとともに、外部資金獲得に関するセミナーの開催なども実施している。このように研究が推進できるような施策が図られている。

研究資金の配分は、学類運営会議において原案を作成し、教授会及び看護学研究科委員会で決定する施策が実施されている。その他の支援としては、療養学習支援センターによる研究プロジェクトに対する研究・活動助成、実習施設等との共同研究助成などがある。

看護学類及び看護学研究科における独自の研究成果の発信や刊行のための組織として、入試広報部会及び紀要委員会があり、各教員の研究成果の概略をホームページなどで公開している。研究活動の状況を把握する取り組みとして、各教員は毎年度末に教員活動情報データベースに自己の研究活動の申告を実施している。教員活動情報データベースは教員の個人情報に関する部分を除いて公開を原則としている。

看護学類及び看護学研究科における研究活動の質の向上に関する取り組みとしては、大学院看護学研究科研究倫理委員会及び動物実験委員会がある。大学院看護学研究科研究倫理委員会では、教員及び学生が行なう、人を対象とする研究では、学外の有識者を含む大学院看護学研究科研究倫理委員会において、倫理審査を実施している。実験動物を用いた研究については、動物実験ガイドラインが定められ、研究計画書を動物実験委員会に提出し、審査を受けることにより実施可能となる。このように倫理的に配慮した研究を支援するための研究倫理委員会、動物実験に関する委員会等が整備され機能している。

本学の研究活動の一層の活性化を図ることを目的として、学域・学類、研究科の枠を超えた学際的あるいは分野横断型研究を進める「21世紀科学研究所」群で構成する研究組織「21世紀科学研究機構」が設立されている。この機構は、柔軟性と組織性を併せ持つ3群の設置形態の研究所で構成されており、地域に貢献する拠点大学としての役割と府民・府政のシンクタンク機能も担える組織として、本学の研究スタイルに新たな息吹を吹き込む存在として位置づけられている。看護教育・研究に関して同機構内に「看護経営システム研究所」などがある。

### 2. 研究実績

看護学類及び看護学研究科の研究活動の実施状況と研究成果は、「資料 大阪府立大学看護学類教員業績一覧」に示した。学術論文の発表はのべ40件、学会発表件数はのべ86件であった。競争的研究資金の申請・採択状況を資料8-2-1に示した。日本学術振興会科学研究費助成事業への新規申請は17件であった。競争的資金等の採択件数は新規・継続を合わせて44件（34,110,499円）であり、日本学術振興会科学研究費助成事業（資料8-2-2）、厚生労働科学研究費補助金（資料8-2-3）、財団等による研究助成（資料8-2-4）、企業等による共同研究、研究助成（資料8-2-5）による実績を各一覧表に示した。

資料 8-2-1 2021 年度 競争的研究資金等の申請・採択状況

| 研究活動              |                  |    | 新規申請件数 | 新規採択件数 | 継続件数 | 合計金額(円)      |
|-------------------|------------------|----|--------|--------|------|--------------|
| 日本学術振興会 科学研究費助成事業 | 基盤研究 (A)         | 代表 | 0      | 0      | 0    | 0            |
|                   |                  | 分担 | —      | 0      | 0    | 0            |
|                   | 基盤研究 (B)         | 代表 | 1      | 1      | 2    | 1, 510, 000  |
|                   |                  | 分担 | —      | 0      | 2    | 5, 850, 000  |
|                   | 基盤研究 (C)         | 代表 | 14     | 6      | 16   | 22, 584, 499 |
|                   |                  | 分担 | —      | 1      | 10   | 1, 194, 000  |
|                   | 萌芽的研究 (萌芽)       | 代表 | 2      | 0      | 0    | 0            |
|                   |                  | 分担 | —      | 0      | 1    | 52, 000      |
|                   | 若手研究<br>若手研究 (B) | 代表 | 0      | 0      | 4    | 2, 470, 000  |
|                   |                  | 分担 | —      | 0      | 0    | 0            |
|                   | 研究活動スタート支援       | 代表 | 0      | 0      | 0    | 0            |
| 厚生労働科学研究費補助金      |                  |    | —      | 0      | 1    | 450, 000     |
| 財団等による研究助成        |                  |    | —      | 0      | 1    |              |
| 企業等による受託研究、研究助成   |                  |    | —      | 1      | 1    |              |
| 企業等による共同研究、研究助成   |                  |    | —      | 0      | 1    |              |
| 総 合 計             |                  |    |        |        |      | 34, 110, 499 |



資料8-2-2 2021年度日本学術振興会科学研究費助成事業一覧

(研究代表者)

| 研究種目審査区分 | 氏 名    | 獲得金額 (円)   | 研 究 課 題 名                                |
|----------|--------|------------|------------------------------------------|
| 基盤研究 (B) | 中山 美由紀 | 1,510,000  | AIを搭載した臨床看護師のための家族看護学習管理システム (LMS) の構築   |
| 基盤研究 (B) | 森本 明子  | 2,080,000  | 糖尿病重症化予防のための労働因子の解明と新戦略の構築：大規模職域コホート研究   |
| 基盤研究 (B) | 細田 泰子  | 3,510,000  | 看護学習者の臨床判断を拓くループリックと臨床学習環境づくり支援プログラムの開発  |
| 基盤研究 (C) | 大野 志保  | 780,000    | 学校での重大事故に遭遇した養護教諭への総合的支援プラットフォームの構築      |
| 基盤研究 (C) | 益 加代子  | 650,000    | 看護組織における多様な看護人材を活用したダイバーシティ・マネジメント方略の開発  |
| 基盤研究 (C) | 井上 奈々  | 2,600,000  | 隔離状態の重症患者と家族のこころを繋ぐ“遠隔ケア”プログラムの開発        |
| 基盤研究 (C) | 旗持 知恵子 | 1,430,000  | 高齢慢性心不全患者の症状管理における援助要請に視座した支援プログラムの開発と評価 |
| 基盤研究 (C) | 山田 加奈子 | 1,040,000  | 産後3か月の包括的産後健診－産後女性の生活習慣病予防を目指して－         |
| 基盤研究 (C) | 九津見 雅美 | 2,210,000  | レビー小体型認知症者とその家族の睡眠・睡眠覚醒周期の実態解明と看護介入効果の検証 |
| 基盤研究 (C) | 徳岡 良恵  | 1,040,000  | EGFRTKI投与を受ける肺がん患者が自己評価を行う皮膚障害予防プログラムの開発 |
| 基盤研究 (C) | 根来 佐由美 | 780,000    | 地域特性別にみたフレイル高齢者の実態と予防行動促進に向けた支援モデルの構築    |
| 基盤研究 (C) | 佐藤 淑子  | 650,000    | 診療所における効果的・効率的な感染管理活動のための指標の作成           |
| 基盤研究 (C) | 大江 理英  | 64,499     | 看護基礎教育から臨床へ救急看護師の自律性を育む救急看護教育プログラムの構築    |
| 基盤研究 (C) | 北村 愛子  | 260,000    | 急性心不全による活動耐性低下患者の回復を促進するための看護プログラムの開発    |
| 基盤研究 (C) | 渡邊 香織  | 390,000    | プレコンセプションケアに基づく就労女性の栄養状態改善プログラムの開発       |
| 基盤研究 (C) | 古山 美穂  | 1,170,000  | 「チーム思春期」の組織化と支援者への影響                     |
| 基盤研究 (C) | 長畑 多代  | 1,170,000  | 認知症ケアに携わる専門職のバーンアウト予防に焦点をあてたサポートプログラムの構築 |
| 基盤研究 (C) | 山内 加絵  | 1,040,000  | ユニット型特養の看護職に向けた看取りにおける介護職との連携の教育プログラムの構築 |
| 基盤研究 (C) | 林田 裕美  | 1,040,000  | 様々なライフステージにあるがん患者へのACP看護実践モデルの構築         |
| 基盤研究 (C) | 井上 敦子  | 1,430,000  | 家族看護実践力を高めるためのケースカンファレンスガイドの開発           |
| 基盤研究 (C) | 檜木野 裕美 | 910,000    | 医療的ケアが必要な乳幼児をもつ親の不適切養育行動アセスメント指標の開発      |
| 基盤研究 (C) | 中嶋 有加里 | 130,000    | 胎児期から幼児期の子どもを守るチャイルドシート看護支援プログラム開発と評価    |
| 基盤研究 (C) | 佐保 美奈子 | 780,000    | 思春期・青年期男子のセクシュアリティ教育の課題を克服する研究           |
| 基盤研究 (C) | 伊藤 良子  | 1,430,000  | 支援者のジェンダー規範が支援に及ぼす影響とSOGIE概念に基づく性暴力被害者支援 |
| 基盤研究 (C) | 奥野 裕子  | 1,590,000  | 就学前園児への発達支援 TV会議式Teacher Trainingの有効性の検討 |
| 若手研究     | 高 知恵   | 520,000    | 我が国の少子化対策に貢献する在日コリアンコミュニティの家族形成の実態解明     |
| 若手研究     | 富川 順子  | 780,000    | 精神科救急入院科病棟における看護師の退院調整                   |
| 若手研究     | 安本 理抄  | 1,040,000  | 生活困窮している結核患者への負の罹患連鎖を断ち切る生活支援モデルの構築      |
| 若手研究     | 岡野 明美  | 130,000    | 地域で暮らす認知症高齢者の生活支援に向けたコーディネーションの影響要因の探索   |
| 合 計      |        | 32,154,499 |                                          |

(研究分担者)

| 研究種目審査区分   | 氏 名    | 獲得金額 (円)  | 研 究 課 題 名                                |
|------------|--------|-----------|------------------------------------------|
| 基盤研究 (B)   | 安本 理抄  | 130,000   | 子ども虐待予防における『生きづらさ』を抱えた人への妊娠期からの支援手法の変革   |
| 基盤研究 (B)   | 森本 明子  | 130,000   | 子ども虐待予防における『生きづらさ』を抱えた人への妊娠期からの支援手法の変革   |
| 基盤研究 (C)   | 細田 泰子  | 130,000   | 新人看護師のトランジションを支援するオンライン学習プログラムの開発        |
| 基盤研究 (C)   | 細田 泰子  | 50,000    | 看護系大学に所属する若手教員の能力形成・向上に資する教育支援の検討        |
| 基盤研究 (C)   | 長畑 多代  | 65,000    | 認知症高齢者の日常生活支援におけるアドボカシー実践向上プログラムの実施と評価   |
| 基盤研究 (C)   | 志田 京子  | 65,000    | 認知症高齢者に関わる看護師とともにつくるリフレクションを促す教育プログラムの開発 |
| 基盤研究 (C)   | 九津見 雅美 | 390,000   | 認知機能変動観察記録を用いたレビー小体型認知症のケア方法の構築          |
| 基盤研究 (C)   | 紙野 雪香  | 130,000   | ナラティブアプローチを活用した看護管理者のキャリア形成支援能力向上プログラム開発 |
| 基盤研究 (C)   | 長畑 多代  | 65,000    | 特別養護老人ホームにおける看護実践能力向上のための教育プログラムの開発      |
| 基盤研究 (C)   | 益 加代子  | 65,000    | 看護補助者の多様性に対応する人材マネジメントシステムのモデル開発         |
| 基盤研究 (C)   | 相原 ひろみ | 65,000    | 看護技術修得における自己調整学習方略尺度の開発                  |
| 基盤研究 (C)   | 細田 泰子  | 39,000    | 子育て期にある看護師の「働き方」リテラシーを高める教育プログラムの開発      |
| 基盤研究 (C)   | 根来 佐由美 | 130,000   | 産学官が連携したオーラルフレイル予防の効果の検証：身体機能や栄養状態への影響   |
| 挑戦的研究 (萌芽) | 高 知恵   | 52,000    | 外国人児童生徒の健康支援に向けた保健サービスシステム構築の検討          |
| 合 計        |        | 1,506,000 |                                          |

資料 8-2-3 2021 年度厚生労働科学研究費補助金一覧

| 事業名                     | 研究分担者 | 研究課題名                                      | 補助金額（円） |
|-------------------------|-------|--------------------------------------------|---------|
| 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 | 都筑 千景 | 地域特性に応じた地域・職域連携推進事業の効果的な展開のための研究（20FA1010） | 450,000 |

資料 8-2-4 2021 年度財団等による研究助成一覧

| 事業名                    | 研究代表者 | 研究課題名                            |
|------------------------|-------|----------------------------------|
| 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 | 高 知恵  | HPV ワクチン接種をめぐる対象者中心の意思決定支援のための研究 |

資料 8-2-5 2021 年度企業等による共同研究

| 事業名                 | 研究代表者 | 研究課題名                            |
|---------------------|-------|----------------------------------|
| 産学連携によるデータヘルスプロジェクト | 森本 明子 | 運輸業における働く人の身体面、行動面、心理面に関連する因子の研究 |

看護学類が独自に実施している助成として、療養学習支援センター活動助成（資料 8-2-6）および、看護学研究科研究支援員派遣助成（資料 8-2-7）、看護学研究科共同研究（資料 8-2-8）がある。

特に療養学習支援センターでの活動状況は、療養学習支援センター年報第 18 巻に掲載し、公表している。

資料 8-2-6 2021 年度療養学習支援センター活動助成一覧

| 活動代表者  | 共同活動者                                        | 活動課題名                        | 助成金額（円） |
|--------|----------------------------------------------|------------------------------|---------|
| 南村 二美代 | 旗持 知恵子<br>中村 雅美                              | 健康的に日常を生きることを応援する「ホッと&ハートの会」 | 52,130  |
| 高 知恵   | 佐保 美奈子<br>古山 美穂<br>山田 加奈子<br>渡邊 香織<br>中嶋 有加里 | 学校などにおけるセクシュアリティ教育プログラム      | 33,200  |

| 活動代表者  | 共同活動者                   | 活動課題名                                                  | 助成金額（円） |
|--------|-------------------------|--------------------------------------------------------|---------|
| 根来 佐由美 | 安本 理抄<br>大野 志保<br>都筑 千景 | 地域における出前健康講座                                           | 102,020 |
| 井上 敦子  | 中山 美由紀                  | 家族への看護を考える会                                            | 187,721 |
| 山内 加絵  | 長畑 多代<br>九津見 雅美         | 高齢者施設のケアの質向上を目指す研究会<br>：高齢者施設ケア（LTC;Long-Term Care)研究会 | 31,560  |
| 深山 華織  | 三輪 恭子                   | 訪問看護ステーションにおける栄養アセスメント・モニタリングシートの活用支援                  | 180,844 |
| 杉本 吉恵  | 相原 ひろみ<br>山口 舞子         | 看護職・介護職のための腰痛予防推進リーダー研修会                               | 244,000 |
| 井上 奈々  | 北村 愛子                   | 同期型オンライン形式による集中治療に携わる看護師のためのクリティカルケア看護実践講座             | 177,400 |

資料 8-2-7 2021 年度看護学研究科研究支援員派遣助成一覧

| 研究代表者 | 研究課題名                                                         | 助成金額（円） |
|-------|---------------------------------------------------------------|---------|
| 三輪 恭子 | 住民育成活動を行うコミュニティヘルス・ナースのコンピテンシーとその獲得過程－複線径路等至性アプローチ（TEA）による分析－ | 180,000 |
| 相原ひろみ | リフレクティブサイクルを活用した看護倫理教育による看護実践への波及効果                           | 180,000 |
| 岡崎 裕子 | 慢性疾患をもつ乳幼児の親の不適切養育行動に対する看護師の認識                                | 180,000 |
| 深山 華織 | 介護や子育て期にある家族のワーク・ライフ・ケア・バランスに向けた支援の構築                         | 180,000 |

資料 8-2-8 2021 年度看護学研究科共同研究費一覧

| 研究代表者 | 研究課題名                                                | 助成金額（円） |
|-------|------------------------------------------------------|---------|
| 簗持知恵子 | 摂食・嚥下障害看護認定看護師が捉える高齢者の嚥下機能低下への対処行動－チェックリストの原案作成に向けて－ | 300,000 |
| 富川 順子 | うつ病で入院した患者への排便ケアと患者の変化                               | 165,680 |

## 第9章 社会貢献と国際交流

### 1. 地域社会への貢献

教員の地域社会への貢献として、外部資金による社会貢献活動、療養学習支援センターの活動、高大連携・教育展開等を行っている。2021年度における外部資金による社会貢献活動では、7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（がんプロ）、大阪府訪問看護専門研修事業、大阪府特定健診受診率向上プロジェクトの3件を実施した（資料9-1-1）。セミナーや講演会については、新型コロナウイルス感染症拡大により対面での実施が難しいこともあったが、オンラインを一部取り入れながらほぼ計画通りに活動を進めることができた。また、療養活動支援センターでは、昨年度で終了したNS-Coプロジェクトでの専門職の交流・ネットワーク活動の一部を、CNS活動部会にて引き続き実施している。そのほか、厚生労働省や自治体の公的団体、さまざまな専門職団体における審議会等に参画し、積極的に社会貢献を行っている。

#### 1) 外部資金による社会貢献活動

##### （1）7大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（がんプロ）

本プランは2017年度文部科学省に採択された。2017年度より開講している「がん患者のライフステージにおける課題対応を志向した看護師養成コース（がん看護インテンシブコース）」を継続し、2021年8～9月に開催した。本コースは、がん患者の就業・就労や遺伝性がん、認知症を持つ高齢がん患者など様々なライフステージにあるがん患者の抱える課題について理解し、がん患者が課題を克服できるような支援を考案して実践できる看護師の養成を目的としている。専門的な看護実践や研究を行う医療者による講義、受講者間のディスカッションなどを行い、2021年度は37名が受講した。受講者の94%以上が講義内容は「よくわかった」と回答し、ディスカッションについても94%以上が「役に立つ」と回答した。

また、2017年度より、従来実施していたインテンシブコース（がん看護）を改変し「がん看護実践者養成セミナー」を開講しており、2021年度は8～9月に開催した。がん看護経験5年以上の看護師を対象に、がんの治療や緩和ケアについて専門的知識を持ちアセスメントし、看護実践と評価を行え、患者がセルフマネジメントするための相談者として適切に対応できるよう、講義および演習を行った。トータルペインと緩和ケアは61名、放射線療法看護は59名、がん薬物療法看護は69名が参加し、95%以上が講義内容について「よくわかった」、80%以上が「演習が役に立つ」と回答していた。

さらに、2018年度よりがん医療・看護に関する課題を共有し、人的資源の活用など解決に向けた手掛かりを得ることができるよう臨床現場のニーズが高いテーマを選定して「がん看護講演会」を開催している。2021年度は9月に『その人らしさを引き出し、希望を支えるACPを考える』をテーマに開催し、多職種の医療従事者（大学院生含む）248名の参加があった。病院や地域で実践を行うがん看護専門看護師を講師に迎え、ACP（アドバンスケアプランニング）についての概念・研究結果・実践と多岐にわたる内容の講演で、がん患者・家族に対する支援や、組織内および地域と連携してACPを実践する取り組みへの手がかりを提供する機会となり、97%以上が「興味を持て、役立つ内容」と回答した。

その他には、2017年度より学内で実施してきた「がん看護に関する研究会」を継続しており、臨床実践を行うがん看護専門看護師と協働し、ゲノム医療やライフステージに応じたがんの課題に関するがん看護研究を遂行し

周知するための基盤を構築すること、またその基盤をもとにがん看護の質の向上に資する研究を遂行することを目的に開催した。2021年度は活動基盤の構築として、看護研究の遂行に合わせてメンバーと会議を持ち、のべ68名が参加した。また、看護研究の遂行として、2020年度に収集したデータを分析し、第41回日本看護科学学会学術集会および第36回日本がん看護学会学術集会において、エキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践の成果発表を行った。

## （２）大阪府訪問看護専門研修事業

2016年度よりスタートしたNS-Coプロジェクトの一環として、大阪府の委託を受けた訪問看護師階層別研修事業を開始した。2021年度は大阪府訪問看護専門研修事業の一部を受託し、訪問看護師等に必要な専門分野の実践能力向上を図る訪問看護実務指導者研修を実施した。2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインでの研修とした。方法は、オンデマンド型WEB動画配信とし、4コース（各コース5講座）、計20講座を実施した。配信期間は8～12月であり、各コース2か月ずつ配信した。また、配信終了後、希望者に対してZoomによるフォローアップ研修を実施した。オンデマンド型講義の受講者は、20講座で計7636名、フォローアップ研修の参加者は計57名であった。受講者アンケートでは、難易度は「ちょうどよい」が最も多く、ほとんどが実践に役立つと回答していた。

## （３）ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業

文部科学省令和3年度第1次補正予算「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業「実習等に資するシミュレータ等のDX設備整備（メニュー2\_A）」に事業申請を行い採択された。本事業ではデジタルトランスフォーメーション（DX）等の手法を活用することにより従来の実習では獲得できなかった能力を修得させる教育プランを構築し、即戦力となり得る実践的な知識を身に付けた医療人材養成を行うことを目的としている。

2022年度には学生を対象にしたVRシミュレーションや360度カメラ動画、電子黒板を用いた授業（講義・演習・実習）を行い、その後、看護師や潜在看護師に対してDX手法を取り入れた現任教育への導入を検討していく予定である。

## （４）さくらサイエンスプログラム

「グローバルな視点をもつ看護人材の育成を目指して一タイ王国マヒドン大学看護学部との共同研究推進プログラム（B. 共同研究活動コース）」に採択された、さくらサイエンスプランの予算を活用し4パターンのオンライン交流を実施した。

- i. プレゼンテーション準備のためヒューマングローバルコミュニケーションズのロン・リード講師よりサポートとフィードバックをもらいながら、学類生4年生を対象として自国における周産期ケアの現状、助産師教育の現状について情報交換を行い、質疑応答をしながら相互の理解を深めた。（12月1日）
- ii. アドバイザーグループを対象とした交流では、自国の文化や観光スポット、自己紹介を兼ねて紹介があった。（12月22日）
- iii. 院生を対象とした交流では、看護情報学の修了予定院生2名による研究プレゼンテーションを英語で実施した。同様に、マヒドン側の院生からも発表をしてもらい、ディスカッションを行った。（3月14日）
- iv. 教員を対象とした交流では大阪府からの委託研究活動として、高講師（母性看護学）、安本講師（公衆衛生看護学）より研究の実践報告を行った。（3月14日）

### （５）特定健診受診率向上プロジェクト

大阪府の特定健診の受診率は全国と比べ低い状況で推移しており、特定健診受診率向上は大阪府の重要な健康課題の一つとなっている。2020 年度より大阪府から知事重点事業「特定健診受診率向上プロジェクト」の委託を受け、2020 年度は特定健診対象者（40-64 歳）の実態調査などに取り組んだ。この実態調査の結果、ヘルスリテラシーが低い者や無関心期の者は特定健診の未受診リスクが高いこと、未受診理由には「健康だから」や「医療機関に通院しているから」が多いこと、医療者（かかりつけ医や看護師）からの受診勧奨を希望する者が多いこと、などが明らかになった。

2021 年度は、実態調査の結果を活用し、特定健診の受診勧奨資材（勧奨用の 3 つ折りリーフレット、再勧奨用の圧着ハガキ、漫画を用いた冊子、ポスター、動画、医師・看護師向けの実態調査結果のチラシ、通院中の方への冊子、医師から患者へ手渡すチラシ、など）を作成した。受診勧奨資材の主な用途は、[1]特定健診対象者への受診勧奨、[2]特定健診の周知・啓発活動、[3]医療者からの受診勧奨の推進とし、伝え方にはヘルスリテラシーや行動変容理論、ナッジ理論などを活用した。そして、作成した圧着ハガキを用いて、大阪府内の対象市の特定健診対象者約 57,000 名に対して受診勧奨を行った。また、その他の作成した受診勧奨資材を対象市に提供し、各市での受診勧奨に活用していただいた。さらに、作成した動画を用いて、大阪府全域での特定健診の周知・啓発活動を行った。10 月 18 日～31 日の期間に、テレビ CM（関西テレビ放送、毎日放送）とデジタルサイネージ（Osaka Metro の 14 駅、JR 大阪駅、JR 天王寺駅、近鉄大阪難波駅、京阪京橋駅、イオン 10 店舗、イトーヨーカドー 4 店舗）による動画の放映を行った。また、関西テレビ放送「よ～いドン！plus」や、毎日放送の「ビズらいよん おすすめでショー！」でも放映された。大阪府全域及び対象市で実施した特定健診の受診勧奨の評価は 2022 年度に実施予定である。

資料 9-1-1 外部資金による社会貢献活動

| 外部資金名                                                       | 代表者   | 事業名                                                                  | 補助金額(円)    |
|-------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------|------------|
| 文部科学省・研究拠点形成費等補助金『多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン』 | 田中 京子 | 7 大学連携個別化がん医療実践者養成プラン（がんプロ）                                          | 1,924,000  |
| 大阪府訪問看護専門研修事業費補助金                                           | 三輪 恭子 | 【指導者向け】訪問看護専門研修                                                      | 887,978    |
| 令和 3 年度文部科学省補正予算                                            | 田中 京子 | ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業                                         | 10,000,000 |
| さくらサイエンスプログラム                                               | 志田 京子 | 「グローバルな視点をもつ看護人材の育成を目指してータイ王国マヒドン大学看護学部との共同研究推進プログラム (B. 共同研究活動コース)」 | 191,560    |
| 大阪府知事重点事業 特定健診受診率向上プロジェクト                                   | 森本 明子 | 特定健診受診率向上プロジェクト                                                      | 45,819,759 |

## 2) 療養学習支援センター活動

療養学習支援センターは、大学院看護学研究科の附置研究所として位置付けられ、療養学習支援に関する研究・教育、実践、情報提供、学術交流を図ることを目的としている。地域貢献活動として、プロジェクト研究・活動、闘病記文庫の充実および看護フォーラムの開催を行った。

2021年度は、プロジェクト研究・活動では、活動8件に対し助成を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、例年通りの活動が難しい面もあったが、WEB開催などの工夫をしながら、住民や専門職を対象とした研究・活動を実施した。

闘病記文庫は、羽曳野図書センター内に開架し、学生や市民への利用を呼びかけている。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、十分な利用はされなかったが、新刊図書の購入を行い、活動の充実に努めている。

第9回看護フォーラムは、2022年2月12日に「つながろう！看護の知カラ〜臨床・大学・地域社会の知と実践の循環で現場を変える」のテーマでWEB開催を行い、約60名の参加があった。また、NS-Coプロジェクトとして開始された地域包括ケアに関わる専門職の交流・ネットワーク構築の活動の一部をCNS（専門看護師）活動部会として継続し、WEBページを通しての情報発信、CNSの交流会などを実施した。

療養学習支援センターの活動に関する報告は年報として刊行し、WEBサイトに公開している。以上のことから、療養学習支援センターにおける地域への教育サービス活動の成果は上がっている。

## 3) 高大連携・教育展開

青少年の学習意欲に応えた教育サービスの提供については、大阪府立大学高大連携推進委員会によって実施されている。2021年度は高校生が受講できる科目として看護学類で開講している授業科目「セクシュアリティと看護」（1単位15時間）を提供した（資料9-1-3）。2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、非同期型オンラインでの開講をした。3分の2（5回）以上の出席回数と課題レポートの提出で修了認定とした。

資料9-1-3 「セクシュアリティと看護」の講義日程等

- |         |                                     |
|---------|-------------------------------------|
| 1. 開講日時 | : 2021年11月 ～ 2021年12月（5限目 全7回）      |
| 2. 場 所  | : 非同期型オンライン                         |
| 3. 担当者  | : 佐保美奈子准教授、古山美穂准教授、高知恵講師、繁内幸治（外部講師） |
| 4. 受講者  | : 26名                               |
| 5. 高校数  | : 3校                                |

## 4) 教員の社会貢献

看護学類に所属する教員は、保健、医療、福祉などの分野と関連を保ち、専門看護や専門基盤についての研究・教育に携わりながら、審議会等に積極的に参画している。参画する審議会等の公的団体としては、厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、地方独立行政法人大阪府立病院機構、大阪府または府下市町村、看護協会、各教員が所属する学会等である。具体的な社会貢献活動は「資料 大阪府立大学地域保健学域看護学類 大学院看護学研究科 教員業績一覧」に示す通りである。

## 2. 国際交流

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、マヒドン大学との院生交流及び、サマースクールへの学生派遣は見送りとなった。そのためオンラインを活用したプログラムを実施した。さくらサイエンス招へいプログラム代替オンライン交流「グローバルな視点をもつ看護人材の育成を目指してータイ王国マヒドン大学看護学部との共同研究推進プログラム（B. 共同研究活動コース）」に採択され、学類生、大学院生を対象にオンラインプログラムを実施した。学類生4名の参加で、大学院生の参加はなかった。また、マヒドン大学ラマティボディ校が実施する国際交流オンラインプログラムに協力した。

12月1日には自国における周産期ケアの現状、助産師教育について情報交換を行う交流を実施し、学類生9名の参加が、ラマティボディ校3ー4年生10名の参加があった。12月22日には自国の文化や観光スポットに関する交流を行い、学類生4名の参加、ラマティボディ校5名の参加があった。いずれも大学院生の参加はなかった。

3月14日にはマヒドン大学ラマティボディ校との間で大学院生、教員の研究についての発表会をオンラインで実施した。教員14名、大学院生4名の参加があった。マヒドン大学からは9名の参加があった。

### 1) マヒドン大学との学術交流

2021年10月より、マヒドン大学ラマティボディ校 Wantana Maneesriwongul 准教授、Nipaporn Butsing（博士後期課程学生）と、療養支援看護学の喜田助教、基礎看護学領域の益准教授、相原准教授、志田教授とで2つの国際共同研究プロジェクトを実施した。タイ、日本、ベトナム、米国を対象とした国際比較研究であり、研究名はそれぞれ 1. Trends analysis of COVID-19 vaccination, vaccine literacy, attitude towards COVID-19 vaccines, intention to vaccinate against COVID-19, and factors predicting and decision to get COVID-19 vaccination. 2. Trends analysis of child COVID-19 vaccination, parents' COVID-19 vaccine literacy, attitudes towards COVID-19 vaccine, and intentions to vaccinate their children against COVID-19 and factors predicting Intention to vaccinate their children against COVID-19. であった。

### 2) 外国人招へい教員授業の公開

新型コロナ感染症拡大防止のため、外国人教員の招へいは無かった。

### 3) 国際看護セミナー

第28回国際看護セミナーとして、大阪大学C0デザインセンター長の池田光穂氏をお迎えし、「臨床コミュニケーションを考える」と題して学類1年の授業枠である「看護技術学Ⅰ」の時間（10時～12時）に、対面によるワークショップを実施した。コロナ感染拡大への配慮として、学生を4グループに分け、二部屋に分け、二日間をかけて実施した（10月26日、11月7日）。参加者は学類1年生120名、3年生5名、学内教員5名（国際交流委員含む）であった。

### 4) グローバル化の推進

概要の通り

### 5) 研究者の派遣

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2021年度の研究者の派遣はなかった。



## 資料

大阪府立大学  
地域保健学域看護学類  
大学院看護学研究科

## 教員業績一覧

1) 著書

| 名 前    | 出版年月   | 分 担 題 名                                                                                                         | 著 者 名                                                                | 書 名                                  | 出 版 社 名       | 掲載頁                         |
|--------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------|-----------------------------|
| 榎木野 裕美 | 202201 | 児童虐待を受けた子どもと家族への支援                                                                                              | 二宮啓子、今野美紀、他                                                          | 小児看護学Ⅰ<br>小児看護学概論<br>小児看護技術          | 南江堂           | 211-218                     |
|        | 202201 | 事例でみる子どもと家族の看護<br>児童虐待を受けた子どもと家族への支援                                                                            | 二宮啓子、今野美紀、他                                                          | 小児看護学Ⅱ<br>小児看護支援論                    | 南江堂           | 339-348                     |
| 渡邊 香織  | 202106 | 母子健康手帳制度、妊婦健康診査事業、乳幼児死亡率、女性健康支援センター事業                                                                           | 中坪史典、山下文一、 渡邊香織 他                                                    | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 468-469、473、485             |
| 都筑 千景  | 202201 | Part1 対象別公衆衛生看護活動展開論 第1章 親子保健（母子保健）活動 3子どもの健康課題と支援、4女性のライフサイクル各期の健康課題と支援                                        | 岸恵美子、西嶋真理子、都筑千景、有本梓、他                                                | 保健学講座3「公衆衛生看護活動展開論」                  | 株式会社メヂカルフレンド社 | 24-43<br>43-48              |
|        | 202112 | 第2部8章 地域における活動と地域診断<br>第2部9章 社会資源の開発（事業化・施策化）                                                                   | 上野昌江、和泉京子、都筑千景、他                                                     | 公衆衛生看護学 第3版                          | 中央法規出版株式会社    | 219-238<br>239-245          |
|        | 202106 | 健やか親子21、新生児訪問指導事業、児童手当、生活習慣病                                                                                    | 中坪史典、山下文一、 都筑千景 他                                                    | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 468、476-477、<br>477-478、483 |
| 三輪 恭子  | 202112 | Ⅳ. 療養移行支援                                                                                                       | 河野あゆみ、他                                                              | 新体系看護学全書 地域・在宅看護論                    | 株式会社メヂカルフレンド社 | 141-150                     |
| 志田 京子  | 202110 | 看護聞き言葉・略語ハンドブック                                                                                                 | 志田京子（監修）伊藤良子、山口舞子                                                    | ミッフィーの早引き 看護聞き言葉・略語ハンドブック 増補改訂版      | エクスナレッジ社      | 1-303                       |
| 細田 泰子  | 202106 | 第1章 臨地実習の基本的な考え方、第2章 臨地実習のすめ方、第3章 基礎看護学                                                                         | 宮地緑、中田智子、田中恵子、細田泰子、牧野裕子、河上智香、神戸美輪子、角野加恵子、西田好江、川北敬美                   | 看護学臨地実習ハンドブッケー 基本的考え方とすめ方ー 第6版       | 金芳堂           | 1ー74                        |
| 長田 暁子  | 202106 | 免疫                                                                                                              | 中坪史典、山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹 他                                          | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 231ー232                     |
| 中嶋 有加里 | 202202 | 第3章1. 分娩開始の診断、2. 分娩の4要素の関連性、3. 娩出後の状態、4. 産道および胎児の下降度の状態<br>第3章2. 入院時の診断・アセスメントとケア                               | 町浦美智子、大橋一友、中嶋有加里、佐々木くみ子、村上明美、田村正徳、中野美佳、宇田川直子                         | 助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断とケア 2022年度版     | 日本看護協会出版会     | 50-81、116-121               |
|        | 202106 | 42. 母子保健と健全育成 「周産期医療」「新型出生前診断（NIPT）」「保健指導」「母子愛育会」「愛育班員」「未熟児養育医療」                                                | 中坪史典、山下文一、松井剛太、伊藤嘉余子、立花直樹、…古山美穂、中嶋有加里、他                              | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 468、470、473-474             |
| 古山 美穂  | 202106 | 周産期母子医療センター、母原病、夫源病、HTLV-1母子感染予防対策の用語について解説                                                                     | 古山美穂編者：渡邊香織、都筑千景、佐保美奈子、中嶋有加里、古山美穂、大川聡子、山田加奈子、高知恵、根来佐由美、安本理抄、大野志保ほか多数 | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 469-473                     |
| 岡野 明美  | 202112 | 障がいの者保健活動                                                                                                       | 上野昌江、和泉京子、岡野明美、他                                                     | 公衆衛生看護学 第3版                          | 中央法規出版        | 472-486                     |
|        | 202112 | 高齢者保健活動                                                                                                         | 上野昌江、和泉京子、岡野明美、他                                                     | 公衆衛生看護学 第3版                          | 中央法規出版        | 340-347                     |
| 奥野 裕子  | 202105 | 第8章子どもと親の特性に応じた工夫 ①ASDタイプへの取り組み                                                                                 | 奥野裕子                                                                 | 困っている子をほめて育てる ベーレント・トレーニングガイドブック 第二版 | じほう           | 第8章                         |
| 高 知恵   | 202106 | 9. 母子保健と健全育成                                                                                                    | 中坪史典、山下文一、松井剛太、伊藤嘉余子、立花直樹、…高知恵、他                                     | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 474ー476、484-485             |
| 山田 加奈子 | 202106 | 42. 母子保健と健全育成：予防接種B型肝炎／B型肝炎母子感染予防対策、先天性代謝異常、新生児マス・スクリーニング、予防接種麻しん・風しん混合、予防接種水痘                                  | 中坪史典、山下文一、松井鋼太、伊藤嘉余子、立花直樹、山田加奈子 他                                    | 保育・幼稚園教育・子ども家庭福祉辞典                   | ミネルバ書房        | 471-472,478-479             |
| 大野 志保  | 202106 | 第4部子ども家庭福祉「アレルギー児」「食物アレルギー」「アナフィラキシーショック」「除去食」「代替食」「エビベン」                                                       | 中坪史典、山下文一、松井剛太、伊藤嘉余子、立花直樹、大野志保 他                                     | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 481ー 482                    |
| 根来 佐由美 | 202112 | 第3部第1「高齢者保健活動」C3（高齢者保健活動を行ううえで重要となる指標）、C4（高齢者保健活動の歴史的変遷）                                                        | 上野昌江、和泉京子、吉岡京子、松井菜摘、田口敦子、根来佐由美 他                                     | 公衆衛生看護学 第3版                          | 中央法規出版        | 325-340                     |
|        | 202106 | 第4部子ども家庭福祉 ④母子保健と健全育成（心臓蘇生法、予防接種日本脳炎、予防接種二種混合、予防接種四種混合、予防接種Hib、予防接種肺炎球菌）                                        | 中坪史典、山下文一、松井剛太、伊藤嘉余子、立花直樹…根来佐由美 他                                    | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 476、479-481                 |
| 安本 理抄  | 202112 | 感染症保健活動                                                                                                         | 上野昌江、和泉京子、安本理抄、他                                                     | 公衆衛生看護学 第3版                          | 中央法規出版        | 422-452                     |
|        | 202104 | SIDS（乳幼児突然死症候群）、予防接種BOG（結核）、法定伝染病、アルコール依存、喫煙率、ニコチン依存                                                            | 青木一男、浅川淳司、安本理抄、他288人                                                 | 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典                    | ミネルヴァ書房       | 476,481-484                 |
| 井上 奈々  | 202111 | 口腔内乾燥を呈する患者の口腔ケア                                                                                                | 井上奈々                                                                 | 看護技術 Vol.67 No13 通巻981               | 株式会社メヂカルフレンド社 | 31-34                       |
| 山口 舞子  | 202110 | あーお行、か行（〜からいようまで）                                                                                               | 志田京子、伊藤良子、山口舞子、下岡ちえ                                                  | ミッフィーの早引き 看護聞き言葉・略語ハンドブック 増補改訂版      | エクスナレッジ       | 6-72                        |
| 中村 雅美  | 202110 | Chapter14「腎代替療法（RRT）」第6節「RRT選択時のQOLを踏まえた情報提供」第7節「RRT選択の意思決定支援」Chapter15「慢性腎臓病（CKD）管理の工夫」第4節「行動変容支援の方法」c項「自己効力感」 | 安田隆、木村健、下山節子、土井悦子、松永篤彦、中村雅美 他                                        | 腎臓病療養指導士のためのCKD指導ガイドブック              | 東京医学社         | 170ー175<br>199ー201          |
|        | 202110 | 第5章「慢性腎臓病患者の療養生活を支える看護」第2項「慢性腎臓病患者への具体的療養支援の方法」1「食事療法」2「薬物療法」、第4項「発達段階に応じた看護」3「成人」                              | 高井奈美、武田貴美子、佐藤久光、阿部利恵、下山節子、中村雅美、他                                     | 慢性腎臓病看護（第6版）                         | 医学書院          | 136ー143<br>173ー175          |
|        | 202105 | 第1章「CKD療養のアセスメント項目：血液・尿検査データ」「CKD療養のアセスメント項目：薬物療法・服薬管理」「CKD療養のアセスメント項目：精神状況」、第2章「薬物療法」「多職種連携」                   | 内田明子、小坂志保、高井奈美、中村雅美、平野道枝                                             | CKD保存期ケアガイド                          | 医学書院          | 15ー16、21、23-24<br>50-57、115 |

2) 学会誌・雑誌等の発表論文

| 名 前    | 出版年月   | 発 表 論 文 の 標 題                                                                                                                                     | 著 者 名                                                          | 掲 載 誌 名            | 主催団体名・出版社名          | 巻                                                                                                 | 号  | 掲載頁     |
|--------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------|
| 澤井 元   | 202110 | Spatial Resolution of Suprachoroidal-Transretinal Stimulation Estimated by Recording Single-Unit Activity From the Cat Lateral Geniculate Nucleus | T Miyoshi, T Morimoto, H Sawai, T Fujikado                     | Front. Neurosci 雑誌 | Frontiers           | <a href="https://doi.org/10.3389/fnins.2021.717429">https://doi.org/10.3389/fnins.2021.717429</a> |    |         |
| 中山 美由紀 | 202104 | がん終末期の意思決定で生じる家族内葛藤に対する家族支援専門看護師の実践ー急性期病院からの移行に焦点をあててー                                                                                            | 渡見歩、中山美由紀、井上敦子                                                 | 家族看護研究 雑誌          | 一般社団法人 日本家族看護学会     | 27                                                                                                | 1  | 51-62   |
|        | 202202 | シミュレーション教育プログラムの可能性                                                                                                                               | 志田京子、中山美由紀                                                     | 整形外科看護             | メディカ出版              | 27                                                                                                | 2  | 97ー100  |
| 榎木野 裕美 | 202112 | 小児がんの子ども・家族に関わる看護師のストレスサー                                                                                                                         | 川勝和子、榎木野裕美                                                     | 日本小児看護学会誌 雑誌       | 日本小児看護学会            | 30                                                                                                | ―― | 1ー8     |
|        | 202112 | 学童前期の小児がんの子どもに闘病仲間の死を尋ねられた看護師の対応の小児がん患児の母親に対して看護師が実践しているケアー病名告知から初回治療終了までー                                                                        | 狗巻見和、榎木野裕美                                                     | 日本小児看護学会誌          | 日本小児看護学会            | 30                                                                                                | ―― | 174ー180 |
|        | 202112 | 集中治療を受けている乳幼児をケアする看護師が「何か変」と察知する子どもの様相                                                                                                            | 西宮園美、榎木野裕美                                                     | 日本小児看護学会誌 雑誌       | 日本小児看護学会            | 30                                                                                                | ―― | 107ー114 |
| 渡邊 香織  | 202107 | NICU入院中の先天性心疾患児に母乳育児を行うことに対する母親の思い                                                                                                                | 山崎由美子、中嶋有加里、佐保美奈子、渡邊 香織                                        | 母性衛生 雑誌            | 日本母性衛生学会            | 62                                                                                                | 2  | 293ー300 |
|        | 202104 | つわり症状の実態と妊娠前の食事内容との関連                                                                                                                             | 菊川佳世、古山美穂、中嶋有加里、渡邊香織                                           | 母性衛生 雑誌            | 日本母性衛生学会            | 62                                                                                                | 1  | 88-89   |
| 都筑 千景  | 202108 | 出生体重2000g以上の低出生体重児で後期早産児(Late preterm infant)を持つ母親の育児への思い                                                                                         | 森久仁江、都筑千景、大川聡子                                                 | 日本地域看護学会誌 雑誌       | 一般社団法人 日本地域看護学会     | 24                                                                                                | 2  | 13-21   |
|        | 202105 | 公衆衛生看護学を教授する教員のキャリアラダーーⅠ研修の経緯と課題                                                                                                                  | 山口忍、長澤ゆかり、藤本優子、川南公代、北岡美子、都筑千景、荒木田美香子、赤星琴美、野尻由香、三橋美和、石井美由紀、鈴木美和 | 保健師教育              | 一般社団法人 全国保健師教育機関協議会 | 5                                                                                                 | 1  | 14-21   |

|        |        |                                                                                                                                                               |                                                                                                                     |                                                                           |                                   |     |                                                                             |         |
|--------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------|---------|
|        | 202105 | ラダー I 研修に対するニーズ調査から見た今後の方向性の検討                                                                                                                                | 都筑千景, 長澤ゆかり, 荒木田美香子, 赤星琴美, 石井美由紀, 川南公代, 北岡英子, 野尻由香, 藤本優子, 三橋美和, 鈴木美和, 山口忍                                           | 保健師教育                                                                     | 一般社団法人 全国保健師教育機関協議会               | 5   | 1                                                                           | 22-26   |
| 富川 順子  | 202203 | 2020年度精神看護オンライン研修の評価                                                                                                                                          | 富川順子, 柱谷久美子                                                                                                         | 大阪府立大学看護学雑誌                                                               | 大阪府立大学看護学類                        | 28  | 1                                                                           | 55-62   |
| 長畑 多代  | 202201 | 【事例報告を書いてみよう】事例報告における倫理的配慮                                                                                                                                    | 會田 信子, 鈴木 みずえ, 小松 美砂, 高井 ゆかり, 谷口 好美, 鳥田 美紀代, 長畑 多代, 平松 知子, 丸山 優, 山田 紀代美, 山田 律子, 日本老年看護学会編集委員会                       | 老年看護学                                                                     | 日本老年看護学会                          | 26  | 2                                                                           | 39-43   |
|        | 202105 | トランジショナルケア教育プログラムによる大学院生の看護実践に対する認識の変化                                                                                                                        | 北村愛子, 細田泰子, 長畑多代, 岡本双美子, 中村裕美子                                                                                      | インターナショナル Nursing Care Research 雑誌                                        | インターナショナルNursing Care Research研究会 | 20  | 2                                                                           | 1-12    |
| 三輪 恭子  | 202203 | 在宅栄養専門管理栄養士による訪問看護師への食支援に関する学習会の成果                                                                                                                            | 深山 華穂, 三輪 恭子, 時岡 奈穂子, 岡野 明美, 小泉 亜紀子                                                                                 | 大阪府立大学看護学雑誌                                                               | 大阪府立大学看護学類                        | 28  | 1                                                                           | 23-32   |
|        | 202203 | 高齢者への健康相談・保健指導を行う保健室による地元への貢献                                                                                                                                 | 藤田冬子, 三輪恭子, 小宮山 恵美, 成田 康子                                                                                           | 神戸女子大学看護学部紀要                                                              | 神戸女子大学看護学部                        | 7   | —                                                                           | 13-21   |
| 北村 愛子  | 202111 | 救急・クリティカルケア領域におけるオーラルマネジメント                                                                                                                                   | 北村愛子                                                                                                                | 看護技術                                                                      | メディカルフレンド社                        | 67  | 13                                                                          | 22-23   |
|        | 202105 | トランジショナルケア教育プログラムによる大学院生の看護実践に対する認識の変化                                                                                                                        | 北村愛子, 細田泰子, 長畑多代, 岡本双美子, 中村裕美子                                                                                      | インターナショナル Nursing Care Research 雑誌                                        | インターナショナルNursing Care Research研究会 | 20  | 2                                                                           | 1-12    |
| 旗持 知恵子 | 202203 | 熟練看護師による慢性心不全患者のエンド・オブ・ライフに向けた意思決定支援                                                                                                                          | 旗持知恵子, 上村里沙, 中村雅美, 浅井克仁, 南村二美代                                                                                      | 大阪府立大学看護学雑誌                                                               | 大阪府立大学                            | 28  | 1                                                                           | 1-11    |
|        | 202107 | Work-related factors related to forgetting to take oral diabetes medication during the working day among Japanese male employees with diabetes                | Nao Sonoda, Soichiro Watanabe, Yuko Ohno, Chieko Hatamochi, Yoshie Sugimoto, Maiko Shikama, Meng Li, Akiko Morimoto | Diabetology International                                                 | シュプリング・ジャパン                       | 13  | <a href="https://doi.org/10.1007/s13340">https://doi.org/10.1007/s13340</a> |         |
|        | 202104 | 慢性心不全患者における病気認知の関連因子                                                                                                                                          | 浅井克仁, 旗持知恵子, 南村二美代                                                                                                  | 日本看護研究学会雑誌                                                                | 日本看護研究学会                          | 44  | 1                                                                           | 41-50   |
|        | 202104 | Intervention Effect Based on Self-Regulation to Promote the Continuation of Self-Care Behavior of Patients with Type-2 Diabetes Mellitus                      | Nariko Chuman, Chieko Hatamochi                                                                                     | Health, DOI: 10.4236/health.2021.134037<br>Scientific Research Publishing | Scientific Research Publishing    | 13  | 4                                                                           | 472-481 |
| 志田 京子  | 202202 | 経験2-3年を有する看護師のクリニカルリーズニング向上支援プログラムの内容妥当性・実用性・有益性の検討                                                                                                           | 岡田純子, 志田京子                                                                                                          | 京都橋大学研究紀要                                                                 | 京都橋大学                             | 48  | —                                                                           | 173-190 |
|        | 202202 | シミュレーション教育プログラムの可能性                                                                                                                                           | 志田京子, 中山美由紀                                                                                                         | 整形外科看護                                                                    | メディカ出版                            | 27  | 2                                                                           | 97-100  |
| 杉本 吉恵  | 202108 | Work-related factors related to forgetting to take oral diabetes medication during the working day among Japanese male employees with diabetes                | Sonoda N, Watanabe S, Ohno Y, Hatamochi C, Sugimoto Y, Shikama M, Li M, Morimoto A                                  | Diabetology International                                                 | シュプリング・ジャパン                       | 13  | <a href="https://doi.org/10.1007/s13340">https://doi.org/10.1007/s13340</a> |         |
| 細田 泰子  | 202203 | 学生の臨床判断能力を伸ばすための手法と、臨床判断能力の育成に向けた到達目標                                                                                                                         | 片山由加里, 富安真理, 根岸まゆみ, 土肥美子, 細田泰子                                                                                      | 看護展望                                                                      | メディカルフレンド社                        | 47  | 3                                                                           | 17-23   |
|        | 202203 | 臨床判断能力を拓く学習環境                                                                                                                                                 | 細田泰子                                                                                                                | 看護展望                                                                      | メディカルフレンド社                        | 47  | 3                                                                           | 10-16   |
|        | 202203 | An Exploration of the Effects of Peer Coaching on the Professional Autonomy and Identity of Nurses during Initial Career Development: A Cross-sectional Study | Ryozo Tomita, Yasuko Hosoda                                                                                         | 日本医学看護学教育学会誌                                                              | 日本医学看護学教育学会                       | 30  | 3                                                                           | 1-10    |
|        | 202203 | 教育指導者の職務キャリアと学習環境デザインに関する学習ニーズの関係                                                                                                                             | 土肥美子, 細田泰子, 中橋苗代, 中岡亜希子, 池内香織                                                                                       | 大阪医科薬科大学看護研究雑誌                                                            | 大阪医科薬科大学                          | 12  | —                                                                           | 32-38   |
|        | 202111 | 対話による実地指導者のアプロプリエーションの過程                                                                                                                                      | 金山悠, 細田泰子, 紙野雪香                                                                                                     | 日本看護学教育学会誌                                                                | 日本看護学教育学会                         | 31  | 2                                                                           | 45-56   |
|        | 202111 | Development and psychometric testing of the nursing faculty competencies self-assessment scale                                                                | Yoshiko Doi, Yasuko Hosoda                                                                                          | Nurse Education Today                                                     | ELSEVIER                          | 106 | 105068                                                                      | 1-8     |
|        | 202108 | 多重課題に対応するための思考力を育てる(1)看護実践におけるセルフモニタリングの役割                                                                                                                    | 水引智史, 紙野雪香, 細田泰子                                                                                                    | 看護実践の科学                                                                   | 看護の科学社                            | 46  | 8                                                                           | 50-54   |
|        | 202107 | 新人看護師の学習活動におけるエンゲージメント                                                                                                                                        | 勝山愛, 細田泰子                                                                                                           | 日本看護学教育学会誌                                                                | 日本看護学教育学会                         | 31  | 1                                                                           | 133-144 |
|        | 202107 | 根拠に基づく実践を促進する看護師のナレッジブローキング                                                                                                                                   | 赤崎美美, 細田泰子, 紙野雪香                                                                                                    | 日本看護学教育学会誌                                                                | 日本看護学教育学会                         | 31  | 1                                                                           | 97-110  |
|        | 202107 | 臨床学習環境における実習指導者のアーティファクトの活用                                                                                                                                   | 松本昶史, 細田泰子, 紙野雪香                                                                                                    | 日本看護学教育学会誌                                                                | 日本看護学教育学会                         | 31  | 1                                                                           | 83-95   |
|        | 202107 | 新人期看護師の多重課題遂行におけるセルフモニタリングの変容                                                                                                                                 | 水引智史, 細田泰子, 紙野雪香                                                                                                    | 日本看護学教育学会誌                                                                | 日本看護学教育学会                         | 31  | 1                                                                           | 69-82   |
|        | 202105 | トランジショナルケア教育プログラムによる大学院生の看護実践に対する認識の変化                                                                                                                        | 北村愛子, 細田泰子, 長畑多代, 岡本双美子, 中村裕美子                                                                                      | インターナショナル Nursing Care Research                                           | インターナショナルNursing Care Research研究会 | 20  | 2                                                                           | 1-12    |
| 森本 明子  | 202108 | Work-related factors related to forgetting to take oral diabetes medication during the working day among Japanese male employees with diabetes                | Sonoda N, Watanabe S, Ohno Y, Hatamochi C, Sugimoto Y, Shikama M, Li M, Morimoto A                                  | Diabetology International 雑誌                                              | シュプリング・ジャパン                       | 13  | 1                                                                           | 253-261 |
|        | 202105 | 糖尿病を抱える就労者の治療と仕事の両立をめざして                                                                                                                                      | 園田奈央, 森本明子                                                                                                          | 看護のチカラ                                                                    | 産労総合研究所                           | 26  | 556                                                                         | 44-50   |
| 佐保 美奈子 | 202201 | 性別違和・セクシュアルマイノリティの子どもをもつ保護者—その心理とサポートについて                                                                                                                     | 佐保美奈子                                                                                                               | 小児科                                                                       | 金原出版株式会社                          | 63  | 1                                                                           | 59-65   |
|        | 202107 | NICU入院中の先天性心疾患児に母乳育児を行うことに対する母親の思い                                                                                                                            | 山崎 由美子, 中嶋 有加里, 佐保 美奈子, 渡邊 香織                                                                                       | 母性衛生                                                                      | 日本母性衛生学会                          | 62  | 2                                                                           | 293-300 |
|        | 202107 | 視覚障がいのある女性の周産期ケア                                                                                                                                              | 佐保美奈子                                                                                                               | Women's Health and Sexuality                                              | 性と健康を考える女性専門家の会                   | 81  | 1                                                                           | 4-5     |
| 中嶋 有加里 | 202107 | NICU入院中の先天性心疾患児に母乳育児を行うことに対する母親の思い                                                                                                                            | 山崎由美子, 中嶋 有加里, 佐保美奈子, 渡邊香織                                                                                          | 母性衛生                                                                      | 日本母性衛生学会                          | 62  | 2                                                                           | 293-300 |
|        | 202104 | つわり症状の実態と妊娠前の食事内容との関連                                                                                                                                         | 菊川佳世, 古山美穂, 中嶋 有加里, 渡邊香織                                                                                            | 母性衛生                                                                      | 日本母性衛生学会                          | 62  | 1                                                                           | 88-98   |
| 古山 美穂  | 202203 | 新型コロナウイルス禍における子育て家庭の育児ストレスや子ども虐待の実態及びその対策に関する予備的研究                                                                                                            | 才村穂, 都築繁幸, 植田美津恵, 伊藤嘉余子, 久保樹里, 栗山直子, 土田美世子, 古山美穂, 和田一郎                                                              | 東京通信大学紀要                                                                  | 東京通信大学                            | —   | 4                                                                           | 339-357 |
|        | 202203 | 小学校・中学校の養護教諭から見た思春期女子の月経に関する健康行動を構成している概念                                                                                                                     | 工藤里香, 古山美穂                                                                                                          | 看護ケアサイエンス学会誌                                                              | 看護ケアサイエンス学会                       | 20  | 2                                                                           | 127-136 |
|        | 202104 | つわり症状の実態と妊娠前の食事内容との関連                                                                                                                                         | 菊川 佳世, 古山 美穂, 中嶋 有加里, 渡邊 香織                                                                                         | 母性衛生                                                                      | 日本母性衛生学会                          | 62  | 1                                                                           | 88-98   |
| 岡野 明美  | 202203 | 在宅栄養専門管理栄養士による訪問看護師への食支援に関する学習会の成果                                                                                                                            | 深山 華穂, 三輪 恭子, 時岡 奈穂子, 岡野 明美, 小泉 亜紀子                                                                                 | 大阪府立大学看護学雑誌                                                               | 大阪府立大学看護学類                        | 28  | 1                                                                           | 23-32   |
| 奥野 裕子  | 202202 | Effectiveness of a Parent Training Programme for Parents of Adolescents with Autism Spectrum Disorders: Aiming to Improve Daily Living Skills.                | Matsumura N, Fujino H, Yamamoto T, Tanida Y, Ishii A, Tatsumi A, Nakanishi M, Tachibana M, Mohri I, Okuno H         | International journal of environmental research and public health         | MDPIJournal                       | 19  | 4                                                                           | 2363    |

|        |        |                                                                                                                                                |                                                                                        |                              |                     |    |     |             |
|--------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------|----|-----|-------------|
|        | 202104 | Use of a Sensing Device to Visualizes Group Participation in Social Skills Learning Groups.                                                    | Yamamoto T, Okuno H, Tatsumi A, Sakai S, Mohri I, Taniike M                            | Frontiers in psychiatry      | Frontiers           | 12 | —   | 642949      |
| 九津見 雅美 | 202108 | COVID-19感染対策の面会制限したの特別養護老人ホームにおける認知症高齢者とその家族の課題と支援                                                                                             | 淡路深雪, 角本貴子, 九津見雅美, 森村安史                                                                | 老年精神医学雑誌                     | 日本老年精神医学会           | 32 | 8   | 864-869     |
|        | 202104 | 血友病と周辺女性の経験に関する研究—中間報告書—                                                                                                                       | 蘭田岐子, 井口高志, 伊藤美樹子, 大達亮, 木村美也子, 九津見雅美, 田淵紗也香, 田和なつ美, 中塚朋子, 西田千裕, 眞浦有希, 松原千恵, 南山浩二, 山田富秋 | 血友病と周辺女性の経験に関する研究—中間報告書—     | 患者・家族調査研究委員会        | —  | —   | 43-45       |
| 南村 二美代 | 202104 | 慢性心不全患者における病気認知の関連因子                                                                                                                           | 浅井克仁, 旗持知恵子, 南村二美代                                                                     | 日本看護研究学会雑誌                   | 日本看護研究学会            | 44 | 1   | 41-50       |
| 紙野 雪香  | 202111 | 対話によるアプロプリエーションの過程                                                                                                                             | 金山悠, 細田泰子, 紙野雪香                                                                        | 日本看護学教育学会誌                   | 日本看護学教育学会           | 31 | 2   | 45 - 56     |
|        | 202108 | 多重課題に対応する思考力を育てる(1)看護実践におけるセルフモニタリングの役割                                                                                                        | 水引智央, 紙野雪香, 細田泰子                                                                       | 看護実践の科学                      | 看護の科学社              | 46 | 8   | 50-54       |
|        | 202107 | 臨床学習環境における実習指導者のアーティファクトの活用                                                                                                                    | 松本昶史, 細田泰子, 紙野雪香                                                                       | 日本看護学教育学会誌                   | 日本看護学教育学会           | 31 | 1   | 83—95       |
|        | 202107 | 看護系大学院修士課程を修了した中堅看護師の根拠に基づく実践を促進するナレッジブローカリングの過程                                                                                               | 赤崎美美, 細田泰子, 紙野雪香                                                                       | 日本看護学教育学会誌                   | 日本看護学教育学会           | 31 | 1   | 97-110      |
|        | 202107 | 新人期看護師の多重課題遂行におけるセルフモニタリングの姿容                                                                                                                  | 水引智央, 細田泰子, 紙野雪香                                                                       | 日本看護学教育学会誌                   | 日本看護学教育学会           | 31 | 1   | 69-82       |
| 園田 奈央  | 202108 | Work-related factors related to forgetting to take oral diabetes medication during the working day among Japanese male employees with diabetes | Sonoda N, Watanabe S, Ohno Y, Hatamochi C, Sugimoto Y, Shikama M, Li M, Morimoto A.    | Diabetology International    | シュプリンガー・ジャパン        | 13 | 1   | 253-261     |
|        | 202105 | 糖尿病を抱える就労者の治療と仕事の両立をめざして                                                                                                                       | 園田奈央, 森本明子                                                                             | 看護のチカラ                       | 産労総合研究所             | 26 | 556 | 44—50       |
| 高 知恵   | 202108 | 埼玉県在住の中高年女性における生活習慣病予防の認識とその予防行動                                                                                                               | 宮下ルリ子, 高知恵, 飯田忠行, 松尾博哉                                                                 | 日本女性医学学会誌                    | 日本女性医学学会            | 28 | 11  | 90-94       |
|        | 202104 | SNSを利用する「今どき」高校生に合わせた「おつきあいのマナーかるた」改訂版を利用したワークショップの実践とその効果                                                                                     | 高知恵, 佐保美奈子, 古山美穂, 山田加奈子                                                                | 思春期学会雑誌                      | 日本思春期学会             | 39 | 12  | 67-72       |
| 山田 加奈子 | 202104 | SNSを利用する「今どき」高校生に合わせた「おつきあいマナーかるた」改訂版を利用したワークショップの実践とその効果                                                                                      | 高知恵, 佐保美奈子, 古山美穂, 山田加奈子                                                                | 思春期学会 雑誌                     | 思春期学会               | 39 | 1   | 173 - 180   |
| 深山 華織  | 202203 | 在宅栄養専門管理栄養士による訪問看護師への食支援に関する学習会の成果                                                                                                             | 深山 華織, 三輪 恭子, 岡岡 奈穂子, 岡野 明美, 小泉 亜紀子                                                    | 大阪府立大学看護学雑誌                  | 大阪府立大学看護学類          | 28 | 1   | 23—33       |
| 安本 理抄  | 202202 | Association between health literacy and current smoking among middle-aged Japanese ever smokers                                                | Meng Li, Nao Sonoda, Chie Koh, Risa Yasumoto, Akiko Morimoto                           | Public Health and Toxicology | European Publishing | 2  | 8   | 1—7         |
|        | 202108 | 結核という病の受け止め過程—回復者の結核の認識と治療に関連する行動に着目して—                                                                                                        | 安本理抄, 上野昌江, 大川聡子                                                                       | 日本地域看護学会誌                    | 日本地域看護学会            | 24 | 2   | 59—66       |
| 柱谷 久美子 | 202203 | 2020年度精神看護オンライン研修の評価                                                                                                                           | 富川順子, 柱谷久美子                                                                            | 大阪府立大学看護学雑誌                  | 大阪府立大学看護学類          | 28 | 1   | 55—62       |
| 喜田 雅彦  | 202203 | 【COVID-19をふまえた感染対策・呼吸管理でナースがおさえておくべきこと全部!「感染対策」編】「感染対策」を再確認! 施設の特徴に応じた違いや注意点 救命救急センターの感染対策                                                     | 岩崎 瑞穂, 喜田 雅彦                                                                           | ナーシング                        | 学研メディカル秀潤社          | 42 | 4   | 29-31       |
|        | 202203 | 【COVID-19をふまえた感染対策・呼吸管理でナースがおさえておくべきこと全部!「感染対策」編】「感染対策」を再確認! 基本を再確認!COVID-19で常識は変わった?手指衛生の要点はなにも変わっていません                                       | 喜田 雅彦                                                                                  | ナーシング                        | 学研メディカル秀潤社          | 42 | 4   | 16-18       |
|        | 202203 | 【COVID-19をふまえた感染対策・呼吸管理でナースがおさえておくべきこと全部!「感染対策」編】「ケア実践」を再確認! 面会制限と感染対策 オンライン面会と家族対応 大阪府立中河内救命救急センターの取り組み                                       | 水野 奈美, 喜田 雅彦                                                                           | ナーシング                        | 学研メディカル秀潤社          | 42 | 4   | 49-50       |
|        | 202111 | 【救急・クリティカルケア領域におけるオーラルマネジメント】(Part 3)症状を呈する患者と口腔ケア実践上の特徴 感染症を有する患者への口腔ケアと口腔ケアに伴う感染リスク                                                          | 喜田 雅彦                                                                                  | 看護技術                         | メヂカルフレンド社           | 67 | 13  | 1420-1424   |
| 中村 雅美  | 202203 | 熟練看護師による慢性心不全患者のエンド・オブ・ライフに向けた意思決定支援                                                                                                           | 旗持知恵子, 上村里沙, 中村雅美, 浅井克仁, 南村二美代                                                         | 大阪府立大学看護学雑誌                  | 大阪府立大学看護学類          | 28 | 1   | 1—11        |
|        | 202110 | CKD進展予防からRRT導入まで(1)看護実践の考え方                                                                                                                    | 中村雅美                                                                                   | 臨床透析                         | 臨床医学出版              | 37 | 11  | 1209 - 1214 |

### 3) 学術講演・学会発表

| 名 前    | 発表年月   | 発表課題名                                                                                                                                                | 会議・学会名                                             | 発表者名                                                                                                                                                      |
|--------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中山 美由紀 | 202107 | Family Stress in Childcare Under the Spread of COVID-19 Infection in Japan: Perceptions of Fathers                                                   | The 15th International Family Nursing Conference   | Yuta Agawa, Miyuki NAKAYAMA, Atsuko Inoue                                                                                                                 |
|        | 202107 | Family stress as perceived by mothers involved in childcare during the spread of COVID-19 infection in Japan                                         | The 15th International Family Nursing Conference   | Atsuko Inoue, Miyuki NAKAYAMA, Yuta Agawa                                                                                                                 |
|        | 202107 | 救命救急の場でポストリクリタル期へ移行する患者の家族に対する支援と看護師が抱く困難感                                                                                                           | 日本クリティカルケア看護学会                                     | 新井希理、中山美由紀                                                                                                                                                |
| 櫛木野 裕美 | 202111 | 医療的ケアが必要な子どもの虐待対応                                                                                                                                    | 日本子ども虐待防止学会第26回学術集会(いしかわ大会)                        | 川口めぐみ、竹田佳子、横倉尚美、友田尋子、櫛木野裕美                                                                                                                                |
|        | 202107 | 医療機関のCPTIにおける看護職の役割                                                                                                                                  | 日本小児看護学会第31回学術集会                                   | 川口めぐみ、横倉尚美、竹田佳子、櫛木野裕美、友田尋子                                                                                                                                |
| 渡邊 香織  | 202111 | Delivery periods by nationality among pregnant Asian women residing in Japan                                                                         | 第36回 日本国際保健医療学会学術集会                                | Chie Koh, Takako Chiba, Ryoko Yoshida, Misato Kato, Maho Mori, Kanako Yamada, Miho Furuyama, Yukari Nakajima, Minako Saho, Akiko Morimoto, Kaori Watanabe |
|        | 202110 | 中高年女性における閉経後の生活習慣病に関連する症状についての知識 年齢階級別の検討                                                                                                            | 日本女性医学学会                                           | 高 知恵, 渡邊 香織, 園田 奈央, 森本 明子                                                                                                                                 |
|        | 202110 | 周閉経期の女性の避妊行動に対する関連要因についての文献検討                                                                                                                        | 第62回 日本母性衛生学会学術集会                                  | 三浦 恭子, 渡邊 香織, 古山 美穂                                                                                                                                       |
|        | 202108 | Association between Knowledge of Postmenopausal Symptoms and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Women with National Health Insurance | 7th International Conference on Public Health 2021 | C. Koh, K. Watanabe, N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, R. Yasumoto, C. Tsuzuki, and A. Morimoto                                                               |
|        | 202108 | Association between Health Literacy and Current Smoking among Middle-Aged Japanese Ever-Smokers                                                      | 7th International Conference on Public Health 2021 | M. Li, N. Sonoda, M. Shikama, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki, and A. Morimoto                                                               |
|        | 202108 | Association between Lifestyle Factors and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance      | 7th International Conference on Public Health 2021 | R. Yasumoto, C. Tsuzuki, N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, C. Koh, K. Watanabe, and A. Morimoto                                                               |

|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                         |                                                                                             |
|--------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 202108 | Association between Health Literacy and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance                                          | 7th International Conference on Public Health 2021                      | M. Shikama, N. Sonoda, M. Li, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki, and A. Morimoto |
|        | 202108 | Association between Encouragement from Primary Care Physicians and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance               | 7th International Conference on Public Health 2021                      | N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki, and A. Morimoto |
| 都筑 千景  | 202201 | Behavioral Changes in Parenting Females- A Longitudinal Study from Four Months to Five Years after Childbirth -                                                                        | 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing | Taeko, Masumoto Chikage, Tsuzuki Kenji, Kato                                                |
|        | 202201 | NJURY PREVENTION PRACTICES OF MOTHERS RAISING 1-YEAR-OLD CHILDREN                                                                                                                      | 6th GNPNN Presidential Speech                                           | MIKA MAKABE, CHIKAGE TSUZUKI, SATOKO OKAWA                                                  |
|        | 202201 | 要支援母親との援助関係構築に向けた保健師研修プログラムの効果の検証                                                                                                                                                      | 第80回日本公衆衛生学会総会                                                          | 佐藤 睦子、都筑千景                                                                                  |
|        | 202112 | 地域・職域連携推進に向けて～地域保健における課題と対策                                                                                                                                                            | 第80回日本公衆衛生学会総会 シンポジウム「地域職域連携推進事業と中小企業の健康経営」                             | 都筑千景                                                                                        |
|        | 202109 | 40代で出産した母親の健康・育児の実態と育児ストレスの関連－3か月から3歳の児を育児する母親の調査より－                                                                                                                                   | 第24回日本地域看護学会学術集会                                                        | 山下典子、都筑千景                                                                                   |
|        | 202109 | 地域包括ケアシステム構築において保健所保健師が行う市町村支援とその意図                                                                                                                                                    | 第24回日本地域看護学会学術集会                                                        | 松島美穂、都筑千景                                                                                   |
|        | 202109 | 中核市における新任プリセプター保健師の経験                                                                                                                                                                  | 第24回日本地域看護学会学術集会                                                        | 藤本公恵、都筑千景                                                                                   |
|        | 202108 | ASSOCIATION BETWEEN HEALTH LITERACY AND CURRENT SMOKING AMONG MIDDLE-AGED JAPANESE EVER-SMOKERS                                                                                        | 7th international conference on public health (ICOPH)                   | M. Li, N. Sonoda, M. Shikama, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki & A. Morimoto    |
|        | 202108 | ASSOCIATION BETWEEN HEALTH LITERACY AND PARTICIPATION IN HEALTH CHECKUPS AMONG MIDDLE-AGED COMMUNITY RESIDENTS WITH NATIONAL HEALTH INSURANCE                                          | 7th international conference on public health (ICOPH)                   | M. Shikama, N. Sonoda, M. Li, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki & A. Morimoto    |
|        | 202108 | ASSOCIATION BETWEEN KNOWLEDGE OF POSTMENOPAUSAL SYMPTOMS AND PARTICIPATION IN HEALTH CHECKUPS AMONG MIDDLE-AGED WOMEN WITH NATIONAL HEALTH INSURANCE                                   | 7th international conference on public health (ICOPH)                   | C. Koh, K. Watanabe, N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, R. Yasumoto, C. Tsuzuki & A. Morimoto    |
|        | 202108 | ASSOCIATION BETWEEN ENCOURAGEMENT FROM PRIMARY CARE PHYSICIANS AND PARTICIPATION IN HEALTH CHECKUPS AMONG MIDDLE-AGED COMMUNITY RESIDENTS WITH NATIONAL HEALTH INSURANCE               | 7th international conference on public health (ICOPH)                   | N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki & A. Morimoto    |
|        | 202108 | ASSOCIATION BETWEEN LIFESTYLE FACTORS AND PARTICIPATION IN HEALTH CHECKUPS AMONG MIDDLE-AGED COMMUNITY RESIDENTS WITH NATIONAL HEALTH INSURANCE                                        | 7th international conference on public health (ICOPH)                   | R. Yasumoto, C. Tsuzuki, N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, C. Koh, K. Watanabe & A. Morimoto    |
| 長畑 多代  | 202108 | Covid-19感染拡大状況下で訪問看護ステーション管理者が感じている高齢者看護における問題                                                                                                                                         | 第26回日本在宅ケア学会学術集会                                                        | 原田かおる、長畑多代                                                                                  |
|        | 202106 | 認知症高齢者ケアにおいて介護職が体験する否定的感情の様相                                                                                                                                                           | 日本老年看護学会第26回学術集会                                                        | 長畑多代、笹谷真由美、澄川幸恵、松田千登勢                                                                       |
|        | 202106 | 老健での医療行為において認知症高齢者のPersonhoodを維持する看護師の思考と行動                                                                                                                                            | 日本老年看護学会第26回学術集会                                                        | 竹田マミ、九津見雅美、長畑多代                                                                             |
| 三輪 恭子  | 202108 | 訪問看護を行う専門看護師・認定看護師による末期心不全高齢者への終末期の療養生活に関する意思決定支援                                                                                                                                      | 第26回日本在宅ケア学会学術集会                                                        | 渡邊まこ、三輪恭子、岡野明美                                                                              |
|        | 202108 | 在宅栄養専門管理栄養士による訪問看護師への食支援に関する学習会の効果                                                                                                                                                     | 第26回日本在宅ケア学会学術集会                                                        | 深山幸織、三輪恭子、時間奈穂子、岡野明美、小泉重紀子                                                                  |
|        | 202106 | まちに飛び出せ！地域創成に専門看護師の力を活かす！（交流集会）                                                                                                                                                        | 第8回日本CNS看護学会                                                            | 藤田 冬子、三輪 恭子、木島 祐子、坂 友紀子、高山 望                                                                |
|        | 202106 | 日本の診療報酬制度－技術評価の中で診療報酬を獲得するために今、そして、今後CNSに必要なこと（政策提言委員会主催交流集会）                                                                                                                          | 第8回日本CNS看護学会                                                            | 伊波 早苗、工藤 順子、岩切 真砂子、三輪 恭子、吉田 智美                                                              |
|        | 202106 | 暮らしと健康を支える健康相談窓口による地域創成に向けた活動の成果と課題                                                                                                                                                    | 日本老年看護学会第26回学術集会                                                        | 藤田冬子、三輪恭子、成田康子、小宮山恵美                                                                        |
| 北村 愛子  | 202112 | 院内急変で集中治療室に入室した患者の家族への看護実践における「怒り」の概念分析                                                                                                                                                | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                        | 小松 あかね、北村 愛子、大江 理英                                                                          |
|        | 202107 | 集中治療室において臨死期にある患者とその家族に対する看護師の環境調整                                                                                                                                                     | 第17回 日本クリティカルケア看護学会                                                     | 齋藤 信介、北村 愛子、大江 理英                                                                           |
|        | 202107 | 集中治療室で生命危機を脱した患者の退室に不安がある家族への情報提供の看護実践                                                                                                                                                 | 第17回 日本クリティカルケア看護学会                                                     | 古知 里美、北村 愛子、大江 理英                                                                           |
|        | 202107 | 重症患者のオーラルマネジメント 口腔ケア実践ガイドの活用と今後の展望                                                                                                                                                     | 第17回 日本クリティカルケア看護学会                                                     | 岸本 裕充（兵庫医科大学病院 歯科口腔外科）、田戸 朝美、門田 耕一、安藤 有子、菊持 雄二、北村 愛子、佐藤 憲明                                  |
| 佐藤 淑子  | 202109 | 感染対策と感染症診療の看護における倫理的課題－感染症看護専門看護師の認識に焦点をあてて－                                                                                                                                           | 第36回 日本環境感染学会総会・学術集会                                                    | 新井まゆ子、佐藤淑子                                                                                  |
| 田中 京子  | 202202 | AYA世代がん患者のACPIに向けたエキスパートナースの実践                                                                                                                                                         | 第36回日本がん看護学会学術集会                                                        | 佐久間博子、鶴田理恵、徳岡良恵、林田裕美、田中京子                                                                   |
|        | 202202 | 在宅終末期がん患者に訪問看護師が行うアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                                     | 第36回日本がん看護学会学術集会                                                        | 日下部聖美、田中京子、林田裕美、徳岡良恵                                                                        |
|        | 202112 | AYA世代がん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                                | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                        | 鶴田理恵、佐久間博子、徳岡良恵、林田裕美、田中京子、高野将宏、古谷 緑、森井淳子、神崎美和、中村由美                                          |
|        | 202112 | 壮年期にあるがん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                               | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                        | 中村由美、森井淳子、神崎美和、古谷 緑、高野将宏、田中京子、林田裕美、徳岡良恵、佐久間博子、鶴田理恵                                          |
|        | 202112 | 老年期にあるがん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                               | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                        | 高野将宏、古谷 緑、神崎美和、中村由美、森井淳子、鶴田理恵、佐久間博子、林田裕美、徳岡良恵、田中 京子                                         |
| 旗持 知恵子 | 202111 | 抗TNF-α抗体療法中のクローン病患者における栄養摂取状況の実態                                                                                                                                                       | 第12回日本炎症性腸疾患学会学術集会                                                      | 乾彰弘、旗持知恵子、南村二美代、中村志郎                                                                        |
|        | 202108 | A Concept Analysis of Help-Seeking in Patients with Heart Failure                                                                                                                      | 58th World Advanced Nursing and Nursing Practice Congress               | Katsuhito Asai, Chieko Hatamochi                                                            |
|        | 202107 | 抗TNF-α交代療法中のクローン病患者における食生活の実態                                                                                                                                                          | 第26回日本難病看護学学術集会                                                         | 乾彰浩、旗持知恵子、南村二美代                                                                             |
|        | 202104 | Work-related and personal Factors Relevant to Never-treated Hypertension Among Japanese Employees with Hypertension                                                                    | 24th East Asian Forum of Nursing Scholars 2021 (Manila)                 | Maiko Shikama, Nao Sonoda, Soichiro Watabnabe, Yuko Ohno, Chieko Hatamochi                  |
|        | 202104 | Work-related, Personal, and Diabetes-related Factors Relevant to Forgetting to Take Oral Diabetes medication and/or Inject Insulin on Work Days among Japanese Employees with Diabetes | 24th East Asian Forum of Nursing Scholars 2021 (Manila)                 | Nao Sonoda, Soichiro Watabnabe, Yuko Ohno, Chieko Hatamochi                                 |

|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                            |                                                                                                                                                           |
|--------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 志田 京子  | 202108 | 再就職看護師の組織社会化に向けた学習尺度の信頼性・妥当性                                                                                                                                                           | 第25回日本看護管理学会学術集会                                                                           | 小西由起子、兼養真紀子、志田京子                                                                                                                                          |
|        | 202108 | 研究成果の発信と倫理―意図せぬ研究不正を防止するために                                                                                                                                                            | 第25回日本看護管理学会学術集会                                                                           | (交流集金企画)林千冬、緒方泰子、朝倉京子、安部陽子、大西麻未、志田京子、中川典子、平木民子、廣島麻摘、山田寛                                                                                                   |
| 杉本 吉恵  | 202109 | 夜間勤務の看護師の腰痛に対する下肢マッサージの効果の検討 腰部脊柱起立筋のEMG動態の変化から                                                                                                                                        | 日本看護技術学会学術集会講演抄録集                                                                          | 関 恵子、西岡 靖貴、伊丹 琢、杉本 吉恵、相原 ひろみ                                                                                                                              |
|        | 202104 | Work-related, Personal, and Diabetes-related Factors Relevant to Forgetting to Take Oral Diabetes Medication and/or Inject Insulin on Work Days among Japanese Employees with Diabetes | 24nd East Asian Forum of Nursing Scholars                                                  | Nao Sonoda1, Soichiro Watanabe, Yuko Ohno, Chieko Hatamochi, Yoshie Sugimoto, Satoko Okawa, Maiko Shikama, Meng Li, Akiko Morimoto                        |
|        | 202104 | Work-related and Personal Factors Relevant to Never-treated Hypertension Among Japanese Employees with Hypertension                                                                    | 24nd East Asian Forum of Nursing Scholars                                                  | Maiko Shikama, Nao Sonoda, Soichiro Watanabe, Yuko Ohno, Chieko Hatamochi, Yoshie Sugimoto, Satoko Okawa, Meng Li, Akiko Morimoto                         |
|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                            |                                                                                                                                                           |
| 細田 泰子  | 202203 | ラサター臨床判断ルーブリック日本語版のレーターを対象とした活用に関する質的分析                                                                                                                                                | 第32回日本医学看護学教育学会学術学会                                                                        | 片山由加里、北島洋子、根岸まゆみ、細田泰子、赤崎英美、土肥美子、Kathie Lasater, Ann Nielsen                                                                                               |
|        | 202203 | 教育指導者の被援助志向性と職場におけるソーシャルサポートの関連                                                                                                                                                        | 第32回日本医学看護学教育学会学術学会                                                                        | 土肥美子、細田泰子、勝山愛、片山由加里、根岸まゆみ、北島洋子、金山悠                                                                                                                        |
|        | 202203 | 教育指導者が指導した看護学習者の臨床判断能力とその支援の必要性の検討                                                                                                                                                     | 第32回日本医学看護学教育学会学術学会                                                                        | 細田泰子、勝山愛、金山悠、北島洋子、根岸まゆみ、片山由加里、土肥美子                                                                                                                        |
|        | 202112 | 看護師のナレッジプログラミングの構成要素                                                                                                                                                                   | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                                           | 赤崎英美、細田泰子                                                                                                                                                 |
|        | 202112 | Exploring the usefulness of the Lasater Clinical Judgment Rubric – Japanese Version                                                                                                    | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                                           | Mayumi Negishi, Yukari Katayama, Yoko Kitajima, Yasuko Hosoda, Fumi Akasaki, Yoshiko Doi, Kathie Lasater, Ann Nielsen                                     |
|        | 202112 | 教育指導者のバウンダリーレスな学びの効果と課題：施設外学習に着目して                                                                                                                                                     | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                                           | 細田泰子、根岸まゆみ、土肥美子、片山由加里、北島洋子、長野弥生                                                                                                                           |
|        | 202112 | 看護実践における新人看護師のモデリングが職場適応に及ぼす影響の探索                                                                                                                                                      | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                                           | 長野弥生、細田泰子                                                                                                                                                 |
|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                            |                                                                                                                                                           |
|        | 202111 | 教育指導担当者への教育支援プログラムの評価―経時の変化の分析を通して―                                                                                                                                                    | 第52回日本看護学会学術集会                                                                             | 中山由美、神戸美輪子、下村陽一、細田泰子、長山秀子、伊地知仁美、安田照美、谷田由紀子                                                                                                                |
|        | 202111 | Reliability and validity of the Engagement in Learning Activities Scale for Newly Graduated Nurses                                                                                     | International Council of Nurses 2021 Congress                                              | Ai Katsuyama, Yasuko Hosoda                                                                                                                               |
|        | 202111 | Development and testing of the Work-Family Enrichment Scale for Parenting Nurses                                                                                                       | International Council of Nurses 2021 Congress                                              | Toshimi Kawakita, Yasuko Hosoda                                                                                                                           |
|        | 202111 | Development and testing of the Scale for Novice Nurses' Modeling in Nursing Practice                                                                                                   | International Council of Nurses 2021 Congress                                              | Yayoi Nagano, Yasuko Hosoda                                                                                                                               |
|        | 202111 | Effects and challenges of educational instructors' learning opportunities in a facility                                                                                                | International Council of Nurses 2021 Congress                                              | Mayumi Negishi, Yasuko Hosoda, Yayoi Nagano, Yoko Kitajima, Yukari Katayama, Yoshiko Doi                                                                  |
|        | 202108 | コンピテントナースの看護実践におけるアンラーニングの過程                                                                                                                                                           | 日本看護学教育学会第31回学術集会                                                                          | 米田真央、細田泰子、紙野雪香                                                                                                                                            |
| 森本 明子  | 202112 | 母乳育児の継続または終了に関する母親の情報ニーズ：1歳6か月健診における実態調査                                                                                                                                               | 第80回日本公衆衛生学会総会                                                                             | 林里沙子、園田奈央、森本明子                                                                                                                                            |
|        | 202112 | PPDACサイクルを活用した特定健診受診率向上のための取組み：実践報告 第1報                                                                                                                                                | 第80回日本公衆衛生学会総会                                                                             | 森本明子、園田奈央                                                                                                                                                 |
|        | 202112 | 論理的及び情緒的アプローチによる特定健診受診勧奨資材の開発：実践報告 第2報                                                                                                                                                 | 第80回日本公衆衛生学会総会                                                                             | 園田奈央、森本明子                                                                                                                                                 |
|        | 202111 | 中高年女性における閉経後の生活習慣病に関連する症状についての知識：年齢階級別の検討                                                                                                                                              | 第36回日本女性医学学会学術集会                                                                           | 高知恵、渡邊香織、園田奈央、森本明子                                                                                                                                        |
|        | 202111 | Delivery periods by nationality among pregnant Asian women residing in Japan                                                                                                           | 第36回日本国際保健医療学会学術集会                                                                         | Koh C, Chiba T, Yoshida R, Kato M, Mori M, Yamada K, Furuyama M, Nakajima Y, Saho M, Morimoto A, Watanabe K.                                              |
|        | 202108 | Association between knowledge of postmenopausal symptoms and participation in health checkups among middle-aged women with national health insurance                                   | 7th International Conference on Public Health 2021                                         | Koh C, Watanabe K, Sonoda N, Shikama M, Li M, Yasumoto R, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                           |
|        | 202108 | Association between health literacy and current smoking among middle-aged Japanese ever-smokers                                                                                        | 7th International Conference on Public Health 2021                                         | Li M, Sonoda N, Shikama M, Koh C, Yasumoto R, Watanabe K, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                           |
|        | 202108 | Association between health literacy and participation in health checkups among middle-aged community residents with national health insurance                                          | 7th International Conference on Public Health 2021                                         | Shikama M, Sonoda N, Li M, Koh C, Yasumoto R, Watanabe K, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                           |
|        | 202108 | Association between encouragement from primary care physicians and participation in health checkups among middle-aged community residents with national health insurance               | 7th International Conference on Public Health 2021                                         | Sonoda N, Shikama M, Li M, Koh C, Yasumoto R, Watanabe K, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                           |
|        | 202108 | Association between lifestyle factors and participation in health checkups among middle-aged community residents with national health insurance                                        | 7th International Conference on Public Health 2021                                         | Yasumoto R, Tsuzuki C, Sonoda N, Shikama M, Li M, Koh C, Watanabe K, Morimoto A                                                                           |
|        | 202104 | Work-related, Personal, and Diabetes-related Factors Relevant to Forgetting to Take Oral Diabetes Medication and/or Inject Insulin on Work Days among Japanese Employees with Diabetes | 24th East Asian Forum of Nursing Scholars                                                  | Sonoda N, Watanabe S, Ohno Y, Hatamochi C, Sugimoto Y, Okawa S, Shikama M, Li M, Morimoto A                                                               |
|        | 202104 | Work-related and Personal Factors Relevant to Never-treated Hypertension among Japanese Employees with Hypertension                                                                    | 24th East Asian Forum of Nursing Scholars                                                  | Shikama M, Sonoda N, Watanabe S, Ohno Y, Hatamochi C, Sugimoto Y, Okawa S, Li M, Morimoto A                                                               |
|        | 202104 | High fasting blood glucose level increase risk of hypertension incidence independent insulin resistance in Japanese: The Saku study                                                    | European Society of Hypertension (ESH) and the International Society of Hypertension (ISH) | Tatsumi Y, Asayama K, Morimoto A, Satoh M, Sonoda N, Mmatu N, Ohno Y, Miyamoto Y, Izawa S, Ohkubo T                                                       |
|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                            |                                                                                                                                                           |
| 佐保 美奈子 | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在留外国人妊産婦の妊娠期指標の実態                                                                                                                                               | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 加藤美里、高知恵、森真穂、吉田涼子、千葉貴子、中嶋有加里、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202111 | HIVサポートリーダー養成研修 10年間の成果と展望                                                                                                                                                             | 第34回日本エイズ学会学術集会                                                                            | 佐保美奈子、古山美穂、高知恵、山田加奈子、工藤里香、立花久裕、豊島裕子、大野典子、白飯琢磨                                                                                                             |
|        | 202104 | SNSを利用する「今どき」高校生に合わせた「おつきあいマナーかるた」改訂版を利用したワークショップの実践とその効果                                                                                                                              | 高知恵、佐保美奈子、古山美穂、山田加奈子                                                                       | 思春期学会 雑誌                                                                                                                                                  |
| 中嶋 有加里 | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在留外国人妊婦の国籍・出身地別の妊娠期指標の実態                                                                                                                                        | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 高知恵、千葉貴子、吉田涼子、加藤美里、森真穂、中嶋有加里、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在留外国人妊産婦の妊娠期指標の実態                                                                                                                                               | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 加藤美里、高知恵、森真穂、吉田涼子、千葉貴子、中嶋有加里、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在留外国人妊産婦の新生児指標の実態                                                                                                                                               | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 森真穂、高知恵、吉田涼子、加藤美里、千葉貴子、中嶋有加里、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202111 | Delivery periods by nationality among pregnant Asian women residing in Japan                                                                                                           | 第36回日本国際保健医療学会学術集会                                                                         | Chie Koh, Takako Chiba, Ryoko Yoshida, Misato Kato, Maho Mori, Kanako Yamada, Miho Furuyama, Yukari Nakajima, Minako Saho, Akiko Morimoto, Kaori Watanabe |
| 古山 美穂  | 202203 | Current Status of Behavior Knowledge and Influencing Factors of HPV Vaccination among Female University Students in Japan                                                              | 2022 25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference                                  | C.Koh,T.Hina,K.Watanabe,M.Saho,Y.Nakajima,M.Furuyama,K.Yamada and Y.Nakai                                                                                 |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在留外国人妊産婦の妊娠期指標の実態                                                                                                                                               | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 加藤美里、高知恵、森真穂、吉田涼子、千葉貴子、中嶋有加里、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |

|        |        |                                                                                                                                                                          |                                                            |                                                                                                                                                 |
|--------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在留外国人妊産婦の新生児指標の実態                                                                                                                                 | 第36回日本助産学会学術集会                                             | 森真穂、高知恵、吉田涼子、加藤美里、千葉貴子、中嶋有加里、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                              |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在留外国人の国籍・出身地別の妊娠期指標の実態                                                                                                                            | 第36回日本助産学会学術集会                                             | 高知恵、千葉貴子、吉田涼子、加藤美里、森真穂、中嶋有加里、山田加奈子、古山美穂、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                              |
|        | 202111 | 総合周産期母子医療センターで出生したアジア系在住外国人妊産婦の国籍・出身地別の分娩期に関連する指標の実態                                                                                                                     | 第36回日本国際保健医療学会学術集会                                         | Chie Koh,Takako Chiba,Ryoko Yoshida,Misato Kato,Maho Mori,Kanako Yamada,Miho Furuyama,Yukari Nakajima,Minako Saho,Akiko Morimoto,Kaori Watanabe |
|        | 202110 | 月閉経期の女性の避妊行動に対する関連要因についての文献検討                                                                                                                                            | 第62回日本母性衛生学会学術集会                                           | 三浦恭子、渡邊香織、古山美穂                                                                                                                                  |
|        | 202110 | 乳幼児のこたばの発達を促す子育て支援講座の評価                                                                                                                                                  | 第62回日本母性衛生学会学術集会                                           | 古山美穂                                                                                                                                            |
|        | 202106 | 要支援児童を疑う子どもへの多職種連携の実態                                                                                                                                                    | 第68回近畿学校保健学会                                               | 古山美穂                                                                                                                                            |
| 岡野 明美  | 202201 | 委託型地域包括支援センターに地区診断を導入するために取り組んだ研修に対する研修主催保健師が捉えた評価                                                                                                                       | 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会                                         | 岡野 明美                                                                                                                                           |
|        | 202201 | つながろう! 地域包括支援センター保健師職へコロナに負けない! 地域における工夫を通して～                                                                                                                            | 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会                                         | 保母恵、岡野明美、古賀佳代子、藤本公恵、小林 奈緒子、志村いつみ、曾我智子、永井潤子、森永朋子                                                                                                 |
|        | 202201 | Efforts to introduce district diagnosis to the trust type community general support centers: an action research case                                                     | 6th Global Network of Public Health Nursing                | 岡野 明美                                                                                                                                           |
|        | 202109 | 委託型地域包括支援センターの地区診断研修の成果と課題                                                                                                                                               | 第24回地域看護学会学術集会                                             | 岡野 明美                                                                                                                                           |
|        | 202109 | 認知症高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センター保健師の役割                                                                                                                                          | 第24回地域看護学会学術集会                                             | 古賀佳代子、岡野明美、曾我智子、小林奈緒子、保母恵、永井潤子                                                                                                                  |
|        | 202108 | 訪問看護を行う専門看護師・認定看護師による末期不全高齢者への終末期の療養生活に関する意思決定支援                                                                                                                         | 第26回日本在宅ケア学会学術集会                                           | 渡邊まこ、三輪恭子、岡野明美                                                                                                                                  |
|        | 202108 | 在宅栄養専門管理栄養士による訪問看護師への食支援に関する学習会の効果                                                                                                                                       | 第26回日本在宅ケア学会学術集会                                           | 深山華織、三輪恭子、時間奈穂子、岡野明美、小泉重紀子                                                                                                                      |
|        | 202108 | 自傷行動を有する自閉スペクトラム症児の常同行動の改善 学校における積極的行動支援の取組みによる一事例から                                                                                                                     | 第19回日本自閉症スペクトラム学会                                          | 谷浩一、奥野裕子、藤原義博、高木幸子、酒井佐枝子                                                                                                                        |
| 九津見 雅美 | 202112 | レビー小体型認知症サポートネットワーク兵庫のコロナ禍におけるオンライン交流会                                                                                                                                   | 第80回日本公衆衛生学会総会                                             | 九津見雅美 柴田真志                                                                                                                                      |
|        | 202111 | Needs of caregivers and people with Lewy body dementia: An interview study                                                                                               | ICN Congress                                               | Masami Kutsumi, Yasuko Kato                                                                                                                     |
| 林田 裕美  | 202202 | AYA世代がん患者のACPIに向けたエキスパートナースの実践                                                                                                                                           | 第36回日本がん看護学会学術集会                                           | 佐久間博子、鶴田理恵、徳岡良恵、林田裕美、田中京子                                                                                                                       |
|        | 202202 | 在宅終末期がん患者に訪問看護師が行うアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                       | 第36回日本がん看護学会学術集会                                           | 日下部聖美、田中京子、林田裕美、徳岡良恵                                                                                                                            |
|        | 202112 | AYA世代がん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                  | 第41回日本看護科学学会学術集会                                           | 鶴田理恵、佐久間博子、徳岡良恵、林田裕美、田中京子、高野将宏、古谷緑、森井淳子、神崎美和、中村由美                                                                                               |
|        | 202112 | 壮年期にあるがん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                 | 第41回日本看護科学学会学術集会                                           | 中村由美、森井淳子、神崎美和、古谷緑、高野将宏、田中京子、林田裕美、徳岡良恵、佐久間博子、鶴田理恵                                                                                               |
|        | 202112 | 老年期にあるがん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                 | 第41回日本看護科学学会学術集会                                           | 高野将宏、古谷緑、神崎美和、中村由美、森井淳子、鶴田理恵、佐久間博子、林田裕美、徳岡良恵、田中 京子                                                                                              |
| 南村 二美代 | 202111 | 抗TNF-α抗体療法中のクローン病患者における栄養摂取状況の実態                                                                                                                                         | 第12回日本炎症性腸疾患学会学術集会                                         | 乾彰弘、旗持知恵子、南村二美代、中村志郎                                                                                                                            |
|        | 202108 | 慢性看護学の知の創出への道 オンライン投稿へのすすめ「論文を投稿しよう!」                                                                                                                                    | 日本慢性看護学会誌                                                  | 森本 美智子、下村 晃子、田中 真琴、柴山 大賀、住谷 ゆかり、田中 孝美、布谷 麻耶、本庄 恵子、落合 亮太、南村 二美代、森 菊子、旗持 知恵子                                                                      |
|        | 202107 | 抗TNF-α抗体療法中のクローン病患者における食生活の実態                                                                                                                                            | 第26回日本難病看護学会学術集会                                           | 乾彰弘、旗持知恵子、南村二美代                                                                                                                                 |
| 相原 ひろみ | 202109 | 夜間勤務の看護師の腰痛に対する下肢マッサージの効果の検討 腰部脊柱起立筋のEMG活動の変化から                                                                                                                          | 日本看護技術学会学術集会講演抄録集                                          | 関 恵子、西岡 靖貴、伊丹 琢、杉本 吉恵、相原 ひろみ                                                                                                                    |
|        | 202105 | 交流集会:COVID19によって研究はどう変わるのか-時勢を鑑みた安全な研究のあかた-進め方-                                                                                                                          | 日本看護倫理学会第14回年次大会                                           | 久間朝子、竹ノ内紗弥香、ウィリアムソン彰子、相原ひろみ、寺岡征太郎、北村愛子                                                                                                          |
| 益 加代子  | 202108 | 経済連携協定(EPA)により来日したインドネシア人看護師が就労する職場における日本人スタッフの文化変容                                                                                                                      | 第25回日本看護管理学会学術集会                                           | 益加代子、林千冬                                                                                                                                        |
| 紙野 雪香  | 202108 | コンピテントナースの看護実践におけるアンラーニングの過程                                                                                                                                             | 日本看護学教育学会第31回学術集会                                          | 米田真央、細田奈子、紙野雪香                                                                                                                                  |
|        | 202108 | ナラティブアプローチ実践者育成プログラムを受けた訪問看護師の成果                                                                                                                                         | 日本看護学教育学会第31回学術集会                                          | 福田敦子、紙野雪香、高橋清子、大関和子                                                                                                                             |
| 園田 奈央  | 202112 | 母乳育児の継続または終了に関する母親の情報ニーズ:1歳6か月健診における実態調査                                                                                                                                 | 第80回日本公衆衛生学会総会                                             | 林里沙子、園田奈央、森本明子                                                                                                                                  |
|        | 202112 | PPDACサイクルを活用した特定健診受診率向上のための取組み:実践報告 第1報                                                                                                                                  | 第80回日本公衆衛生学会総会                                             | 森本明子、園田奈央                                                                                                                                       |
|        | 202112 | 論理的及び情緒的アプローチによる特定健診受診勧奨資料の開発:実践報告 第2報                                                                                                                                   | 第80回日本公衆衛生学会総会                                             | 園田奈央、森本明子                                                                                                                                       |
|        | 202111 | 中高年女性における閉経後の生活習慣病に関連する 症状についての知識:年齢階級別の検討                                                                                                                               | 第36回日本女性医学学会学術集会                                           | 高知恵、渡邊香織、園田奈央、森本明子                                                                                                                              |
|        | 202108 | Association between encouragement from primary care physicians and participation in health checkups among middle-aged community residents with National Health Insurance | 7th International Conference on Public Health 2021 (ICPOH) | Sonoda N, Shikama M, Li M, Koh C, Yasumoto R, Watanabe K, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                 |
|        | 202108 | Association between health literacy and current smoking among middle-aged Japanese ever-smokers                                                                          | 7th International Conference on Public Health 2021 (ICPOH) | Li M, Sonoda N, Shikama M, Koh C, Yasumoto R, Watanabe K, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                 |
|        | 202108 | Association between knowledge of postmenopausal symptoms and participation in health checkups among middle-aged women with National Health Insurance                     | 7th International Conference on Public Health 2021 (ICPOH) | Koh C, Watanabe K, Sonoda N, Shikama M, Li M, Yasumoto R, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                 |
|        | 202108 | Association between lifestyle factors and participation in health checkups among middle-aged community residents with National Health Insurance                          | 7th International Conference on Public Health 2021 (ICPOH) | Yasumoto R, Tsuzuki C, Sonoda N, Shikama M, Li M, Koh C, Watanabe K, Morimoto A                                                                 |
|        | 202108 | Association between health literacy and participation in health checkups among middle-aged community residents with National Health Insurance                            | 7th International Conference on Public Health 2021 (ICPOH) | Shikama M, Sonoda N, Li M, Koh C, Yasumoto R, Watanabe K, Tsuzuki C, Morimoto A                                                                 |
|        | 202104 | Work-related and personal factors relevant to never-treated hypertension among Japanese employees with hypertension                                                      | 24nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)         | Shikama M, Sonoda N, Watanabe S, Ohno Y, Hatamochi C, Sugimoto Y, Okawa S, Li M, Morimoto A                                                     |

|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                            |                                                                                                                                                           |
|--------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        | 202104 | Work-related, personal, and diabetes-related factors relevant to forgetting to take oral diabetes medication and/or inject insulin on work days among Japanese employees with diabetes | 24nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)                                         | Sonoda N, Watanabe S, Ohno Y, Hatamochi C, Sugimoto Y, Okawa S, Shikama M, Li M, Morimoto A                                                               |
|        | 202104 | High fasting blood glucose level increase risk of hypertension incidence independent insulin resistance in Japanese: The Saku study                                                    | European Society of Hypertension (ESH) and the International Society of Hypertension (ISH) | Tatsumi Y, Asayama K, Morimoto A, Satoh M, Sonoda N, Mmatsu N, Ohno Y, Miyamoto Y, Izawa S, Ohkubo T                                                      |
| 井上 敦子  | 202110 | 【実践促進委員会企画】<br>家族支援の困難面を読み解く！～家族システムの視点から支援の糸口を見出す～                                                                                                                                    | 日本家族看護学会第28回学術集会                                                                           | 児玉久仁子、井上敦子、櫻井大輔、浅井桃子、井上玲子、藤原真弓、志村友理                                                                                                                       |
|        | 202106 | Family Stress in Childcare Under the Spread of COVID-19 Infection in Japan :Perceptions of Mothers                                                                                     | The 15th International Family Nursing Conference                                           | A. Inoue, Y. Agawa, M.Nakayama                                                                                                                            |
|        | 202106 | Family Stress in Childcare Under the Spread of COVID-19 Infection in Japan :Perceptions of Fathers                                                                                     | The 15th International Family Nursing Conference                                           | Y. Agawa, A. Inoue, M.Nakayama                                                                                                                            |
|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                            |                                                                                                                                                           |
| 高 知恵   | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出産したアジア系在留外国人妊産婦の新生児指標の実態                                                                                                                                               | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 森真穂、高知恵、吉田涼子、加藤美里、千葉貴子、山田加奈子、古山美穂、中嶋有加里、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出産したアジア系在留外国人妊産婦の妊娠指標の実態                                                                                                                                                | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 加藤美里、高知恵、森真穂、吉田涼子、千葉貴子、山田加奈子、古山美穂、中嶋有加里、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出産したアジア系在留外国人妊婦の国籍・出身地別の妊娠指標の実態                                                                                                                                         | 第36回日本助産学会学術集会                                                                             | 高知恵、千葉貴子、吉田涼子、加藤美里、森真穂、山田加奈子、古山美穂、中嶋有加里、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202112 | 更年期症状による受診の有無に関連する要因と看護支援についての文献検討                                                                                                                                                     | 第60回大阪母性衛生学会学術集会                                                                           | 西本真子、田中里奈、中野萱、高知恵                                                                                                                                         |
|        | 202111 | Difficulties with pregnancy, childbirth, puerperium, and child care among Korean mothers residing in Japan (zainichi Korean mothers) and how they deal with them                       | International Conference of Nurses 2021 Congress                                           | Chie Koh, Ruruko Miyashita                                                                                                                                |
|        | 202111 | 中高年女性における閉経後の生活習慣病に関連する症状についての知識：年齢階級別の検討                                                                                                                                              | 第36回日本女性医学学会学術集会                                                                           | 高知恵、渡邊香織、園田奈央、森本明子                                                                                                                                        |
|        | 202111 | Delivery periods by nationality among pregnant Asian women residing in Japan                                                                                                           | The 36th Congress of Japan Association for International Health                            | Chie Koh, Takako Chiba, Ryoko Yoshida, Misato Kato, Maho Mori, Kanako Yamada, Miho Furuyama, Yukari Nakajima, Minako Saho, Akiko Morimoto, Kaori Watanabe |
|        | 202108 | Association between Knowledge of Postmenopausal Symptoms and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Women with National Health Insurance                                   | International Conference on Public Health ICOPH 2021                                       | Chie Koh, Kaori Watanabe, Nao Sonoda, Maiko Shikama, Meng Li, Risa Yasumoto, Chikage Tsuzuki, Akiko Morimoto                                              |
|        | 202108 | Association between Lifestyle Factors and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance                                        | International Conference on Public Health ICOPH 2021                                       | Risa Yasumoto, Chikage Tsuzuki, Nao Sonoda, Maiko Shikama, Meng Li, Chie Koh, Kaori Watanabe, Akiko Morimoto                                              |
|        | 202108 | Association between Health Literacy and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance                                          | International Conference on Public Health ICOPH 2021                                       | Maiko Shikama, Nao Sonoda, Meng Li, Chie Koh, Risa Yasumoto, Kaori Watanabe, Chikage Tsuzuki, Akiko Morimoto                                              |
|        | 202108 | Association between Encouragement from Primary Care Physicians and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance               | International Conference on Public Health ICOPH 2021                                       | Nao Sonoda, Maiko Shikama, Meng Li, Chie Koh, Risa Yasumoto, Kaori Watanabe, Chikage Tsuzuki, Akiko Morimoto                                              |
|        | 202108 | Association between Health Literacy and Current Smoking among Middle-Aged Japanese Ever-Smokers                                                                                        | International Conference on Public Health ICOPH 2021                                       | Meng Li, Nao Sonoda, Maiko Shikama, Chie Koh, Risa Yasumoto, Kaori Watanabe, Chikage Tsuzuki, Akiko Morimoto                                              |
| 山田 加奈子 | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出産した在住外国人妊婦の国籍・出身地別の妊娠指標に関連する指標の実態                                                                                                                                      | 第36回日本助産学会 学術集会                                                                            | 高知恵、千葉貴子、吉田涼子、加藤美里、森真穂、山田加奈子、古山美穂、中嶋有加里、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出産した在住外国人妊産婦の新生児に関連する指標の実態                                                                                                                                              | 第36回日本助産学会 学術集会                                                                            | 森真穂、高知恵、吉田涼子、加藤美里、千葉貴子、山田加奈子、古山美穂、中嶋有加里、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202203 | A総合周産期母子医療センターで出産した在住外国人妊産婦の妊娠指標に関連する指標の実態                                                                                                                                             | 第36回日本助産学会 学術集会                                                                            | 加藤美里、高知恵、森真穂、吉田涼子、千葉貴子、山田加奈子、古山美穂、中嶋有加里、佐保美奈子、渡邊香織                                                                                                        |
|        | 202111 | Delivery periods by nationality among pregnant Asian women residing in Japan                                                                                                           | 第36回日本国際保健医療学会学術大会                                                                         | Chie Koh, Takako Chiba, Ryoko Yoshida, Misato Kato, Maho Mori, Kanako Yamada, Miho Furuyama, Yukari Nakajima, Minako Saho, Akiko Morimoto, Kaori Watanabe |
|        | 202110 | 妊娠糖尿病既往女性における産後の耐糖能検査未受診者の2型糖尿病発症リスクの検討                                                                                                                                                | 第62回日本母性衛生学会学術集会                                                                           | 山田加奈子、大橋一友、井口亜由、萩田和秀、武石千鶴子、堀大蔵、佐藤雄一、古賀由紀                                                                                                                  |
| 大野 志保  | 202109 | チーム学校の視点から組織としての心理的支援を考える(2)                                                                                                                                                           | 日本学校心理学会第23回福岡大会                                                                           | 大野志保、柴田一匡、大山卓、水野康樹、窪田由紀                                                                                                                                   |
| 根来 佐由美 | 202201 | 孫育てに対する祖父母の思いと孫育てが祖父母に及ぼす影響に関する文献的考察                                                                                                                                                   | 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会                                                                         | 大濱麻莉、根来佐由美                                                                                                                                                |
|        | 202201 | Social Relationships of Older People Belong to Nonprofit Organizations Based on Neighborhood Associations                                                                              | 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing                    | Sayumi Negoro                                                                                                                                             |
| 深山 華織  | 202112 | 就労介護者の仕事と家庭役割間の葛藤とケアマネジャーによる就労継続支援の判断との関連                                                                                                                                              | 第41回 日本看護科学学会学術集会                                                                          | 深山華織、河野あゆみ                                                                                                                                                |
|        | 202108 | 在宅栄養専門管理栄養士による訪問看護師への食支援に関する学習会の効果                                                                                                                                                     | 第26回 日本在宅ケア学会学術集会                                                                          | 深山華織、三輪恭子、時間奈穂子、岡野明美、小泉重紀子                                                                                                                                |
| 安本 理抄  | 202109 | 地域包括ケアシステム構築において保健所保健師が行う市町村支援とその意図                                                                                                                                                    | 第23回日本地域看護学会学術集会                                                                           | 松島美穂、都筑千景、大川聡子、安本理抄                                                                                                                                       |
|        | 202108 | Association between Encouragement from Primary Care Physicians and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance               | The 7th International Conference on Public Health 2021                                     | N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki, and A. Morimoto                                                               |
|        | 202108 | Association between Health Literacy and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance                                          | The 7th International Conference on Public Health 2021                                     | M. Shikama, N. Sonoda, M. Li, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki, and A. Morimoto                                                               |
|        | 202108 | Association between Health Literacy and Current Smoking among Middle-Aged Japanese Ever-Smokers                                                                                        | The 7th International Conference on Public Health 2021                                     | M. Li, N. Sonoda, M. Shikama, C. Koh, R. Yasumoto, K. Watanabe, C. Tsuzuki, and A. Morimoto                                                               |
|        | 202108 | Association between Knowledge of Postmenopausal Symptoms and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Women with National Health Insurance                                   | The 7th International Conference on Public Health 2021                                     | C. Koh, K. Watanabe, N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, R. Yasumoto, C. Tsuzuki, and A. Morimoto                                                               |
|        | 202108 | Association between Lifestyle Factors and Participation in Health Checkups among Middle-Aged Community Residents with National Health Insurance                                        | The 7th International Conference on Public Health 2021                                     | R. Yasumoto, C. Tsuzuki, N. Sonoda, M. Shikama, M. Li, C. Koh, K. Watanabe, and A. Morimoto                                                               |
|        |        |                                                                                                                                                                                        |                                                                                            |                                                                                                                                                           |
| 徳岡 良恵  | 202202 | 在宅終末期がん患者に訪問看護師が行うアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                                     | 第36回日本がん看護学会学術集会                                                                           | 日下部聖美、田中京子、林田裕美、徳岡良恵                                                                                                                                      |
|        | 202202 | AYA世代がん患者のACPIに向けたエキスパートナースの実践                                                                                                                                                         | 第36回日本がん看護学会学術集会                                                                           | 佐久間博子、鶴田理恵、徳岡良恵、林田裕美、田中京子                                                                                                                                 |
|        | 202112 | 壮年期にあるがん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                               | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                                           | 中村由美、森井淳子、神崎美和、古谷緑、高野将宏、田中京子、林田裕美、徳岡良恵、佐久間博子、鶴田理恵                                                                                                         |
|        | 202112 | AYA世代がん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                                | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                                           | 鶴田理恵、佐久間博子、徳岡良恵、林田裕美、田中京子、高野将宏、古谷緑、森井淳子、神崎美和、中村由美                                                                                                         |
|        | 202112 | 老年期にあるがん患者へのエキスパートナースによるアドバンスケアプランニングの実践                                                                                                                                               | 第41回日本看護科学学会学術集会                                                                           | 高野将宏、古谷緑、神崎美和、中村由美、森井淳子、鶴田理恵、佐久間博子、林田裕美、徳岡良恵、田中京子                                                                                                         |



|       |        |                                          |                        |                                                 |
|-------|--------|------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------------|
| 喜田 雅彦 | 202109 | 重症新型コロナウイルス感染症患者のケアを行ったICU看護師のストレス要因     | 日本集中治療医学会雑誌            | 大伏 亜紀、喜田 雅彦、岩崎 瑞穂、内藤 亜紀、神山 剛諭、道味 久弥、中川 淳一郎、中横 悟 |
|       | 202109 | 独立型救命救急センターにおける重症新型コロナウイルス感染症患者受け入れ体制の報告 | 日本環境感染学会総会プログラム・抄録集    | 岩崎 瑞穂、大伏 亜紀、内藤 亜紀、神山 剛諭、喜田 雅彦                   |
|       | 202109 | 独立型救命救急センターにおける重症新型コロナウイルス感染症患者受け入れ体制の報告 | 第36回日本環境感染学会総会         | 岩崎瑞穂、大伏亜紀、内藤亜紀、神山剛諭、喜田雅彦                        |
|       | 202107 | 退院後の患者との面接を経験したICU看護師のPICS予防に対する意識調査     | 第17回日本クリティカルケア看護学会学術集会 | 梅原和美、水野奈美、山崎亜紀、喜田雅彦、富岡小百合                       |

4) 講演会・シンポジウム・研修会等の講演

| 名 前    | 講演会・シンポジウム・研修会等の講演                    |  | 題 名                                                        | 会 場 等                     | 講 演 年 月 日                | 参加人数<br>(人) |
|--------|---------------------------------------|--|------------------------------------------------------------|---------------------------|--------------------------|-------------|
| 楢木野 裕美 | 看護研究研修                                |  | 看護研究発表                                                     | 滋賀県立小児保健医療センター            | 2022年1月28日               | 100         |
|        | 看護研究研修                                |  | ケーススタディを事例研究に発展させるための手法                                    | 大阪国際がんセンター                | 2021年12月3日               | 不明          |
|        | 看護研究研修                                |  | 看護研究の進め方 3―研究デザインからデータ収集、成果発表まで―                           | 大阪母子医療センター                | 2021年7月27日               | 15          |
|        | 看護研究研修                                |  | 看護研究の進め方 2―研究デザインからデータ収集、成果発表まで―                           | 大阪母子医療センター                | 2021年7月7日                | 15          |
|        | 看護研究研修                                |  | 看護研究の進め方 1―研究デザインからデータ収集、成果発表まで―                           | 大阪母子医療センター                | 2021年6月23日               | 15          |
| 都筑 千景  | 神奈川県厚木市地域包括ケア推進課 地域診断研修               |  | 第1回地域診断研修会「地域診断の手法を学ぶ」<br>第2回地域診断研修会「各センターの取り組み発表とグループワーク」 | オンライン開催                   | 2021年8月6日<br>2022年2月16日  | 各19         |
|        | 全国保健師教育協議会 東海・近畿北ブロック、北陸・近畿南ブロック合同研修会 |  | 「地域診断から事業計画、計画策定につなげるための教育」                                | オンライン開催                   | 2021年12月25日              | 19          |
|        | 大阪市 区役所実務者、在宅医療・介護連携支援コーディネーター合同研修会   |  | 「地域診断～地域の強みを見える化しよう～」                                      | 浪速区民センター ホール              | 2021年11月5日               | 70          |
| 富川 順子  | 精神看護オンライン研修                           |  | 事例研究をしよう                                                   | オンライン研修                   | 2022年1月28日               | 10          |
|        | 大阪府看護協会研修                             |  | 看護倫理、看護師のストレスマネジメント                                        | ナーシングアート大阪                | 2021年11月1日               | 80          |
|        | 茨木病院看護部研修                             |  | セルフケア理論と看護過程                                               | 茨木病院                      | 2021年10月25日              | 15          |
|        | 精神看護オンライン研修                           |  | セルフケア理論を基にした 精神看護の過程                                       | オンライン研修                   | 2021年10月15日              | 15          |
| 長畑 多代  | 第6回 CareTex大阪'21 専門セミナー               |  | 生活の場である高齢者施設におけるよりよい看取りとは―それぞれの専門性を活かした介護・看護の連携と協働―        | インテックス大阪                  | 10月29日                   | 50          |
| 三輪 恭子  | アイルほーむけあクリニック研修会                      |  | 在宅療養移行における多職種協働と食支援                                        | LICはびきの                   | 2021年12月17日              | 70          |
|        | 宮崎県看護協会研修                             |  | 暮らしにつながる看護～病棟看護師がおこなう入退院支援                                 | オンライン                     | 2021年9月17・18日            | 100         |
|        | 南河内食のネットワーク研修会                        |  | いのちと暮らしを輝かす！ 入退院時の食支援における多職種協働                             | オンライン                     | 2021年8月21日               | 80          |
|        | 愛媛県看護協会研修                             |  | スタッフナースが取り組む入退院支援                                          | オンライン                     | 2021年8月4日                | 100         |
| 北村 愛子  | 日本集中治療医学会臨床倫理教育講座                     |  | 急性期医療の終末期における緩和医療（ケア）                                      | オンライン                     | 2022年2月19日               | 100         |
| 旗持 知恵子 | 第18回日本循環器看護学会学術集会教育講演（座長）             |  | テレナーシングの進化・深化・真価                                           | オンライン開催                   | 2021年10月9日               | 約100        |
|        | 大阪はびきの医療センター看護研究研修                    |  | 看護研究概論                                                     | 羽曳野医療センター                 | 2021年7月20日               | 約20         |
| 志田 京子  | 認定看護管理者研修 サードレベル                      |  | 看護管理者の倫理的意識決定                                              | 北海道看護協会                   | 11月17日～11月18日            | 30          |
|        | 研修講師（国立近畿中央呼吸器センター）                   |  | 客観的なデータの収集と分析 マーケティングの基本                                   | 国立近畿中央呼吸器センター             | 11月13日、12月1日、12月8日       | 32          |
|        | 日本看護協会神戸研修センター認定看護管理者研修 サードレベル        |  | マーケティング演習                                                  | 日本看護協会                    | 10月27日                   | 30          |
|        | 大分県看護協会 中小規模病院看護管理者研修                 |  | 病院管理者のコロナ禍における地域貢献活動                                       | 大分県看護協会                   | 10月22日                   | 130         |
|        | 日本看護協会神戸研修センター認定看護管理者研修 サードレベル        |  | 保健医療福祉組織論                                                  | 日本看護協会                    | 10月20日                   | 30          |
|        | 研修講師（福井県看護協会）                         |  | 中小規模病院における看護管理についてのポイント                                    | 福井県看護協会                   | 10月8日                    | 25          |
|        | 広島県看護協会 認定看護管理者研修 セカンドレベル             |  | 看護の質保証                                                     | 広島県看護協会                   | 10月6日、7日、20日             | 40          |
|        | 研修講師（府立病院機構）                          |  | 看護管理概論                                                     | 大阪国際がんセンター                | 10月1日                    | 60          |
|        | 大阪府看護協会認定看護管理者研修ファーストレベル              |  | 組織管理論                                                      | 大阪府看護協会                   | 5月24日、7月29日、9月29日、12月20日 | 240         |
|        | 大阪府看護協会研修                             |  | 「レポートの書き方」                                                 | 大阪府看護協会                   | 5月12日、2月15日（2022年）       | 160         |
|        | 研修講師（近畿大学奈良病院）                        |  | 看護研究に対する看護管理者の役割                                           | 近畿大学奈良病院                  | 5月15日                    | 35          |
| 細田 泰子  | 2021年度 大阪府専任教員養成講習会                   |  | 特別講義 看護教育評価論                                               | 大阪府看護協会                   | 2021年8月31日               | 50          |
|        | 日本看護系大学協議会 研修会報告                      |  | 代替実習の形態と効果を知る                                              | 日本看護系大学協議会ホームページのオンデマンド配信 | 2021年3月～2021年6月          | ――          |
| 森本 明子  | 第9回看護フォーラム                            |  | 臨床・大学・地域社会における看護の知と実践の循環                                   | WEB開催                     | 2022年 2月12日              | 60          |

|        |                                     |                                   |                     |                                                    |        |
|--------|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------|----------------------------------------------------|--------|
| 長田 咲子  | 大阪国際がんセンター 看護部研修                    | 実践報告のまとめ方                         | 大阪国際がんセンター          | 2022年1月11日                                         | 70     |
|        | 東京都府中看護専門学校 戴帽式記念講演                 | 看護師をめざすあなたに～小児看護専門看護師として大切にしている事～ | 東京都府中看護専門学校         | 2021年11月5日                                         | 270    |
| 佐保 美奈子 | 国立大阪医療センター HIV/AIDS看護師研修会           | 性の多様性                             | 国立大阪医療センター          | 2021年9月7日<br>2021年11月16日                           | 80     |
|        | 大阪府委託看護職員養成課程講習会                    | 看護論演習                             | 大阪府看護協会<br>現地・オンライン | 2021年4月～8月                                         | 5      |
| 奥野 裕子  | 日本ベアレントトレーニング研究会 インストラクター養成研修会②(SV) | インストラクター養成研修会                     | オンライン               | 2022年2月20日、23日                                     | 40     |
|        | 日本ベアレントトレーニング研究大会                   | 座長)ベアレント・トレーニングに関する実践発表           | オンライン               | 2021年11月14日                                        | 165    |
|        | 日本ベアレントトレーニング研究会 インストラクター養成研修会①(SV) | インストラクター養成研修会                     | オンライン               | 2021年10月2日、3日                                      | 40     |
|        | 大阪府吹田市地域支援センターの職員研修                 | ベアレントトレーニングの実際                    | 吹田市地域支援センター         | 2021年9月2日                                          | 80     |
| 益 加代子  | 大阪府看護協会研修会                          | 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 組織論           | 大阪府看護協会             | 2021年6月12日<br>2021年8月4日<br>2021年10月4日<br>2022年1月5日 | 各80    |
| 紙野 雪香  | 訪問看護教育指導者研修会                        | 教育理論<br>成人学習理論-主体性を育みと問い直し-       | 大阪府立大学              | 配信:10月1日～11月30日                                    | 201    |
| 井上 敦子  | 日本家族看護学会実践促進委員会 家族看護オンラインセミナー基礎編    | 多様化する家族への理解を深めよう                  | オンライン開催             | 2021年7月4日                                          | 119    |
| 山田 加奈子 | 日本母性看護学会「糖代謝異常妊産婦への看護支援セミナー」        | 糖代謝異常妊産婦の心理・体験                    | オンデマンド配信            | 配信:12月1日～1月27日                                     | 100    |
| 安本 理紗  | 第9回 ストップ結核パートナーシップ 関西ワークショップ        | 新型コロナウイルス感染症が保健師教育を変える            | オンライン開催             | 2022年3月19日                                         | 30     |
| 喜田 雅彦  | 訪問看護専門研修事業                          | withコロナ時代において在宅で考えるべき感染対策とケア      | 大阪府立大学              | 2022年1月10日                                         | 4      |
|        | 厚生労働省委託事業「介護サービス類型に応じた感染症対策力向上支援」   | 感染症対策のための実地研修                     | 大阪府内の介護施設           | 2021年7月21日<br>2021年9月24日                           | 3<br>8 |
| 中村 雅美  | 日本腎不全看護学会研修                         | 治療選択に必要なメンタルヘルスとコーチング             | オンライン研修             | 2022年12月                                           | 約80    |
|        | 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 研修会            | 看護過程                              | 日本生命病院              | 2021年9月                                            | 約40    |
|        | 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 研修会            | リフレクション                           | 日本生命病院              | 2021年6月                                            | 約20    |
|        | 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 研修会            | 事例の書き方                            | 日本生命病院              | 2021年5月                                            | 約30    |
|        | 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 研修会            | 文献検索とクリティーク                       | 日本生命病院              | 2021年5月                                            | 約20    |
|        | 日本腎臓病協会                             | CKD患者の療養支援                        | オンデマンド研修            | 2021年5月                                            | 約150   |

## 5) 公開講座

| 名 前    | 公 開 講 座 名                | 題 名                                            | 会 場 等       | 開 講 年 月 日                              | 受講者数<br>(人) |
|--------|--------------------------|------------------------------------------------|-------------|----------------------------------------|-------------|
| 中山 美由紀 | 大阪府実習指導者講習会              | 実習指導方法論：家族看護学                                  | 大阪府看護協会     | 2021年6月11日<br>2021年9月15日<br>2022年1月24日 | 各100名       |
| 富川 順子  | 看護学研究科CNSネットワーク交流会       | コンサルテーション技法を振り返ろう                              | オンライン開催     | 2021年11月27日                            | 9           |
| 三輪 恭子  | WEB座談会の企画・運営             | 新型コロナウイルス感染症～第5波への備え                           | オンライン       | 2021年7月11日                             | 150         |
| 北村 愛子  | クリティカルケア看護実践講座1          | 急性看護領域の看護実践の倫理と対話、倫理的課題とチームカンファレンス、終末期ケア       | オンライン講習     | 2021年9月19日                             | 73          |
|        | クリティカルケア看護実践講座2          | 急性疾患を呈する患者と家族へのケア、トータルペインとコンフォートケア(危機介入含む)     | オンライン講習     | 2021年9月26日                             | 62          |
| 志田 京子  | 第28回国際看護セミナー             | 臨床コミュニケーションを理解する                               | 大阪府立大学      | 2021年10月26日<br>2021年11月7日              | 130         |
| 杉本 吉恵  | 看護職・介護職のための腰痛予防推進リーダー研修会 | 腰痛予防対策は利用者/患者介護提供者の安全になる                       | オンデマンド講習    | 2021年12月～2022年2月                       | 127         |
|        | 看護職・介護職のための腰痛予防推進リーダー研修会 | セルフケア(安全なケア)実践報告会                              | オンライン講習     | 2022年1月23日                             | 22          |
| 森本 明子  | 府大講座                     | 特定健診受診率向上プロジェクト                                | オンライン講座     | 2021年11月15日                            | 50          |
|        | はびきの健康フォーラム              | コロナ禍における健診・検診の大切さ                              | Web配信       | 2022年2月14日～3月31日                       | 不明          |
| 長田 咲子  | 大阪府立大学CNSネットワーク交流会       | 「調整」役割について考えよう！                                | オンライン開催     | 2021年8月31日                             | 13          |
| 佐保 美奈子 | 甲南大学 秋季公開講座              | 人生100年時代、生から死までを明るくデザインするために 知っておこう！ 愛ある性から出産へ | 甲南大学岡本キャンパス | 2021年9月25日                             | 50          |
|        | 生野区こども地域包括ケアシステム 大交流会    | 性について考える                                       | 生野区役所       | 2022年2月22日                             | 80          |
|        | 聖隷浜松病院オンライン勉強会           | 総排泄腔造瘻症患者が必要とする移行期支援についてーセクシュアリティ外来での取り組みを中心ー  | オンライン       | 2021年11月20日                            | 50          |
| 岡野 明美  | 大阪府立大学CNSネットワーク交流会       | 倫理調整～多分野によるディスカッションから自己の倫理観を振り返ってみませんか～        | オンライン開催     | 2021年9月25日                             | 16          |
|        | 訪問看護専門研究                 | いつもの相談がスタッフをのぼす～コンサルテーションの関わり方を学ぶ～             | オンライン開催     | 2021年10月1～11月30日                       | 215         |

|        |                             |                                                |         |                        |    |
|--------|-----------------------------|------------------------------------------------|---------|------------------------|----|
| 奥野 裕子  | 大阪府立大学 精神看護分野 オンライン研修 1、2回目 | 家族療法の実践-発達障害児をもつ親へのベレ<br>ントレーニングを通して           | オンライン研修 | 2021年8月6日<br>2021年9月3日 | 20 |
| 南村 二美代 | 第2回糖尿病・がん看護セミナー             | 糖尿病とがんを併せ持つ患者への支援を考える                          | オンライン開催 | 2021年11月20日            | 13 |
| 相原 ひろみ | 保健医療従事者の腰痛予防推進セミナー          | セーフティケア(安全なケア)実践報告会                            | オンライン   | 2022年1月23日(日)          | 16 |
| 井上 敦子  | 看護学研究科CNSネットワーク交流会          | 面会制限を余儀なくされた状況下での家族との関わり                       | オンライン開催 | 2021年10月30日            | 8  |
| 井上 奈々  | クリティカルケア看護実践講座1             | 急性看護領域の看護実践の倫理と対話、倫理的課題とチームカンファレンス、終末期ケア       | オンライン講習 | 2021年9月19日             | 73 |
|        | クリティカルケア看護実践講座2             | 急性疾患を呈する患者と家族へのケア、トータルベ<br>インとコンフォートケア(危機介入含む) | オンライン講習 | 2021年9月26日             | 62 |
| 山口 舞子  | 保健医療従事者の腰痛予防推進セミナー          | セーフティケア(安全なケア)実践報告会                            | オンライン講習 | 2022年1月23日             | 16 |
| 喜田 雅彦  | 大阪府立大学CNSネットワーク交流会          | 新型コロナウイルス感染症対策で気づいた感染管理部門との連携の必要性              | オンライン開催 | 2021年6月30日             | 15 |
| 中村 雅美  | 「ホッと&ハートの会」企画・運営            | パルスオキシメーター 呼吸機能の維持と向上にむけた 呼吸運動                 | オンライン開催 | 2021年9月15日             | 10 |
|        | 「ホッと&ハートの会」企画・運営            | 筋力維持のための食事療法                                   | オンライン開催 | 2021年11月5日             | 3  |

## 6) 出張講義・出前講義

| 名 前    | 講 義 名                                 | 出 張 ・ 出 前 先           | 開 講 年 月 日                  | 受 講 者 数(人) |
|--------|---------------------------------------|-----------------------|----------------------------|------------|
| 三輪 恭子  | 縁起でもない話をしよう！～人生会議のススメ～                | 交野市福祉部高齢介護課           | 2022年1月21日                 | 58         |
| 杉本 吉恵  | 看護の魅力                                 | 大阪府立八尾高等学校            | 2021年11月5日                 | 17         |
| 佐保 美奈子 | 自分と相手を大切にすると性                         | 大阪緑涼高校 1年生・2年生        | 2021年6月3日・9日               | 120        |
|        | 自分と相手を大切にすると性                         | 大阪商業大学高校 1年生・2年生      | 2021年6月17日・24日             | 250        |
|        | セクシュアリティ概論                            | 大阪府立登美丘高等学校           | 2021年6月10日                 | 280        |
|        | 自分と相手を大切にすると性                         | 近大泉州高校 1年生・3年生        | 2021年7月28日・10月5日           | 150        |
|        | 性教育講座                                 | 大阪府立堺東高等学校            | 2021年7月16日                 | 9          |
|        | セクシュアリティと看護とケアリング                     | ベルランド看護助産専門学校         | 2021年7月21日                 | 25         |
|        | セクシュアリティと看護                           | 千里金蘭大学                | 2022年2月17日                 | 10         |
|        | 自分と相手を大切にすると性                         | 大阪府立貝塚高校 1年生          | 2022年1月13日                 | 240        |
|        | 自分と相手を大切にすると性                         | 大阪府立成美高等学校 1年生        | 2022年1月13日                 | 240        |
| 中嶋 有加里 | 看護と助産のしごと                             | 大阪府立懐風館高等学校           | 2021年12月20日                | 25         |
| 古山 美穂  | 生と性の授業(これから羽ばたく皆さんと考えたい'生きる'ということ)    | 大阪YMCA国際専門学校          | 2022年2月2日                  | 26         |
|        | あなたは未来そのもの                            | 開明中学校                 | 2021年12月21日<br>2021年12月22日 | 721        |
|        | 生と性の授業(これから羽ばたく皆さんと考えたい'生きる'ということ)    | 大阪府教育センター附属高等学校       | 2021年7月15日                 | 444        |
|        | 生と性の授業(これから羽ばたく皆さんと考えたい'生きる'ということ)    | 大阪府立東住吉総合高等学校         | 2021年6月24日                 | 231        |
|        | 「つぎ」を託す 'あなた' と共有したいこと ―恋愛・妊娠・育児を考える― | 第一学院高等学校大阪            | 2021年10月28日                | 22         |
|        | 生と性の授業(これから羽ばたく皆さんと考えたい'生きる'ということ)    | 大阪府立農芸高等学校            | 2021年6月4日                  | 200        |
|        | 生と性の授業(これから羽ばたく皆さんと考えたい'生きる'ということ)    | 大阪府立門真西高等学校           | 2021年7月19日                 | 170        |
| 岡野 明美  | コンサルテーション論                            | 兵庫医療大学大学院看護学研究科CNSコース | 2021年11月6日                 | 6          |
|        | 看護倫理                                  | 京都府立医科大学保健看護学研究科      | 2021年10月26日                | 8          |
|        | 看護倫理                                  | 京都府立医科大学保健看護学研究科      | 2021年11月2日                 | 8          |
| 井上 敦子  | 「助産学概論(現代の家族の在り方や支援の実践)」              | 畿央大学                  | 2021年4月22日                 | 10         |
|        | 「家族看護論」                               | 関西医療大学                | 2021年5月13日                 | 80         |
| 高 知恵   | 男女のおつきあいのマナーとデートバイオレンス予防              | 大阪府立今宮高等学校            | 2021年6月17日                 | 235        |
|        | 性についてちゃんと知ろう                          | 大阪府立阪南高等学校            | 2021年6月10日                 | 280        |
|        | 性についてちゃんと知ろう                          | 大阪府立みどり清朋高等学校         | 2021年7月1日                  | 237        |

|        |                                           |               |                            |     |
|--------|-------------------------------------------|---------------|----------------------------|-----|
|        | 妊娠、出産、避妊、性感染症予防                           | 大池中学校         | 2021年6月24日                 | 63  |
|        | 妊娠、出産、避妊、性感染症予防                           | 新箕中学校         | 2021年7月6日                  | 70  |
|        | 二次性徴・生命の大切さ                               | 東箕小学校         | 2021年6月24日                 | 94  |
|        | 性について、責任ある行動について                          | 大池中学校         | 2022年1月31日                 | 63  |
|        | デートDV予防について                               | 新箕中学校         | 2022年1月31日                 | 71  |
|        | 二次性徴・生命の大切さ                               | 東小路小学校        | 2022年1月31日                 | 25  |
| 山田 加奈子 | 生と性の授業（大切なからだと気持ち～デートバイオレンスをとおして）         | 大阪府立堺東高等学校    | 2021年11月25日                | 243 |
|        | 周産期健康障害看護：妊娠糖尿病の妊産婦のアセスメントと看護             | 広島大学          | 2021年12月1日                 | 60  |
| 伊藤 良子  | セクシュアルマイノリティや性暴力被害者への理解を深める               | 大阪府立堺東高等学校    | 2021年9月8日                  | 16  |
|        | しない、させない性（セクシュアリティ）に対する暴力 LGBTs、デートDV、性暴力 | 大阪府立東百舌鳥高等学校  | 2021年9月1日                  | 32  |
|        | エッチのまわりにあるもの                              | 大阪府立東百舌鳥高等学校  | 2021年8月25日                 | 37  |
| 柱谷久美子  | 精神看護方法論Ⅲ                                  | 岸和田市医師会看護専門学校 | 2021年11月10日<br>2021年11月16日 | 30  |

7) 公的な委員会など

| 名 前    | 委 嘱 先                                | 参 画 委 員 会 名 ・ 職 務 内 容                  | 役 職 名     |
|--------|--------------------------------------|----------------------------------------|-----------|
| 澤井 元   | 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター | 利益相反委員会                                | 委員        |
|        | 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター | 治験審査委員会                                | 委員        |
| 中山 美由紀 | 日本家族看護学会                             | 評議員                                    | 委員        |
|        | 日本家族看護学会                             | 家族看護研究                                 | 編集委員      |
|        | 日本小児保健協会                             | 日本小児保健研究                               | 編集委員      |
|        | 日本看護系大学協議会                           | 高度実践看護師教育課程認定委員会<br>家族看護専門分科会          | 委員        |
| 楢木野 裕美 | 日本看護系大学協議会                           | 高度実践看護師教育課程認定委員会                       | 委員        |
|        | 日本看護系大学協議会                           | 小児看護専門分科会                              | 委員長       |
|        | 日本小児看護学会                             | 査読委員                                   | 委員        |
|        | 日本小児がん看護学会                           | 評議員、学術推進委員                             | 委員        |
|        | 日本看護科学学会                             | 査読委員                                   | 委員        |
|        | 日本看護研究学会                             | 査読委員                                   | 委員        |
|        | 日本小児保健協会                             | 査読委員                                   | 委員        |
|        | 日本子ども虐待防止学会                          | 選挙管理委員                                 | 委員        |
|        | 日本子ども虐待防止学会                          | 制度検討委員会                                | 委員        |
| 渡邊 香織  | 大阪母性衛生学会                             | 理事                                     | 理事        |
|        | 大阪母性衛生学会                             | 第60回 大阪母性衛生学会学術集会大会                    | 大会長       |
| 都筑 千景  | 日本看護科学学会                             | 代議員、編集委員会                              | 査読委員      |
|        | 日本地域看護学会                             | 代議員、編集委員会                              | 編集委員      |
|        | 日本公衆衛生看護学会                           | 代議員、編集委員会                              | 編集委員      |
|        | 日本小児保健協会                             | 日本小児保健研究                               | 査読委員      |
|        | 全国保健師教育機関協議会                         | 教員研修委員会                                | 研修委員      |
|        | 厚生労働省                                | 保健師助産師看護師国家試験委員会                       | 委員        |
|        | 厚生労働省                                | 医道審議会保健師助産師看護師分科会保健師助産師看護師国家試験出題基準改定部会 | 委員        |
|        | 大阪府                                  | 大阪府藤井寺保健所運営協議会                         | 委員        |
|        | 羽曳野市                                 | 羽曳野市健康づくり推進協議会                         | 委員        |
| 富川 順子  | 羽曳野市                                 | 羽曳野市人権委員会羽曳野市民権審議会                     | 委員        |
|        | 一般社団法人 日本精神科看護協会                     | 日精看大阪府支部看護研究発表会                        | 論文査読・評価委員 |
|        | 医療法人尚生会 湊川病院                         | 院内看護研究における教授及び院内研究倫理審査委員               | 委員        |
|        | 高知女子大学                               | 高知女子大学看護学会                             | 査読委員      |
|        | 日本精神保健看護学会                           | 日本精神保健看護学会誌                            | 査読委員      |
|        | 日本精神保健看護学会                           | 教育の質向上委員会                              | 委員        |
| 長畑 多代  | 日本老年看護学会                             | 評議員、編集委員                               | 委員        |
|        | 日本看護科学学会                             | 日本看護科学学会誌 査読委員                         | 委員        |

|        |                               |                                     |              |
|--------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------|
|        | 千葉看護学会                        | 千葉看護学会誌 査読委員                        | 委員           |
|        | 日本地域看護学会                      | 日本地域看護学会誌 査読委員                      | 委員           |
|        | 大阪府                           | 大阪府介護保険審議会                          | 委員           |
|        | 藤井寺市                          | 藤井寺市地域密着型サービス運営委員会                  | 副委員長         |
|        | 藤井寺市                          | 藤井寺市地域包括支援センター運営協議会                 | 副会長          |
|        | 藤井寺市                          | 藤井寺市保健福祉計画協議会                       | 委員           |
|        | 藤井寺市                          | 藤井寺市介護認定審査会                         | 委員           |
|        | 羽曳野市                          | 羽曳野市介護認定審査会                         | 委員           |
|        | 羽曳野市                          | 羽曳野市介護保険等推進協議会                      | 会長           |
| 三輪 恭子  | 日本CNS看護学会                     | 第8回大会実行委員                           | 委員           |
|        | 日本専門看護師協議会                    | 政策提言委員会                             | 委員           |
|        | 日本専門看護師協議会                    | 評議員                                 | 委員           |
| 北村 愛子  | 日本クリティカルケア看護学会                | 理事・評議員                              | 理事・委員        |
|        | 日本看護倫理学会                      | 理事                                  | 理事           |
|        | 堺市                            | 堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会              | 委員           |
| 佐藤 淑子  | 日本環境感染学会                      | 評議員                                 | 委員           |
|        | 一般社団法人日本看護系大学協議会              | 高度実践看護師教育課程認定委員会                    | 感染看護専門分科会委員  |
| 田中 京子  | 日本看護倫理学会                      | 評議員                                 | 委員           |
|        | 一般社団法人日本看護系大学協議会              | 2021年度選挙管理委員会                       | 委員           |
|        | がんプロ事務局(大阪大学大学院医学系研究科保険学専攻 内) | 2021(R3)年度大阪大学拠点がんプロ外部評価委員          | 委員           |
| 旗持 知恵子 | 日本慢性看護学会                      | 理事、評議員                              | 理事、委員        |
|        | 聖路加看護学会                       | 学術交流委員                              | 委員           |
|        | 日本循環器看護学会                     | 代議員、第18回日本循環器看護学会                   | 委員、企画委員、査読委員 |
|        | 日本看護科学学会                      | 代議員、査読委員                            | 委員           |
|        | 日本看護研究学会                      | 査読委員                                | 委員           |
|        | 厚生労働省                         | 「循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業」中間・事後評価委員会 | 委員           |
|        | 日本腎不全看護学会                     | 学会誌査読委員                             | 委員           |
|        | 一般社団法人日本看護系大学協議会              | 高度実践看護師教育課程認定委員会<br>慢性看護専門分科会       | 委員長、委員       |
|        | 大阪府立大学                        | 大阪府立大学看護学研究科紀要委員会                   | 査読委員         |
| 志田 京子  | 日本看護管理学会                      | 評議員、査読委員                            | 委員           |
|        | 大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター        | 医療安全管理委員会 委員                        | 委員           |
|        | 大阪府看護協会                       | 応募小論文評価打ち合わせ会 委員                    | 委員           |
|        | 日本看護協会                        | 第51回日本看護学会 看護管理学術集会 準備委員            | 委員           |
|        | 日本看護協会                        | 日本看護学会学会誌編集委員                       | 委員           |
|        | 日本看護系大学協議会                    | 国際交流推進委員                            | 委員           |
|        | 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター         | 医学研究倫理委員会 委員                        | 委員           |
|        | 大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター        | 医療安全管理委員会 委員                        | 委員           |
| 杉本 吉恵  | 日本健康運動看護学会                    | 理事                                  | 理事           |
|        | 日本看護技術学会                      | 評議員、査読委員                            | 委員           |
| 細田 泰子  | 日本看護学教育学会                     | 学会誌 専任査読者                           | 委員           |
|        | 日本看護研究学会                      | 評議員、専任査読委員                          | 委員           |
|        | 日本看護科学学会                      | 和文誌編集委員会                            | 委員           |
|        | 独立行政法人 日本学術振興会                | 科学研究費委員会 専門委員会                      | 委員(幹事)       |
|        | 大阪医科薬科大学看護学部                  | 看護学部カリキュラム評価委員会                     | 委員           |
|        | 日本看護系大学協議会                    | 看護学教育質向上委員会                         | 委員           |
| 森本 明子  | 糖尿病・生活習慣病にヒューマンデータ学会          | 評議員                                 | 委員           |
|        | 日本循環器病予防学会                    | 評議員、査読委員                            | 委員           |
|        | 藤井寺市                          | 令和3年度藤井寺市一体的地域ケア会議                  | 委員           |
|        | 大阪府健康医療部健康推進室                 | 大阪府ヘルスアップ支援事業への参画                   | 委員           |
|        | 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)     | 科学技術調査委員                            | 委員           |
| 長田 暁子  | 日本専門看護師協議会                    | 理事会 代表理事                            | 代表理事         |
|        | 日本小児看護学会                      | 評議員                                 | 委員           |

|        |                                   |                                    |        |
|--------|-----------------------------------|------------------------------------|--------|
|        | 大阪府                               | 大阪府移行期医療推進会議                       | 委員     |
|        | 日本看護協会                            | 専門看護師制度委員会                         | 委員     |
| 佐保 美奈子 | 一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会            | 近畿支部長                              | 支部長    |
|        | 大阪府教育庁                            | 大阪府立成美高等学校 学校協議会                   | 会長     |
|        | 大阪府                               | 大阪府男女共同参画審議会 委員                    | 委員     |
|        | 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センター | 研究公正審査委員会                          | 委員     |
|        | 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立母子保健総合医療センター | 大阪府立母子保健総合医療センター治験審査委員会委員          | 委員     |
|        | 日本母性衛生学会                          | 査読委員                               | 委員     |
|        |                                   |                                    |        |
| 中嶋 有加里 | 日本母性衛生学会                          | 代議員、専任査読者                          | 代議員    |
|        | 大阪母性衛生学会                          | 幹事                                 | 幹事     |
|        | 日本母性看護学会                          | 評議員、査読委員、第24回日本母性看護学会学術集会 実行委員     | 評議員    |
|        | 公益財団法人大阪府看護協会                     | 学会委員会委員長、第9回大阪府看護学会 優秀演題第3次審査会議 委員 | 委員長、委員 |
|        | 大阪府立大学                            | 大阪府立大学看護学研究科紀要委員会 査読委員             | 査読委員   |
| 古山 美穂  | 日本母性看護学会                          | 査読委員                               | 委員     |
|        | 羽曳野市                              | 社会福祉協議会理事、教育委員会教育委員、表彰審査委員会委員      | 理事、委員  |
|        | 泉力ナン会                             | 評議員、聖愛保育園苦情解決委員第三者委員               | 委員     |
|        | 大阪府立大学                            | 大阪府立大学看護学研究科紀要委員会                  | 査読委員   |
| 岡野 明美  | 羽曳野市                              | 羽曳野市介護認定審査会 委員                     | 委員     |
| 奥野 裕子  | 日本ベアレント・トレーニング研究会                 | 理事(執行部)                            | 理事     |
|        | 一般社団法人 日本精神科看護協会                  | 日精看大阪府支部看護研究発表会 論文査読・評価委員          | 委員     |
|        | 医療法人尚生会 湊川病院                      | 院内看護研究における教授及び院内研究倫理審査委員           | 委員     |
|        | 日本精神保健看護学会                        | 教育の質向上委員                           | 委員     |
| 九津見 雅美 | 摂津市                               | 摂津市介護認定審査会委員                       | 委員     |
|        | 一般社団法人へモフィリア友の会全国ネットワーク           | 倫理審査委員会委員                          | 委員     |
| 林田 裕美  | 公益社団法人大阪府看護協会                     | 教育委員会                              | 委員長    |
| 相原 ひろみ | 日本看護倫理学会                          | 学術活動推進委員会、査読委員                     | 委員     |
|        | 日本看護管理学会                          | 査読委員                               | 委員     |
|        | 生物と医学                             | 査読委員                               | 委員     |
| 益 加代子  | 公益社団法人大阪府看護協会                     | 認定看護管理者教育課程運営委員会                   | 副委員長   |
|        | 日本看護管理学会                          | 査読委員                               | 委員     |
|        | 神戸看護学会                            | 評議員                                | 委員     |
| 井上 敦子  | 日本家族看護学会                          | 実践促進委員会                            | 委員     |
| 岡崎 裕子  | 一般社団法人 日本小児看護学会                   | 委員                                 | 委員     |
| 山田 加奈子 | 日本母性看護学会                          | 看護政策検討委員                           | 委員     |
|        | 日本母性看護学会                          | 専任査読委員                             | 委員     |
|        | 公益社団法人大阪府看護協会                     | 府南支部・推薦委員                          | 委員     |
|        | 日本母性衛生学会                          | 第63回日本母性衛生学会学術集会実行委員（プログラム委員）      | 委員     |
| 大野 志保  | 日本養護実践学会                          | 評議員                                | 委員     |
|        | 日本養護教諭養成大学協議会                     | 代表評議員                              | 委員     |
| 根来 佐由美 | 藤井寺市                              | 健康づくり推進協議会 委員                      | 委員     |
|        | 羽曳野市                              | 介護認定審査会・委員                         | 委員     |
| 深山 華織  | 日本産業看護学会                          | 査読委員                               | 委員     |
|        | 日本老年看護学会                          | 査読委員                               | 委員     |
| 安本 理抄  | 羽曳野市                              | 介護認定審査会委員                          | 委員     |
|        | 大阪府看護協会大阪南支部                      | 保健師職能委員                            | 委員     |
| 井上 奈々  | 日本看護学会                            | 査読委員                               | 委員     |
| 徳岡 良恵  | 日本がん看護学会                          | 代議員                                | 委員     |
| 伊藤 良子  | 女性学                               | 査読委員                               | 委員     |
| 山口 舞子  | 日本運動器看護学会                         | 査読委員                               | 委員     |
| 柱谷 久美子 | 一般社団法人 日本精神科看護協会                  | 日精看大阪府支部看護研究発表会 論文査読・評価委員          | 委員     |

|       |           |                      |        |
|-------|-----------|----------------------|--------|
| 中村 雅美 | 日本腎臓病協会   | 腎臓病療養指導士に関する教育研修小委員会 | 委員     |
|       | 日本腎不全看護学会 | 社員、認定委員会、CKD委員会      | 理事、委員長 |
|       | 日本慢性看護学会  | 評議員、査読委員             | 委員     |

8) 国際交流活動

| 名 前   | 関 係 機 関 名  | 相 手 国 | 活 動 の 概 要                                                                                              |
|-------|------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 志田 京子 | タイ王国マヒドン大学 | タイ王国  | 2021年 12月1日に自国における周産期ケアの現状、助産師教育について情報交換を行う交流を実施し、学類生9名の参加が、ラマティボディ校3ー4年生10名の参加があった。                   |
|       | タイ王国マヒドン大学 | タイ王国  | 2021年12月22日に自国の文化や観光スポットに関する交流を行い、学類生4名の参加、ラマティボディ校5名の参加があった。                                          |
|       | タイ王国マヒドン大学 | タイ王国  | 2022年3月14日にマヒドン大学ラマティボディ校との間で大学院生、教員の研究についての発表会をオンラインで実施した。教員14名、大学院生4名の参加があった。マヒドン大学からは9名の参加があった。     |
| 安本理抄  | タイ王国マヒドン大学 | タイ王国  | 2022年3月14日にマヒドン大学ラマティボディ校との間で大学院生、教員の研究についての発表会でオンラインで研究発表を行った。教員14名、大学院生4名の参加があった。マヒドン大学からは9名の参加があった。 |

9) その他の社会貢献

| 名 前    | 社会活動先                 | 職 務 内 容                                                         |
|--------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 中山 美由紀 | 公益社団法人 大阪府看護協会        | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
| 楢木野 裕美 | 大阪府                   | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                                     |
|        | 児童虐待防止協会              | 児童虐待の予防・早期発見・対応に関わる専門職に対する研修の企画と運営                              |
|        | 児童虐待防止協会              | 大阪府要保護児童対策調整機関の調整担当者研修 兼 大阪府市町村児童家庭相談担当者スキルアップ研修事業              |
|        | 児童虐待防止協会              | 大阪府内保健師児童虐待予防研修                                                 |
|        | 児童虐待防止協会              | 八尾市養育支援訪問事業訪問員養成講座                                              |
| 渡邊 香織  | 公益社団法人 大阪府看護協会        | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
| 都筑 千景  | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 大阪府健康医療部              | 新型コロナウイルス感染症 入院フォローアップセンター 非常勤看護師                               |
|        | 大阪府                   | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                                     |
| 富川 順子  | 公益財団法人 浅香山病院          | 精神看護専門看護師活動の実施(精神科訪問看護・看護外来の実施、精神科看護と研究についての看護師コンサルテーションと現任者教育) |
|        | 大阪府看護協会看護師支援事業相談員     | 大阪府看護協会新型コロナウイルス感染症対応の看護職員「メンタルサポート」事業の相談員を継続。                  |
| 長畑 多代  | 大阪府                   | 新型コロナ感染症患者の入院調整業務                                               |
| 三輪 恭子  | 神戸大学医学部附属病院           | 令和3年度厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」相談員研修会 ファシリテーター           |
| 北村 愛子  | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター | 急性・重症患者看護専門看護師、倫理委員会委員、臨床研修管理委員会                                |
|        | 一般社団法人国際遠隔医療推進機構      | 研修会 講師                                                          |
| 佐藤 淑子  | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 大阪府看護協会               | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
| 田中 京子  | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
| 旗持 知恵子 | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 看護学系漢方教育研究会           | 世話人                                                             |
| 志田 京子  | 大分県立看護科学大学            | 看護管理者支援研修(座長・アドバイザー)                                            |
|        | 聖路加国際大学               | 博士論文研究計画審査委員                                                    |
|        | 神戸市看護大学               | 博士論文審査委員(副査)                                                    |
|        | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 大阪府 健康医療部             | 非常勤職員                                                           |
|        |                       |                                                                 |
| 杉本 吉恵  | 大阪府                   | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                                     |
|        | 羽曳野市                  | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
| 細田 泰子  | 国立研究開発法人科学技術振興機構      | 2021年度創発的研究支援事業外部専門家                                            |
| 佐保 美奈子 | 公益社団法人 大阪府看護協会        | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                                    |
|        | 藤井寺市                  | 市民生活部 男女共同参画講座講師                                                |

|        |                                           |                                                    |
|--------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------|
|        | 堺市                                        | 堺市男女共同参画推進会議 委員                                    |
| 中嶋 有加里 | 大阪府 健康医療部                                 | 保健医療室感染症対策支援課<br>新型コロナウイルス感染症 入院フォローアップセンター 非常勤看護師 |
| 古山 美穂  | 河内長野市                                     | 教育研究会 養護教諭部会 講師                                    |
|        | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
| 奥野 裕子  | 公益社団法人大阪府看護協会                             | メンタルサポート                                           |
|        | 吹田市こども発達支援センター 地域支援センター                   | 講師                                                 |
| 林田 裕美  | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
| 南村 二美代 | 療養学習支援センター ホツと&ハートの会                      | 患者会および地域の方への健康教育                                   |
| 相原 ひろみ | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 大阪府                                       | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                        |
|        | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)役員                      | 新大学の同窓会立ち上げの準備、総会の開催                               |
| 益 加代子  | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 大阪府                                       | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                        |
|        | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | 「2021年度認定看護管理者教育課程サードベル」 応募小論文評価者                  |
| 高 知恵   | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 大阪市生野区「生きるチカラまなびサポート事業」                   | 講師/運営アドバイザー                                        |
|        | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)役員                      | 役員                                                 |
| 山田 加奈子 | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
| 大野 志保  | 大阪府                                       | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                        |
|        | 全国国立大学法人附属学校連合会東海地区研究協議会                  | 助言者                                                |
|        | 河内長野市                                     | 教育研究会養護教諭部会 講師                                     |
| 根来 佐由美 | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
| 深山 華織  | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)役員                      | 白鳥会の運営、同窓会総会の開催に関する業務など                            |
| 安本 理紗  | 大阪府知事充填事業 国民健康保険ヘルスアップ支援事業 特定健診受診向上プロジェクト | プロジェクト運営委員                                         |
|        | ボランティアサークル Flower 顧問                      | Flower 顧問                                          |
|        | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)活動                      | 事務局の役員として総会の開催、会報誌の作成など同窓会活動に携わった。                 |
|        | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 奈良県                                       | 福祉医療部 技術的支援等                                       |
|        | 大阪府                                       | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                        |
| 山内 加絵  | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)役員                      | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)役員・会計担当                          |
|        | 藤井寺市                                      | 藤井寺市介護認定審査会委員活動に対する協力                              |
| 徳岡 良恵  | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
| 伊藤 良子  | 日本フォレンジック看護学会社員                           | 日本フォレンジック看護学会の社員として、委員会の運営に携わる                     |
|        | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
| 山口 舞子  | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)                        | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)委員 事務局長                          |
|        | 大阪府立大学校友会                                 | 大阪府立大学校友会副会長                                       |
|        | 大阪府                                       | 非常勤看護師                                             |
|        | 大阪府                                       | 保健所体制強化に係る保健師・看護師の保健所への応援派遣                        |
|        | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
| 柱谷 久美子 | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)役員                      | 同窓会会報誌の作成や、同窓会会合の企画・運営。                            |
|        | 公益社団法人 大阪府看護協会                            | メンタルサポート                                           |
| 喜田 雅彦  | 一般社団法人国際遠隔医療推進機構                          | 発展途上国における感染対策に関する研修でのファシリテーター及び講師                  |
|        | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)役員                      | 総会の運営および研究助成担当                                     |
|        | 大阪府中河内救命救急センター                            | 感染症看護専門看護師                                         |
| 中村 雅美  | 羽曳野市                                      | 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン集団接種対応看護師                       |
|        | 大阪府立大学看護学系同窓会(白鳥会)                        | 役員                                                 |



## 編集後記

大阪府立大学地域保健学域看護学類年報第17巻を、看護学類各委員会、羽曳野キャンパス事務所の皆様のご協力により、作成することができましたことを厚く御礼申し上げます。

本報の掲載内容は、2021年4月から2022年3月までの1年間の教育・研究等の内容に関するものです。

編集作業を通して、より一層、本大学看護学類、看護学研究科の充実のために教職員、学生らとともに改善に向け一歩ずつ積み上げる努力が必要であることを痛感いたしました。さらに大阪の社会風土に根ざす開かれた公立大学としての役割を担う、社会に貢献する意義ある教育・学術研究の府としての実績を評価されるよう今後も益々活動していきたいと考えております。

### 2021年度 部局計画・評価委員会

|     |        |      |        |
|-----|--------|------|--------|
| 委員長 | 杉本 吉恵  | 研究科長 | 田中 京子  |
| 委員  | 佐藤 淑子  | 委員   | 都筑 千景  |
| 委員  | 中山 美由紀 | 委員   | 九津見 雅美 |
| 委員  | 園田 奈央  | 委員   | 中嶋 有加里 |

### 2022年度 部局計画・評価委員会

|     |        |      |        |
|-----|--------|------|--------|
| 委員長 | 中山 美由紀 | 研究科長 | 田中 京子  |
| 委員  | 佐藤 淑子  | 委員   | 杉本 吉恵  |
| 委員  | 都筑 千景  | 委員   | 九津見 雅美 |
| 委員  | 園田 奈央  | 委員   | 中嶋 有加里 |

